

創立20周年記念誌

1983年



鹿児島西ロータリークラブ

創立20周年記念誌

1 9 8 3

鹿児島西ロータリークラブ

4つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

手に手つないで

創立20周年式典に
参列の全会員

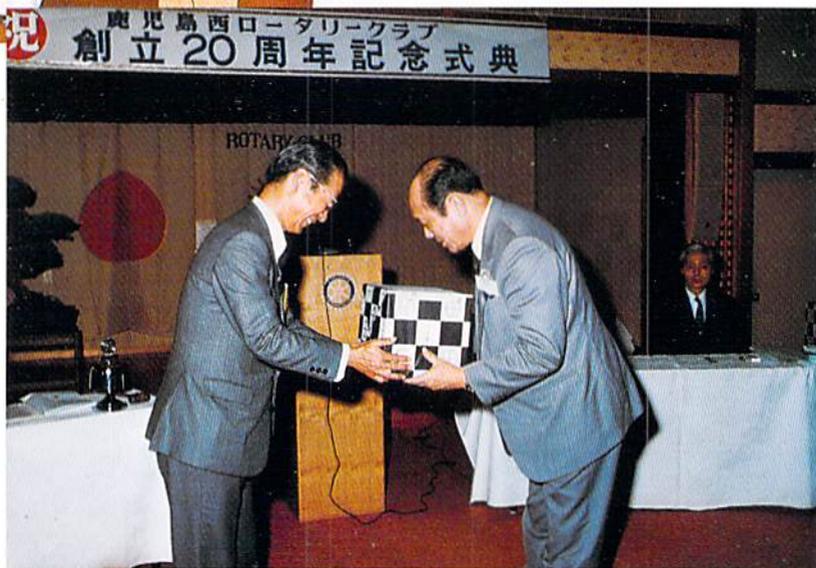


記念式典

久保会長のあいさつ



水渕幹事の報告



鶴岡ロータリークラブへ
記念品贈呈





△杉村ガバナーのお祝いの言葉

東県立図書館長へ青少年
文庫基金の贈呈



▽若宮英子さんへロータリー賞



▷松田恭子さんへロータリー賞





祝賀会





▽記念展覧会





△杉村方バナーを迎えての例会



▷観月家族会



年中行事

▽クリスマス家族会



目 次

手に手つないで	1
創立20周年記念式典（写真グラフ）	2
創立20周年を迎えて	
式辞 会長あいさつ	7
祝辞 鹿児島県知事	10
鹿児島市長	11
地区ガバナー	12
鹿児島RC会長	13
記念式典次第	15
記念表彰者	17
記念行事実行委員会組織	18
西ロータリーの特別事業	
20周年記念事業	19
ロータリー賞贈呈者	21
鹿児島西RC友愛文庫	22
鹿児島西RC奨学金制度要綱	23
四つ子養育助成会	24
西RCインターアクトクラブ、西RCローターアクトクラブ	25
西ロータリー平均年齢と平均出席率	25
歴代会長から物申す（記念座談会）	27
会員随想	33
チャーターメンバー、ポールハリス・フェロー	48
20年の歩み	49
編集後記	102
会員名簿・物故会員名簿	103

創立20周年を迎えて

鹿児島西ロータリークラブが昭和38年参加会員24人で創立総会を開いてから20年。その歩みの間に会員も87人に増え「奉仕の理想」に燃えて活動しているが、それを祝う20周年記念式典が、昭和58年3月23日ホテル鶴鳴館「鶴家」で盛大に挙行された。

来賓として、杉村進 第273地区ガバナーをはじめ、遠く鶴岡R Cの中江会長ほか同会員ならびに鹿児島の各ロータリー会長、幹事を迎え、式典・祝宴が行なわれ、一層の拡大発展を祈って祝盃をあげた。

式 辞



鹿児島西ロータリークラブ
創立20周年記念委員会委員長

久 保 政 次

本日私共鹿児島西ロータリークラブは、創立満二十周年の佳き日を迎えました。昭和38年3月23日スポンサークラブであります鹿児島クラブの御尽力により誕生致しました私共のクラブは、人間に例えますと所謂成人式を迎えたわけで御座います。これを祝いささやかながら記念式典と祝宴を催しますため、御案内を差し上げましたところ、先程御紹介申し上げました多数の来賓の方々、特に杉村進ガバナー御夫妻には大分県より、又姉妹クラブであります鶴岡クラブの皆様には山形県より遠路わざわざ御臨席を戴き錦上花を添えて下さいまして、会員一同まことに有難く心より厚く御

礼を申し上げます。

偶々私はこの意義ある年の会長を命ぜられ、こうして皆様に御挨拶申し上げる機会を与えられました事を非常に光栄に思う次第で御座います。と同時に二十年と云う長い歳月の間には、私共のクラブにとって大変御世話になりました親クラブの福田得志特別代表を始め、佐々木申吉事務局長など沢山の先達の方々、又我がクラブにとりましては、クラブ発展の為に重要な役割を果たされました塘一郎ハストガバナーを始め、土橋英夫・岩元健吉・柴山一雄会員など幾多の先輩ロータリアンが他界され故人となられました。茲に心より御冥福をお祈り致しますので御座います。

ところで中国の詩人陶淵明は『時に及んでまさに勉勵すべし歳月は人を待たず』と申しましたが、この二十年私共のクラブは、各年度のR I会長のターゲットに従いロータリーの目標とする奉仕の理想に向って一年一年を充実した活動を続けて来たのではないかと思います。現在86名の会員を擁し鹿児島県内では親クラブに次ぐ大きなクラブとなり、昭和53年4月には、第273地区年次大会のホストクラブをつとめるなど、順調な発展を遂げて参りました。過去から未来への時の流れの中にあつて、現在の私共のクラブの姿を知り明日への飛躍のステップと致します為、私は我がクラブが今まで積み重ねて参りました業績についていささかふれてみたいと思います。

先づ第一にロータリーの理想を広く外部の人々にも頌ち与えようとする外部拡大に就いてありますが、昭和42年6月24日には加治木クラブを次いで昭和47年には10月18日に加世田クラブを12月4日には枕崎クラブをと相次いでスポンサーし新クラブの結成を致しました。そしてその中で加治木クラブは更に国分と霧島の両クラブの設立を手掛けられました。このように城山の楠の大木が繁り榮えゆくが如くにロータリーの拡大が、着実に行われて居ります事はまことに御同慶に堪えませぬ。そして我がクラブは西郷南洲先生の御遺徳にあやかり、庄内藩と薩摩藩の御縁により鯨島志芽太会員の御尽力もあつて、昭和40年5月9日に山形県の鶴岡クラブと姉妹盟約を結んで以来今日まで十八年の長きに渡り変る事なき友好の交流を続けて参つて居るので御座います。

第二には、我がクラブの業績として特色があるのは青少年奉仕部門に対する活動ではないかと思ひます。次代を担う青少年の健全な育成はその必要性が夙に叫ばれて居りますが、我がクラブは二つのインターアクトを設立し、その活動を助勢して参りました。即ち本県下初めてのインターアクトとして昭和39年10月8日に鶴丸高校に次いで昭和47年6月17日には鹿児島高校に結成致しました。この結成に係るいろいろな困難を見事に克服された故柴山一雄会員の功績を私共は忘れる事が出来ません。そして初期のアクト会員の中には現在既に立派な社会人として各界で多くの人々が活躍して居られるのであります。そして又我がクラブはこのインターアクトの両校に対しR I創立七十五周年を記念して「鹿児島西ロータリークラブ奨学金制度」を昭和55年に発足させ毎年4名宛月額老萬円の奨学金を贈呈し在學生の中で経済的援助を必要とする母子家庭や交通遺児及び学校長が特に推薦された生徒に対しその勉学を奨励して居るので御座います。ローターアクトに就いては、昭和51年6月24日に鹿児島西ローターアクトを発足させました。このローターアクトも順調な歩みを続けて居り昭和54年2月25日には唐津東ローターアクトと姉妹盟約を締結し昭和57年10月には273地区ローターアクト年次大会をホストして大会を成功に導く程立派に成長されました。

第三に、職業奉仕・社会奉仕の部門に就いてありますが、先づ第一に挙げたいのは「鹿児島西

ロータリー賞」の設定であります。これは初代会長であり現名誉会員の桜美四郎さんの提案になるもので御座いますが、陽のあたらない場所で社会の為に黙々として奉仕に励んで居られる方々を表彰しようとするものであり、昭和40年10月「おぎゃー献金」の提唱者遠矢善栄氏に差上げて以来現在まで34名の方と3つの団体にこの賞を差上げて居ります。本日も松田恭子さん、若宮英子さんを表彰する為この式典に御招きしてあります。次に昭和54年2月26日に発足致しました避地の小・中学校に対する「友愛文庫」の贈呈が御座います。これは鯨島志芽太会員の寄附金を基にニコニコ寄附金を毎年繰り入れる事によって運営して居るもので御座いますが、離島や辺地の小・中学校の児童生徒の情操を豊かにし生きる喜びと正しく美しいものに対する感動を与えるような読み物を献本しようとするものであります。現在下飯村の青瀬小学校を始めとする五校に5年間献本を続けて居り非常に喜ばれて居ります。これは我がクラブでは社会奉仕委員会の活動の一つとして取り上げて居りますけれども青少年奉仕の一環にもつながるもので御座います。その他土橋滋会員の産院で昭和53年に誕生しました四つ子に対する育成基金やR I 75周年記念事業として3 Hプログラムに対する協力、市内五クラブ共同による県立図書館への花水木の寄贈、インターアクト両校に対する記念植樹などたゆまぬ活動を続けて来て居ります。

第四に国際奉仕関係であります。現在まで交換学生として21名の外国人学生を受け入れ23名の高校生を送り出して居ります。ロータリー財団の奨学生の推薦も積極的に取り上げ、本年参ります蓮井・鯨島の両君を入れて六名の若き学究を留学させる事が出来ました。本年度のR I 向笠会長のテーマ“人類は一つ世界中に友情の橋をかけよう”を考えます時、今後私共は更に国際部門の奉仕に精進すべきであろうかと考えます。

こうして大まかに過去の実績を振り返ってみますと自画自賛的では御座いますが、他のクラブに比して決して遜色のない輝やかないものばかりであると信じます。これも歴代会長の御努力を始めとして全会員一致団結の結果では御座いますが、こうした順調な歩みを続けて来られましたのも偏に本日御来会を賜りました皆様並びに先輩ロータリアンの御指導と御支援の賜物であり茲に重ねて厚く御礼を申し上げます。

最後にこの創立二十周年を記念して何か後世に遺るような奉仕をと云う事で、会員一同協議を重ね検討致しました結果、鹿児島県立図書館に「鹿児島西ロータリー青少年文庫」を寄贈する事と致しました。幸い本日御臨席下さいました東正昭図書館長もその趣旨を諒とされ本文庫の設置を御快諾下さいました。本日寄贈致します文庫を柱に、今後毎年可能な限りの冊子の贈呈を続け補完と充実を計って行く所存で御座います。そして創立三十周年を祝う頃には立派な文庫として県立図書館の名物文庫となるであろう事を期待するもので御座います。

本日は皆様どうも有難う御座いました。今後益々私共のロータリー活動が発展し、人類の友愛と融和に向けいささかなりとも貢献するであろう事を祈念致しまして粗辞ながら私の式辞と致します。

昭和58年3月24日



祝 辞



鹿児島県知事

鎌田 要 人

本日、ここに鹿児島西ロータリークラブの創立20周年記念式典が盛大に行われますに当り一言お祝いの言葉を申し上げます。

鹿児島西ロータリークラブは、昭和38年に鹿児島ロータリークラブをスポンサーとして設立され、爾来順調な発展を続けながら20周年と云う意義深いふしめの年を迎えられました事は誠にご同慶にたえません。

この間、関係各位が、ロータリー精神の実現に積極的に取り組まれ、クラブ奉仕、青少年奉仕、職業奉仕、或いは国際奉仕等の各班の奉仕活動を通して地域社会の健全な発展のため、ご貢献いただいておりますことに心から敬意を表する次第であります。長びく経済不況、国や地方財政の再建、或いは海外との貿易摩擦の問題等、私共の行く手には極めて困難な問題が山積しております。

こうした状況の中で明るい展望を切り開いて行くための鍵を握るのは、何と申しましても国民一人ひとりの明るい社会を築いて行こうとする創意、あふれる英知と自立志向の気概であろうと存じます。自分は社会や郷土の為に何をなすべきかを深く考え、一人ひとりが自分の知恵とエネルギーをおしみなく出し合い、結集して社会造りの輪を広げて行く事が現在何よりも先ず求められている大事なことではないでしょうか。ロータリークラブはこの事に深い認識をいだかれ、その実践に努められている特志の方々の集まりであり、いわば明るい社会を築き上げてゆく良心の集いであると申し上げても過言ではありません。鹿児島西ロータリークラブが記念すべき創立20周年を契機として、他人の為、社会の為の尊い奉仕活動に更に邁進すべく、決意を新たにされますことは、誠に意義深いものがあり、心強い限りであります。どうぞ会員の皆様におかれましては今後共明るく住みよい真に豊かな地域社会の実現の為に引き続き御尽力の程、お願い申し上げますと共に鹿児島西ロータリークラブが、今後益々の御発展を遂げられますよう祈念致します。

昭和58年3月24日

祝 辞



鹿児島市長

山之口 安 秀

本日は、創立20周年をお迎えになりまして、友情にみちた盛大な祝典が挙行されましたことを心からお祝い申し上げます。

政治、経済、社会が激動する中で、ロータリーの会員の皆様方には、一貫して親善と平和と人間の幸福を願って、様々な各面にわたって社会奉仕に務め、地域社会に刺戟を与え、大きな貢献をして頂いて居ります。この20年間の長い間にわたって会を支えてこられた皆さん方に深甚の敬意を表する次第であります。

西ロータリークラブが発足されました昭和38年と申しますと、ちょうどわが国経済が一大発展をしているときであります。当時の鹿児島市の人口は35万4千人、財政規模も現在の25分の1の40億円くらいのもので、会場の建物にしても250くらいしかありませんでした。省みますと隔世の感がございます。

当市はパース、ナポリについて、去年は中国の長沙市とも友好盟約を結び国際交流も盛んになっており、当市のロータリークラブも6つになり、地域社会の中で国際的にも大きな活躍をなさって、本当に心強いものがあります。

西ロータリーも巾広い活動をなさっているわけでロータリー賞、青少年文庫の寄贈など地域社会の先導的役割を果たして頂き本当に有難いことだと思っております。

現在、社会的にはまだまだいろんな問題が山積しており、青少年の問題、お年寄りの問題、いろいろございます。

皆様方の尊い社会奉仕によりまして人々の心の中に暖い灯をとぼし、明るい社会づくりをして頂こう、ロータリーの皆さん方の一層のご活躍と益々のご発展を心から祈念致します。

昭和58年3月24日

祝 辞



第273地区ガバナー

杉 村 進

本日は、創立20周年記念式典を催されることになり、誠にお目出度うございます。

西ロータリークラブは 273地区では現在28番目のクラブということで、鹿児島市内クラブでは第3番目のクラブでございますが、鹿児島ロータリークラブからベテラン会員が多数移籍され、チャーターメンバー25人、その後着実に発展をとげられ、現在86人の多数の会員を要して活発な奉仕活動を展開しておられ、誠に敬服に値するところであります。また、親クラブとして加治木クラブをはじめ加世田、枕崎、穎娃のクラブを誕生させ、この5月に合同で10周年の記念式典を行われることになっており、これも大変お目出度いことでございます。

鹿児島は歴史と伝統の町で、風土、人心はロータリーに誠にふさわしく地区内でも最もクラブ数が多く、本年度に誕生をみました宮之城を含めて27クラブが県下にあるわけでございます。先日、鹿児島ロータリークラブの30周年の記念式典に参列させていただきまして、その時に南洲翁の残された遺訓についてふれさせていただいたわけですが、明治の初期に鹿児島島の先人たちが重要な役割を果たしたことを申し上げた次第でございます。

それから、実は本年の国際大会がトロントにおいて向笠国際ロータリー会長主催のもとに行われるわけですが、このトロントの大会を記念し、トロントに何か記念品を贈りたいという計画を建てております。会場の近くにオンタイオプレスという所がございます。そこに日本移民百年を記念して日本側から寄贈致しました鐘楼（つりがね堂）がございます。これがトロントの市民に大変親しまれておりまして、そこに鐘楼の側に石灯籠でも寄付したらどうかということになりまして、向笠RI会長を記念する石灯籠募金ということになりました。皆様からいくらかでも結構ですから御寄付を頂きたいとお願いする次第でございます。

最後に厚かましいお願いを申し上げましたが、本当に本日は有難うございました。

昭和58年3月24日

祝 辞



鹿児島R・C会長

塚 本 相次郎

親クラブの由を以て本日は、高い席にお招きをいただき誠に恐縮に存じます。私の所属しておりますクラブがついに先日30周年の式典を行ったのでございますが、私のクラブが出来ました年は経済白書に“最早や戦後ではない”と云う有名な言葉が出まして、そんなことあるもんかと云って皆びっくりした時代でございます。それから僅か10年経ちまして、西クラブが出来ました時には丁度高度成長の真っ盛りでありました。

以後高度成長期が爛熟期へ向うと云う、そういう時代でございました。誕生致しました時の世相は随分違うのでありますけれども、然し考えてみますとわずか20年と30年の差でございまして、親クラブなんておこがましいもんで、まあ兄貴クラブ的なところで。

この20年の間に親クラブにもまさる素晴らしいご活躍をしておられまして、誠に御同慶の至りでございます。

ところで世の中は大変複雑、微妙な時代になって参りまして、私は先日一寸或る歴史学者から聞いた話であります、この乱世と云うのは騎馬民族、狩猟民族の時代だそうであります。つまり、非常に的確にして思い切った発想を果敢に行うということによって生きぬいて行く時代だそうあります。逆に私共農耕民族のこの世界というものはこの土地というもの、つまり無くならない不滅のものに対して依存心がある。それから社会秩序、身分秩序と云うものは動かないというところに原因があるんだそうであります。したがって徳川 300年のあと、私共の先輩達が立って、これを倒して新しい政府を作った。その時の領袖は皆、薩摩、長洲の下級武士つまり騎馬民族、狩猟民族的の発想を持った人であったと云うんであります。したがって、こういう人達が日露戦争を始める時には早くから、戦争を終る時には一刻も早く終りたい、終る時にはルーズベルトに調停を頼もう、或るいは露国のレーニンに革命資金を送って、先方の戦意をそそうさせよう。もう早くから喧嘩をする前から、どうやって仲なおりするかということを考えていた。これまさに狩猟、騎馬民族の発想だそうであります。それに引き換え今度の戦争の場合神洲不滅と云う言葉がございます。これは誠に以て農耕民族ののんびりした発想のあらわれである。決して吾々の偉大なる先人は神洲不滅なんておろかなことは言わなかった。これはいい話を聞いたと私は思ひまして、ところどころ、それを使いまくっておるんであります、ハテナとこの席へ来て考えました。

ではロータリークラブは、これは不滅と云ってはいけないのだろうか、然しながらロータリー精神、これは私がちょうちょうする迄もございせん。皆様よくごあんないの通りであります。このロータリーの哲学、ロータリー精神と言うものはどう考えても不滅であります。従いましてロータリ

ークラブという組織も又不滅でなければならない筈であります。その不滅であるべきロータリークラブ、当クラブにとりまして、出来てわずか20年、まだまだ先がございませう。親クラブが出来ておりますが、私共30年、なんてこれも非常に短い差でございませう。そして現在こそこの騎馬民族的発想で、天下と申しますか、世界も我が国も色々な面に於いてあしかの如く乱れております。

何処へ行きつくかよくわからない、こういう時期こそ私達の出番ではないだろうかという気がするのであります。そういう時期にこの20周年、青年期を迎える、いや青年期を終ったと謂いますか壮年にはいると申しますか、20年という歴史を一区切として、これから発展されるその儀式を取り行う、誠に意義深いことではないかと思うのでございませう。まあ歌は世につれ、世は歌につれ等と申しますけれども、ロータリーの哲学と云うものを我々が如何にして実践し具体化するか、その時々々の社会のニーズによって違ふと思う。先程からの経過を伺っておりますと、まさに的確にこの20年間堪えられてまいりました。今後ともどうぞ従来同様のご活躍をなさって、益々発展なさいませう、それに兄貴クラブも一つ弟クラブに見習って益々発展して参り度いとこのように考えております。

昭和158年 3月24日

鹿児島西ロータリークラブ創立20周年記念式典

式典次第

日時：昭和58年3月24日(木)午後4時

場所：割烹 鶴家、高砂の間

司会 林 鈴 香

例会 会 (1008回)

点 鐘

国歌「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

式 典

開式の辞

記念委員会副委員長 高 井 敏 治

来賓紹介

会 長 久 保 政 次

物故会員へ黙禱

式 辞

会 長 久 保 政 次

来賓祝辞

鹿児島県知事 鎌 田 要 人 殿

鹿児島市長 山之口 安 秀 殿

第273地区ガバナー 杉 村 進 殿

鹿児島R・C会長 塚 本 相次良 殿

祝電披露

幹 事 水 渕 清 治

鹿児島西ロータリー青少年文庫贈呈

記念事業文庫贈呈経過説明

記念事業委員長 池 田 広

目録贈呈

会 長 久 保 政 次

鹿児島西ロータリー賞贈呈

選考経過説明

推せん委員長 高 井 敏 治

鹿児島西ロータリー賞贈呈

会 長 久 保 政 次

記念品贈呈

会 長 久 保 政 次

杉村 進ガバナー

鶴岡ロータリークラブ

” 来訪会員

御祝金贈呈（久保田彦穂会員芸術選奨文部大臣賞受賞）

チャーターメンバー表彰（7名）

ホームクラブ14年間無欠席表彰（池田広会員）

感謝状贈呈（ホテル鶴鳴館）

謝 辞	青少年文庫贈呈先	県立図書館長	東 正 昭 殿
	鹿児島西ロータリー賞受賞者		松 田 恭 子 殿
記念講演	「日本のホメオスタシス」	教育評論家	古 木 俊 雄 殿
閉式の辞		幹 事	水 淵 清 治
点 鐘			

祝 賀 会 次 第

日時：昭和58年3月24日 午後6時

場所：ホテル鶴鳴館 鶴の間

		司 会	林 鈴 香
挨拶		記念委員会副委員長	中 村 俊 雄
乾 杯		名誉会員	桜 美 四 郎

開 宴

アトラクション	(出演)	楽 団	リズムスターズ
		唄	吉 野 ひかり
			来賓並びに 会員の賛助出演

斉唱「手に手つないで」

万才三唱	北分区代理	川 上 鐵 太 郎
------	-------	-----------

散 会

鹿児島西R・C創立20周年記念表彰者

1. 鹿児島西ロータリー賞受賞者

松 田 恭 子 殿

若 宮 英 子 殿

2. 芸術選奨文部大臣賞受賞者

久 保 田 彦 穂

3. チャーターメンバー（7名）

桜 美 四 郎 岩 元 正 二

河 井 時 義 川 村 洋

小 山 幸 義 牧 田 健 二

島 津 忠 丸

4. ホームクラブ14年間無欠席表彰者

池 田 広

5. 感謝状贈呈

ホ テ ル 鶴 鳴 館

20周年記念行事実行委員会組織

鹿児島西ロータリークラブ

- ◎委員長 久保政次
- 副委員長 柴山一雄・中村俊雄

[総務委員会]

- ◎委員長 水瀨清治
- 副委員長 小園正人・徳沢紀生
- (委員) 出席 職業分類 会員選考 会員増強 会計

[式典委員会]

- ◎委員長 小山幸義
- 副委員長 田平礼章・徳永新一郎
- (委員) 親睦 青少年 (インターアクト
ローターアクト) 国際奉仕 S・A・A 副S・A・A

[記念行事委員会]

- ◎委員長 池川 広
- 副委員長 高井敏治・海老原利則
- (委員) プログラム 職業奉仕 社会奉仕 ロータリー財団

[記念誌委員会]

- ◎委員長 石神兼康
- 副委員長 光吉正昭・福満武雄
- (委員) 広報 会報 雑誌 ロータリー情報

西ロータリーの特別事業

〈20周年記念事業〉

○青少年文庫の贈呈

鹿児島西ロータリークラブでは20周年を記念して県立図書館に金百万円を寄贈、青少年コーナーに「鹿児島西ロータリークラブ文庫」を創設することになった。同図書館では青少年向けの図書費の購入予算額が少なかったので、大喜びで早速 800冊にのぼる図書を購入、

一般に公開している。尚、西ロータリークラブではこれを契機に毎年、ニコニコ箱の寄付金から毎年相当の金額を寄贈することを決定しているので、青少年文庫は毎年充実、拡大してゆくことになる。

既に購入された書籍は次のようなものである。

鹿児島西ロータリークラブ青少年文庫目録

○こども版 日本こん虫記
○学級全員が出演できる劇集
○世界のジュニア・サイエンス
○おはなし 日本歴史
○学習大事典ジュニア・エポカ
 ク 別巻
○アシモフ科学発見シリーズ
○パージュス アニマルブックス
○空から見た日本
○鼠と星座の伝説
○日本少年文庫
○定本 小川未明童話全集
○佐藤さとるファンタジー全集
○松谷みよ子のむかしむかし
○日本史の目
○子供の科学工作文庫
○全線全駅鉄道の旅
○シートン動物記
○おぼけ文庫
○ほらふき文庫
○どうわのうみへ
○どうわのもりへ
○お料理しましょう
○目で見る日本の詩歌
○学 校 劇
○子ども美術館2期
○天文シリーズ
○江戸川乱歩全集

○怪盗ルパン全集
○先生の語るとっておきの話
○名探偵ホームズ
○世界の国々に
○県別シリーズ
○シリーズ 海
○詩の散歩道
○米栖良夫児童文学全集
○すばらしい人間のからだ
○恐竜ライブラリー
○海洋牧場
○のびのび剣道
○恐竜の研究
○魔女やしきのなぞ
○地震のなぞをさぐれ
○あした天気になあれ
○地図のけんきゅう
○ガンバとカワウソの冒険
○グリッグの冒険
○冒険者たち
○山賊のむすめローニャ
○人と自然の24時間
○歌舞伎再見
○ぼくとキキのアフリカサファリ
○日本歌曲の父 山田耕筰
○ジュニア音楽辞典
○たのしい作曲
○やさしい楽典

○楽器のおはなし
○クモたちの狩り上・下
○ぼくは逃げない
○小さな町の風景
○おんどりとぬすっと
○ネコ大王のぼうけん
○キジのくらし
○アイデア工作
○ネコになったボク
○燃えあがる人形
○八月のサンタクロース
○動物たちの愛の詩
○ネプタの一番だいこ
○アルテンベルク物語
○飛べ！千羽づる
○こども理科年表
○かえるのアパート
○かぜのでんしゃ
○ぼく歩けます
○オロロンチョウの島
○榎本武揚
○源 頼 朝
○近松門左衛門
○高 杉 晋 作
○西 郷 隆 盛
○アイヌ・ユーカーラ
○新でんちあそび
 以下省略

○20周年記念ロータリー賞の贈呈—松田恭子さん、若宮英子さん

西ロータリーでは昭和40年から社会奉仕に献身している人に毎年西ロータリー賞を贈り、感謝の意味をこめて表彰してきたが、20周年を迎えて、第17回になるが、県立盲人点字図書館に、点訳部門で20年間奉仕してきた松田恭子さん(59才)と朗読部門で10年間奉仕している若宮英子さん(44才)に20周年記念ロータリー賞を贈り、その労をねぎらった。

○記念美術展

20周年を記念する美術展は会員ならびに会員家族の作品を出品してもらい、昭和58年3月26日から31日までの一週間、加根又ギャラリー(2F)でひらかれ、好評を博した。

出品者ならびに出品物は次のとおり。

出品者名

〈書道〉

新福栄熊 「春鶴桃花」
林其為 「徳不孤」

〈色紙〉

川田よしえ 「アイリス」
久保政次 「誦月吟花」
富川鈴子 「すいせん」
中村俊雄 「もくれん」
「ぼんたん」
椋鳩十 「春の虹」

〈七宝焼〉

新福清子 「昇仙映虹の滝」

〈紙人形〉

上原有代 「ロマンドール」
海江田悦子 「手まり」
「花嫁」
「お高祖頭巾」
山下ちづ子 「ロマンドール」
「ひな人形」

〈絵画〉

川上鉄太郎 「寺山より単人を望む」
「小春」
「静物」
玉川とみ子 「柘榴」
「バラ」1.
「バラ」2.
「バラ」3.
徳永一子 「ゆり」
永松実夫 「ギターを弾く女」
「青春の樹」
「大連の思い出」

〈フラワー〉

富田鈴子 「パンフラワー」
「アートフラワー」
林鈴香 「アートフラワー」
「つばき」
「白ゆり」
「リボンフラワー」
「ポピー」

〈織〉

永松美穂子 「陽炎」

〈写真〉

安楽絃一郎 「石仏」
「ポートレイト」
「風景」

〈ロータリー賞贈呈者〉

第1回(昭40.11.7)大口市開業医遠矢善栄さん、おぎゃー献金運動。

第2回(昭43.3.23)平川小学校海の上部落子供愛護会へ、40年間の伝統「火の用心」「駅の清掃」

第3回(昭44.3.27)鹿児島県立ひかり学園富迫ミツエさん、羽島フミさん、上柳田礼子さん、丸野静江さん児童福祉施設の第一線にあつて永年の奉仕に対し。

第4回(昭45.3.26)川辺町諏訪下スポーツ少年団、団員は川辺中、川辺高の男子12人女子6人で構成。昭38年以来早走会、スポーツ活動、町の美化清掃に当る。

第5回(昭46.3.25)大脇利隆、ナル夫妻、肝付郡根占町登尾小辺田別府分校夫婦協力して辺地分校教育と同校区民の社会福祉に献身的に努力。

第6回(昭47.3.23)中池知之(ちの)さん58年間助産婦として献身的努力をした。78才。

第7回(昭48.3.22)山下ユキさん(19年間)伊牟田ミツ子さん(24年間)鹿児島大学病院ハウスキーパーとしてつくす。

第8回(昭49.3.14)米満静夫さん、坂口愛次さん、永年の清掃事業の労に対し。

第9回(昭50.3.20)①児玉フジさん(74才)医療社会事業の推進に対し。
②東文子さん(28才)外国人留学生の支援活動に対し。

第10回(昭51.3.25)①坂口田鶴さん(66才)34年以降県人権擁護委員。
②新保一郎さん(26才)46年よりBBS会員、西田喜男さん(28才)45年よりBBS会員。
③瀬之口しずえさん(37才)39年より県警婦人補導員。

第11回(昭52.3.24)①愛のコンパニオン(代表者窪園達一)精神薄弱者、身体障害

者のための奉仕活動。

②吉井カツ子さん(50才)3年間清けい園での奉仕活動。

第12回(昭53.3.23)①有馬良一さん(44才)愛光園に勤務、永年の奉仕活動に対し、
②渡辺米子さん(56才)鹿児島市福祉事務所嘱託、永年の老人福祉活動に対し。

第13回(昭54.3.22)①藤岡マリ子さん(48才)県立整肢園総看護婦長。
②福田登志江さん(49才)ひかり学園主査。

③和田幸栄さん(57才)市福祉事務所嘱託。

第14回(昭55.3.13)①有島平治さん(68才)長年保護司として奉仕。

②福森千尋さん(44才)県教育庁保健体育課指導主事。

第15回(昭56.3.26)新聞少年4名、民広和(実業高3年)五百路照美(吉野中2年)小斉平学(実業高3年)一以上南日本新聞、山下親義(実業高1年)一鹿児島新報。

第16回(昭57.3.25)①岩下方成さん(42才)鹿児島高校で点字図書。

②島森あつ子さん(47才)子どもたちのレクリエーションの指導。

③福留幸子さん(59才)西駅売店勤務、浮浪者のめんどうをみる。

④郷原トミさん(70才)民生委員として長年奉仕。

第17回(昭58.3.24)①松田恭子さん(59才)鹿児島県立盲人点字図書館点訳部門に20年間奉仕。

②岩宮英子さん(44才)同図書館朗読部門に10年間奉仕。

〈鹿児島西RC友愛文庫〉

友愛文庫事業の創設は昭和53年に鮫島志芽太会員が第373区地区大会において講演したのを機会に、10万円を西ロータリーに寄付、これを基金にして、さらにニコニコ箱寄付金の年間総額の約1割(約10万円)を加算して、これで図書を購入、離島・辺地の小中学校に毎年1校あて20冊づつ5年間継続して献本することにしたものである。

現在までに献本した学校は次のとおり。

昭和54年度(第1回)①薩摩郡下飯村青瀬小学校 ②西之表市馬毛島中学校 ③鹿児島市桜ヶ丘西小学校

昭和55年度(第2回)①青瀬小学校 ②桜ヶ丘西小学校 ③薩川小学校 ④宮田小学校 ⑤池田小学校

昭和56年度(第3回)①青瀬小学校 ②桜ヶ丘西小学校 ③薩川小学校 ④宮田小学校 ⑤池田小学校

昭和57年度(第4回)①青瀬小学校 ②桜ヶ丘西小学校 ③薩川小学校 ④宮田小学校 ⑤池田小学校

昭和58年度(第5回)①青瀬小学校 ②桜ヶ丘西小学校 ③薩川小学校 ④宮田小学校 ⑤池田小学校

鹿児島西RC「友愛文庫」運営規約

1. この奉仕活動を鹿児島西RC「友愛文庫」事業という。
2. この会の運営金は、鮫島志芽太会員の寄附金10万円に、ニコニコ箱寄附金の年間総額の約1割(約10万円)を毎年加算したものである。
3. この運営金は、離島・辺地等の小中学校に対し、生徒の情操を豊かにし、生きる喜びと正しく、美しいものに対する感動を与えるような読み物を献本するために使用する。

献本対象学校は、県及び市教育委員会に選定を依頼する。

4. 初年度は、3校を選定し、1校に各20冊計

60冊(1冊1,000円程度)を贈り、初年度の費用は6万円とする。原則として同じ学校へ5年間継続して贈る。ただし、新設学校等に対しては状況により、2年又は3年限りとすることがある。

5. 2年度は、新しく、2校を増加し、前年度の3校(又は2校)と合わせて5校(又は4校)とし、各校20冊宛を献本する。

3年度はさらに1乃至2校を増し、逐次継続して献本するものとし、5年間贈った学校は終結する。

6. 以上の運営業務は、当クラブ理事会の承認を経て社会奉仕委員会が行なう。

献本の発送は、信用ある書店に依頼し、社会奉仕委員会の認定を経て発送させる。

7. とときどき、献本先学校生徒の感想文や、読みたい本の希望文を募集し、選考の上、入選者はクラブ例会に招き、インターアクトとの交流をはかる。

8. 会員の各家庭に小中学生向きの図書があれば、寄贈を求め、これに加える。

9. この献本は、継続奉仕運動とし、ロータリー精神普及の一端として、その献本奉仕の輪を広げていくことを理想とする。

このため運営金増加の方法を絶えず工夫推薦するものとする。

10. この運営金の基金10万円は、昭和53年国際ロータリー第273地区年次大会における鮫島会員の記念講演の講師料を、同会員がそのまま寄附されたものである。以上

〈鹿児島西ロータリークラブ奨学金制度要綱〉

第1条 (目的)

この制度は、ロータリー創立75周年記念事業の青少年奉仕事業として、高校生を対象とし奨学金を給付し、その健全な育成に寄与することを目的とする。

第2条 (基金)

奨学金の基金として、当初は「鹿児島西ロータリークラブの諸積立金の内、500万円を充当し、遂次、基金の増額につとめ、奨学金制度の拡大充実に図る。

第3条 (基金の運用)

基金は諸金融機関へ預託し、その利息を奨学金に当てる。

第4条 (奨学金の給付対象)

当初は、奨学金の給付対象を鹿児島西ロータリークラブの「インターアクトクラブ」の高校である鶴丸高等学校、鹿児島高等学校在学の経済的援助を必要とする母子家庭の子弟、交通遺児及び学校長が特に必要とする者である生徒とする。但し、基金の充実に伴い、その対象を拡大する。

第5条 (奨学金の給付金額及び対象人数)

当初は、月額 5,000円とし、対象人数は6名を限度とする。但し、基金の充実に伴い金額対象人数を増加する。

第6条 (奨学金給付者の選考)

奨学金給付者は、毎年4月、各学校より、推薦された者の中から「インターアクトクラブ」委員会で選考し、理事会に奨学金給付候補者名簿を提出、理事会で決定する。

第7条 (其の他)

其の他必要な事項は、理事会に於いて決定する。

第8条 (附則)

本要綱は昭和55年4月1日より実施する。

奨学金給付者次のとおり

◇55.4～56.3

原 田 英 幸 (2年)
 児 玉 和 子 (1年)
 日 笠 山 留 美 子 (3年)
 一鶴丸高一
 久 保 澄 広 (1年)
 南 智 子 (1年)
 瀧 山 藤 子 (3年)
 =鹿児島高=

◇56.4～57.3

原 田 英 幸 (3年)
 児 玉 和 子 (2年)
 高 木 智 博 (2年)
 大 川 大 海 (2年) 11月より追加
 =鶴丸高一
 久 保 澄 広 (2年)
 南 智 子 (2年)
 西 村 文 江 (1年)
 吉 原 道 代 (1年) 9月より追加
 =鹿児島高=

◇57.4～58.3 (1万円)

児 玉 和 子 (3年)
 高 木 智 博 (3年)
 大 川 大 海 (3年)
 早 崎 哲 博 (3年)
 =鶴丸高一
 鹿児島高は前年と同じ

◇58.4～59.3

安 楽 佳 子 (3年)
 浜 崎 小 百合 (1年)
 大 山 美 紀 代 (2年)
 久 保 昌 弘 (3年)
 =鶴丸高一
 吉 原 道 代 (3年)
 西 村 文 江 (3年)
 中 瀬 広 美 (2年)
 谷 口 俊 彦 (1年)
 =鹿児島高=

〈鹿児島市ロータリークラブ四つ子養育助成会〉

鹿児島市明和4丁目の竹田利隆さんの妻、綾子さんが土橋病院(院長土橋滋)で四つ子(希弥子ちゃん、孝子ちゃん、克子ちゃん、範子ちゃん)を53年10月2日産んだが、土橋院長の報告で西ロータリーでは養育助成金の拠出を市内他クラブによびかけて助成会が結成された。

54年1月から3年間会員が1,000円づつ拠出することになって、54年7月までに総計1,108,000円が集まり竹田家へ6回にわたって養育費として贈られた。

鹿児島市ロータリークラブ四つ子養育助成会会則

第1条(名称)

本会は、鹿児島市ロータリークラブ四つ子養育助成会(以下本会という)と称する。

第2条(会員組織と事務局)

本会は鹿児島市内の鹿児島・鹿児島南・鹿児島東・鹿児島中央及び鹿児島西各ロータリークラブの全会員を以って組織する。

本会の事務局は、鹿児島西ロータリークラブの事務局内におく。

第3条(目的)

本会は昭和53年10月誕生した鹿児島市永吉町団体職員 竹田利隆さん(29)全綾子さん(31)夫妻の四つ子養育のための経済的負担の助成を行なうことを目的とする。

第4条(会費)

本会は前条目達成のため昭和54年1月より各会員年額1,000円を三カ年継続して拠出する。

第5条(事業)

1. 竹田利隆夫妻に対し、四つ子養育料の一部助成
2. 会員に対する四つ子成長の状況報告
3. その他、本会の目的達成に必要な事業

第6条(役員)

本会の役員は次の通り選任する。

1. 会長 1名

2. 副会長 1名 鹿児島西ロータリークラブの会長

3. 理事 4名 鹿児島・全南・全東南及び全中央ロータリークラブの会長

4. 幹事 2名 鹿児島西ロータリークラブの幹事及び社会奉仕委員長

5. 会計 1名 鹿児島西ロータリークラブの会計

第7条(役員の任務)

1. 会長は本会を統轄する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、これを代行する。
3. 理事は本会運営の審議に参加し、幹事は、本会運営の事務を担当する。
4. 会計は、本会の金銭出納の任に当る。

第8条(金銭の受払)

第4条の会費は各ロータリークラブにおいて、1月と7月に取り纏め、本会に送付する。会計は、前項の会費を年2回に分割して、本会の名を以って、竹田夫妻に贈るものとする。

第9条(解散)

本会を解散しようとするときは、会長は副会長、全理事と協議して解散する。

第10条(附則)

本会則は昭和54年1月1日より、これを実施する。

〈インターアクトクラブ〉

R I 理事会 (1961年～62) 昭36～37結成計画が採択され、地区では先ず中津RC提唱の中津高校I.A.C (38年7月29日) 結成に続き大分及び佐伯RCがそれぞれ結成、県下ではまだ結成されていない状態であった。誕生一年に満たない我が西RCではあったが、39年2月27日I A C創立準備委員会を設置し進学名門校の鶴丸高校に39年10月8日地区として四番目に設立し各

RCの驚異の的となり、青少年奉仕活動は西RCと称せられるようになった。

その後各RCとそれぞれ設立され我が西RCは二校目を鹿児島高校に47年6月17日設立した。地区内でも二校スポンサーしているRCは鹿児島RCと水俣RCの二RCのみで現在90RC中32RCが提唱、35の高校で奉仕活動を続けている。

〈ローターアクトクラブ〉

R I 理事会 (1967年～68) 昭42～43結成計画を採択し44年8月9日鹿児島、鹿児島南、鹿児島西三RC合同のR.A.C準備委員会を設置44年10月11日鹿児島R A Cとして結成、その後50年7月15日分割合同委員会発足、51年6月24日鹿児島西R A Cとして発会式を挙行した

ーゲル運動に我が西RCも創立より協賛し特に46年7月西RC単独で山口県萩市への二泊三日のサイクリング旅行を実施し、50年7月よりは地区青少年野外活動推進委員会と改称して活動している。

西RCの地区青少年委員会役員として下記の者が担当し、地区各種大会のホストを務めた。

野外活動

36年4月第64地区時代発足したワンダーフォー

I . A . C 委員	柴山 一 雄	⁴¹ ⁴⁶ 1966～71 (6年)
〃	瀬戸山 勝 資	1971～
ワンダーフォーゲル及 青少年野外活動委員	柴山 一 雄	⁴⁹ ⁵¹ 1974～76 (2年)
〃	瀬戸山 勝 資	⁵¹ ⁵² 1976～77 (1年)
〃	和 田 吉 人	⁵² ⁵³ 1977～79 (2年)
○地区インターアクト年次大会		⁴² 1967. 8. 18～19年
○地区ローターアクト年次大会		1957. 10. 9～10年

〈西ロータリー学習会〉

昭和53年8月、ロータリー情報委員会を中心になって第1回をひらき、その後毎月ひらかれ今日に至っている。テーマは毎月決めて学習しているが、ロータリアンはいかにあるべきか、

じっくり考え、話し合い、復習して、より良きロータリアンを目指す会である。毎回12名ないし20名の会員が出席している。

〈西ロータリーの平均年齢と平均出席率〉

昭 和	西 暦	平均年齢	平均出席率	その他区順位
38～39	1963～64	50.0 才	99.18 %	9
39～40	1964～65	49.0	99.11	9
40～41	1965～66	51.40	99.09	8
41～42	1966～67	52.70	98.81	
42～43	1967～68	53.30	99.79	9
43～44	1968～69	53.00	99.92	4
44～45	1969～70	52.80	99.92	6
45～46	1970～71	52.60	98.83	9
46～47	1971～72	53.19	99.01	5
47～48	1972～73	52.09	98.14	10
48～49	1973～74	54.30	98.73	9
49～50	1974～75	53.80	97.91	9
50～51	1975～76	54.60	97.63	10
51～52	1976～77	55.70	95.49	
52～53	1977～78	57.10	96.52	
53～54	1978～79	56.45	96.59	
54～55	1979～80	57.25	96.92	
55～56	1980～81	57.47	97.07	
56～57	1981～82	57.58	96.22	
57～58	1982～83	57.02	93.96	

歴代会長から物申す

＝ 20周年記念座談会 ＝

出席者	桜美四郎	初代会長
	鮫島志芽太	6代々（紙上参加）
	川村洋	11代々
	新福栄熊	12代々
	福田敏之	13代々
	川上鉄太郎	17代々
	浜田馨	18代々
	中村俊雄	19代々
	久保政次	20代々

司会 石神兼康

司会 本日は、お忙しい中をお集り下さいまして有難うございます。



西ロータリークラブも創立20周年を迎え、先月盛大な創立20周年式典ならびに祝賀会をあげることができ、お互い西ロータリークラブ会員として

非常に嬉しく誇りに思います。

ところで、本日はその20周年記念事業の一環として、いままでの会長さん方にお集りを願ひ西ロータリークラブの20年の足どりを話して頂くと同時に、会長として苦労された話とか、西ロータリークラブの今後のあり方とか、かねて考えていらっしやることなど率直にお話し聞かせて戴きたいと存じます。

素晴らしい青少年文庫

桜美 こんどの20周年記念で県立図書館に青少年文庫を西ロータリーから寄贈したということは、本当に素晴らしいことですね。各方面に評



判になっています。

久保 今年は百万円でしたが、今後も毎年寄贈するように計画しております。

ニコニコ箱から20万円以上出せるのではないかと思います。

福田 毎年続けてゆくと、10年後にはそれぞれ、立派な文庫になるし、西ロータリーの業績も後世にずっと残るんじゃないですか。

久保 青少年文庫だけでなく、ロータリー賞も非常に喜ばれています。あれを西ロータリー

の仕事として作って下さった歴代会長さん方に非常に感謝して居ります。

悪くなった出席率

桜美 西ロータリーの良い面の話でしたが、



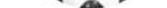
今度は耳の痛い話をしたい。私は20年を経まして痛切に感じているというか、今尚疑問に思っている点があります。それは前半の10年間は皆様が出席率が非常によくて地区大会でも毎年表彰されていた。しかもクラブの運営も非常に活気があった。ところが10年を経まして会員が段々多くなっていくにつれて欠席者も多くなり、表彰されるどころじゃございません。また会の運営も非常に活気が減退してきている。何故だろうということ。よく見ると欠席する人はたいいて決まっている。

20周年の記念事業も結構ですが原点にかえっ



て反省してみる必要があるんじゃないかと、こういう風に考えております。

久保 最近出席率が悪いというのは確かにご指摘のとおりです。特定の人ということもありますが、その他に会員が老令化されたため、病気や何やらで休まれる方がかなり出てきている。



少なくともそういう状態

でない方は、事務局でキャッチするようにしてお

りますし、出席委員会とも連携して督促しているんですが、仲々よくならないですね。

司会 老令の方や病気の方はクラブとして対応の処置がとれないんですか。

久保 本人の方から申し出がないと出来ませんのでね。

中村 順序として便宜を計って上げなくては



なりませんよね。病気の方や特別の理由のある方は申請すれば免除の方法があるわけですからね。でも申し出がないと事務局の方でもわからんですものね。

大場先生でしたか、鹿大の研究で南方に行かれる時、困って居られたからこういうルールがありますと教えてあげて申請して免除したんです。

川村 ロータリークラブには定款や細則があるわけですから、ルールはお互いにきちんと守らなくてははいけませんよね。

ルールは守れ

川上 出席に無関心の方もいらっしゃる



ね。これは学習会で何回も問題になりまして、これはルール違反ですから自動的にやめてもらうようにする方法がよいと思う。期日きたら事務局で直ぐ葉書を出すようになりました。

りました。

中村 今の時点で出席が無理であれば一応退会していただけないでしょうかと言って退会していただいた方もあります。

川上 紹介した人が責任をもってやるべきですね。

久保 会費の納入にしても非常に遅い方がいらっしゃるんで、1月末までに納入ない場合は会員資格を喪失されますという通知を出すようにして居ります。

若い活力をつける

川村 会に活力をつけるという意味で若い会



員をできるだけ加入させてゆくことが大事ですね。そうしないとクラブが養老院みたいになってしまいます。私が会長の時には拡大より懇親という

ことで、親睦を深めようという

ことを重点的にやった。会員が増えてくるとお互い知らない人が増えてくるとなると困るわけです。これは宿命かも知れませんが……。

久保 比較的若い新人会員がはいますと決まっておっしゃることは何かしらとつきにくいと言われます。偉い人が多いので気軽に話しかけができないらしいのです。だから気軽に話しかける雰囲気をつくってゆかなければいけないのではないか、これからはぜひ今迄の会員の方が自分から声をかけて同化してゆく努力をしなければいけないのではないか、こういうことを痛感しているところです。

桜美 原因の一つはロータリークラブの出版物が固苦しく難しく書いてある。常識的なことなんです哲学的に難かしく表現されているのも問題ですね。

職場奉仕にしても難かしげに言うのですからね。これではなじみにくいわけです。とくに若い人にとっては受け入れにくい。今後は思い切ってわかり易い方法を考えていただきたいものです。

久保 そういった方向で努力しているつもりです。それに最近加入された若い方は熱心な方が多いです。ローターアクトにしてもインターアクトにしても若い会員に熱心に活動していただいで居ります。非常にいいことだと思っています。

歌も活気の一つ

桜美 ロータリーの歌にしてもほかに歌があ

るんですから、交えて歌うこともいいのじゃないか。廊下を歩いてくる頃からピアノを弾いてもらうということにすればはずみがついては入って来たときに活気があるもんですよ。

浜田 今度の事務局員の前野さんは、ピアノも弾けるということで非常にいいことですね。

久保 西ロータリーは、本当に事務局員に恵まれたわけです。最初の佐々木さんや島津さんが本当によくやってくれた。今度結婚してやめられた向井さんも足かけ10年間、本当によくやってもらったと思います。感謝状と記念品を差しあげることにしたわけです。

川村 私が幹事のときは、桜美さんがベテランで、僕はわからんものだから、鹿児島ロータリーの事務局長の佐々木さんに助けてもらった。事務局員には恵まれたと言えますね。

久保 しかし、一面、会員が何でもかんでも事務局に頼みすぎるきらいがありましてね。自分でやろうとなさらない。この点クラブ員が反省しないといけないじゃないか。

新福 今度の20周年記念式典の時の冊子に項目がありますが、あれに説明文を入れていただきたいと思ったんですが、こんごの資料として20周年記念誌で考えてもらいたいと思います。



それから交換学生のことですが、私の時にお世話したことがございます。あの時までは南九州四県のほかに福岡、長崎、佐賀も一緒にやった。その時に“交換学生の受け入れのしおり”を作ったことがあり、ほかの県の人にも非常に喜ばれたことがあります。

記念誌の中にもこれを参考資料として入れてもらいたいものです。

ローター・インターアクトを活発に

司会 わかりました。資料はできるだけ集めるようにしたいと思っています。

つぎにローターアクトとインターアクトの活動についてですが。

久保 インターアクトは、鶴丸高校が心配ですが、ローターアクトの方は順調に行っています。ただ会員が少ないのがちょっと気になります。

これは青少年委員長の山下さんやアクト委員長の上原さんが若い熱意でやってもらっています。

去年の秋、ローターアクトの地区大会を鹿児島島でしたが、少ない人数であれだけ立派なものをやってもらってその点、仲々優秀なアクトの会員ばかりだと感激致しました。会員も最近又増えてきて居ります。

交換学生の復活を

新福 海外留学生の問題ですが、いまやめて居るわけですが、今後復活する見込みはないのでしょうか。

久保 交換学生の問題については私の年度内はできませんでしたが、今後ぜひ復活していただきたいと考えています。この一番の問題は日本における受入れ家庭の問題です。これさえうまくゆけば、ぜひ復活できるわけです。会員の積極的協力をお願いしたいものです。

それから財団の留学生の推薦ですが、西クラブは非常に活発です。非常に結構なことだと喜んで居ります。

浜田 受け入れ家庭の問題で国際奉仕委員長にはなかなかたがらないですね。私が会長の時にはこれで非常に苦労しました。

久保 これまで21名の交換学生を受け入れた実績があるわけですから、次年度あたりからぜひ検討していただきたいものです。

福田 それから私ちょっと古い話になりますが、塘さんがお書きになった運営方針についての考え方がありますが、あの文章は非常にいい文章だと思います。新しくはいつてきた方にああ言ったものをあげたらと思いま



それからさっきピアノの話がでしたが、最近ロータリーの歌の指導がないですね。新しくはいつてこられた方が歌を覚えられないのじゃないか。歌を教える機会もあっていいのじゃないか。

司会 ロータリーの歌は2、3回出席すれば覚えられるのじゃないでしょうか（笑声）。

福田 よそへ行くと、私共が知らない歌もありますよ。やっぱり歌も練習する機会をつくった方がよいと思いますが。

桜美 時間外でもいいじゃないですか。

中村 ロータリーの歌だけに限らなくてもいい。歌うだけでもなごやかに居りますよ。

新福 そうですね。箱根の山や赤トンボとかですね。いろいろ歌って居りましたよね。

浜田 さっき事務局の話が出ましたけれども



私が幹事をして居った頃、12、3年前のことですが、地区クラブ協議会に出た時、事務局のない所は手を上げてごらんと言ったら、その地区で10数クラブが事務局を持っていないのです。それでどうするかというと、幹事が交替すると小型トラックに道具を積んで次の幹事のところへ持って行って事務を開始するというわけです。ロータリーの原点にかえったような気がして非常に感動しました。それにくらべれば、うちのクラブなど恵まれています。

司会 確かにそうですね。幹事さんのところが事務局になるわけですね。

久保 それから事務局のことで会員にお願いしたいことがあります。それは会員の方は優秀な方が多いので、自分のレベルで考えて事務局にやってくれと言われる。ところが、事務局員にとってはレベルが高いので非常に苦痛なんですね。会長になって始めてわかったことですが、これまで専門家が事務局員だったからよかったんですが、今後は考えていただきたいものです。

学習会は基本

福田 それから親睦ということで始まった三木会ですが、マンネリ化した感じがしないでもないんですが……。

桜美 あれはいいですよ。

久保 ところが今顔ぶれが固定してしまっているわけです。学習会にしても顔ぶれが同じですよ。

桜美 学習会はロータリーに関心をもっていただけ基礎になります。疑問があれば学習会の席で出してもらおう。この間定款の問題を出されてね。本当にいいことで、創立以来初めてのことです。それだけ関心が持たれてきたということになります。

そういう意味では会費を千円とるといのはどうですかね。むしろ差上げてもいいんじゃないですか（笑声）この際思い切って協議願って、助成するという考え方でやってもらおう方がよいと思う。

上級会への出席義務

川村 それから西ロータリーは昔から上級会合への出席率が悪いんですね。

久保 確かにそうです。なんとかならないもんかなと思うんですが。近く今度5月15日に宮之城でチャーターナイトがございまして、川上さんが分區代理でお出になるんですが、ぜひうちのクラブからも会員多数に出席してもらいたいと回覧を回すんですが、てんで効き目がありません。仕様がなから会長、副会長、幹事、副幹事だけが行くということになる。

川村 そうそう、入会1～2年の人は義務出席ということにしなければいけませんね。

桜美 簡単なようで、大事な問題ですよ。私は他のクラブに出席することは一番よい勉強になると思います。むしろ旅費も会で負担してもよいんじゃないんですか。

久保 今は登録料など、負担して居ります。それでも霧島の場合など、9名登録しましたけれども、行ってみると7名しか来て居られない。全く困ったものです。

浜田 上級会合の出席の問題ですが、会員全部が毎月旅費積立金をしておいて、参加者には、その積立金を配分するというやり方はどうでしょう。

久保 それも一つの方法ですね。

顔写真も親睦になる

福田 話は変わりますが西ロータリーは写真がわりあい少い。ほかのロータリーを回ってみると写真帖がちゃんとできていて感心します。写真はやはり大事な資料になるんですからね。

桜美 商工会などは必ず写真をのせるのですよ。そうすると親しみが増ましてね。

久保 出席表の下に今度みんな顔写真を貼りましょうか。（笑声）

司会 新入会員の人は例会の時写真を貼り出すようにしたらどうですか。東京のゴルフ場などでは新会員は一カ月くらい顔写真をはり出して異議がなければ加入させるという方法をとっていますね。

川上 私が前に居りました学校では入校前に全生徒の写真を撮って係の先生が生徒を覚えておくんですね。入校時に先生が、直接誰々と名指しするんですよ。

生徒の方は一面識もない先生から名指しされてびっくりするんです。これがスキンシップといいますが、親しみの度合が増して来ますね。

福田 いわゆる写真の利用ですよ。週報にも顔写真をのせるようにしたらどうですか。

久保 載せた週報もあります。一寸高くつくんですが。

福田 新しい会員の方は挨拶される時の写真を撮っておいて、それを載せるという方法でもいいんじゃないですか。

司会 こんど記念誌には、全会員の写真をきちんと撮って載せるようにしてあります。

ではこの辺で、長時間にわたって貴重な御意見有難うございました。

二十年をふりかえって

鮫島 志芽太(紙上参加)

小さいクラブのときに持っていた美点——たとえばファミリー・シップ(家族的思いやり)——が、うすれて、大きなクラブにありがちな欠点が出てきたように思います。社会情勢も変わった、クラブの体容も変わった……この変化に適合するクラブ運営——奉仕——が必要になっているのではないのでしょうか。

ふりかえって考えますと、奉仕させることの上手な会長、幹事、理事会(執行部)というものがありますね。叱咤激励型、哀願・義理・人情型、強要・義務・RI型、理論型、イージー・ゴーイング型……まあ、いわばニュアンスの違いですが、どんな世界にもあるようなやりかたがあるわけですが、やはり、会員一人一人の特性を思いやって、ほめたたえる“誠実・

話合・説得型”が上手であって、成功しているように思いますね。結局のところ、現状のロータリーは、理事会(執行部)が一肌、脱ぐことによっては、引っぱるほかはないでしょうから……。

時代により理事会の力点も違いますが、基礎造りの時代、会員増強の時代、財政力造りの時代など……そこで記念式典——時代の節目に当り、会員の意識を新鮮にする意味をもつ——時期には、会員(故人をふくめて)の表彰ということ、もう少し考えてもよいのではないかと思いますね。奉仕の実践者を表彰するということは、さらに奉仕の実践者をふやすことにつながるわけですから……西クラブの性格は、もう過去のそれとは違ってきました。メンバーが違って来たから当然のことですが、いつの時代でも、よい意味のロタキチをつくる豊かな土壌がほしいですね。

20周年を記念して

河 井 時 義

我が鹿児島西ロータリークラブは、創立以来順調な歩みを辿り、ここに創立20周年記念誌を発行することになったことは、永年に渡りクラブの役員として御尽力下された方々及び会員御同様の御尽力の賜物と心から敬意を覚える所であります。その間の体系的なことは別に記録されることと思いますので、茲ではその間の思い出として二、三の事を書いて見たいと思います。

創立時時は鹿児島クラブから移って来られた桜美さん、土橋さん、岩元健吉さん、岩田さんの四名を除いて外は、ロータリーは初めての人ばかりで、皆こちこちになって余り話も出ないで、専らロータリーの勉強が中心になり、例会ごとに定款、細則の解説や、ロータリーは親睦を中心にして運営されるなどの説明がありました。その内会員同志顔馴染になり、会話も出だした頃に親睦を深めるため桜島一周家族会が企画されました。晴れ渡った青空の下に固苦しかった例会から開放された様な気分になり、桜島の風景を楽しみ、終りに養魚場で魚釣りをしたりして懇親会が開かれました。会員相互間、又家族の人々も交えて、打ちとけた雰囲気になったので、それを機会に例会が段々と和やかな雰囲気に向かったのを思い出します。

そこまでに払われた初代会長の桜美さんと幹事の川村さんの御努力は、大変なことだったでしょう。又先輩ロータリアンの方々にも例会をリードして頂くのに御世話になった。鹿児島クラブの事務局長をしておられた佐々木申吉さんには度々出席されて、ロータリーはどんなものかを丁寧に教えて頂きました。又忘れてならな

いことは、会場の鶴鳴館の雰囲気よかったということでしょう。環境が静かで、駐車場は近くにあり、食物がおいしいと評判で長い間に払われた小山さんの御努力に対しても感謝したいと思います。

創立2年目には山形県の鶴岡クラブと姉妹クラブの盟約を結ばれました。明治維新の際、東北戦争の折に庄内藩に対し寛大な措置をとり且つ庄内藩士の松ヶ岡開墾資金を新政府から援助して更生の道を開く原動力を造られた縁故の下、この盟約が出来たものと思われませんが、鶴岡クラブの使節団の来訪をうけたので、答礼の意味で鹿児島西クラブからも訪問することになりました。鶴岡クラブは当クラブよりも5年先輩クラブでしたが、その歓迎は誠実そのもので、東北人の律義さによるものでしょうか、ロータリー精神の一面を表明された様でロータリーの在り方について、非常に感銘深いものを頂きました。

鶴岡から帰途、京都クラブの主催で行われました西日本連合地区大会に出席しました。京都市民会館の大ホールは立錐の余地なきまでの超満員で、ロータリーの規模の大きさと奉仕の精神の奥深さを教えられました。

創立3年目に第370地区のインターシティゼネラルフォーラムを担当する様命ぜられました。未だロータリーがどんなものかよく分らない時でありましたので、大変困りましたが、色々と思案した後、先輩ロータリアンの御指導を頂いて、協議会を行う事が出来ました。

議事の進行につれて発言者が多く予定時間を約10分間もおくれましたので心配しましたが、休憩時間を5分短縮して頂き、議事の進行を急いで頂いて予定通りに終了する事が出来ました。最後のフォーラムリーダーの講評で、スケジュールの時間通りにきっちり終了出来たこと、発言の内容が多かったことと発言者の数字をあげ

ておほめの言葉を頂いたので、成功の裡に会を終了出来たと胸を撫でおろしたことを思い出します。後で聞いたのですが、創立3年目の若いクラブにインターシティゼネラルフォーラムを担当さしてうまくやれるだろうかと心配された向きもあったということでした。

当時の270区は九州全体を含んでいましたので、終了時間がおくれると、交通事情等のため、その日のうちに帰れなくなる人も出てくる心配がありましたので、スケジュール通りに終了出来た事が、良い印象となったことと思います。

その後クラブは順調な発展をとげ地区年次大会を担当することになりました。その時の模様は大会を担当された責任者の方から報告されるでしょうが、ここに追加したい事は、大会の終りにガバナーの発言中に次の様な一節があったことです。「この様な大会においては会が終りに近づくにつれ早退者が増えて閉会の際には座席もまばらになって淋しくなるものですが、本日はこの様に沢山の方が最後まで残って頂いて会を盛り上げて下さった事は感謝に堪えない」と述べられました。ガバナーの御人徳のお蔭と、出席されたロータリアン各位の大会に対する愛着の表れである事は勿論であります。大会委員長、幹事の御努力の結果とも思われて感謝に堪えない次第であります。

本年は創立20周年を迎えて鹿児島西クラブの存在を祝えることは、誠に有難い事に存ぜられます。今後とも益々創立以来の精神を体して会員各位の親睦を深められ、会員の事業の御発展とクラブの充実に祈念してやみません。

入会して13年

小園正人

西クラブの創立20周年を皆さんと共に心からお慶び申し上げます。

早いもので西クラブに入会して13年になります。そして多くの方々との知り合いの出来たことには感謝致して居ります。

其の間、国際奉仕委員長、クラブ幹事、情報委員長等の役を仰せつかりましたが、まだ一人前のロータリアンになれない次第です。

自己の精進と共に、皆さん方の御指導御協力をお願い申し上げ、西クラブの今後益々の発展を祈って止みません。

明日の勇気を

高橋 司

何はともあれ此度の20周年記念行事が大へん満足した形で終了した事はうれしいことでした。歴史と伝統のあるクラブだけに、ロータリーに精通した多数の会員がおられて、クラブの力、強みを感じた次第です。心の奥深く明日への勇気を鼓舞してくれました。

激動する世相の中で、吾々はいつまでも一層心のふれあう、豊かな活気あふれるクラブでありたい。

会員の経験始めて

田中克佳

私は、本年3月当地に着任し、5月に入会させていただきました。当クラブは本年創立20周年とのこと、この記念すべき時期に、伝統あるクラブに入会でき大変光栄に思うと同時に、果すべき役割の重みを感じさせられます。会員の経験は始めてですので、先輩諸兄のご指導をいただき、ロータリーの真の目的に沿う行動ができるよう努力し、その結果多少なりとも鹿児島の地域経済活動のお役に立てれば望外の喜びです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

“啐啄同時”

新福榮熊

標題の四文字の語句に初めて出会ったのは10余年前のある日のことだった。その後種々探索した結果、この熟語の意味が何を表現している

のか、どんな訴えを人間に要望するのか、その真意が理解出来てからは、教育者としての私の心をしっかりと捕えて、今では師弟愛の最高の極致を表わしている語句それが嗚啄同時だと納得できた。それから私は機会ある毎に口ずさんで学生指導を続けている。

嗚啄同時の語句は今から八百年前の宗代、禪宗の聖典碧巖録の中に書かれている熟語だそう。その意味は次のようである。鶏が卵を温めて孵化させるとき、卵の中の雛が殻を破って出るために内からびよびよなきながらつつくの音を啼くといひ、これに間髪を入れず雌鶏が外からつつと殻をつつき破るのを啄といっている。阿吽の呼吸一致してこの両者が同時に内外から相呼応して殻をつつくと、雛を抱擁していた殻も割れて新しい生命がいきいきと誕生するその様子をうたいあげた語句である。それはとりも直さず師弟の機縁相熟するたとえに用いている語句である。碧巖録の作者は決して親子夫婦間の愛情にはたとえていない。それは専ら師弟の愛情の極致として悟し教えている言葉である。その作者の見識と叡智に注目したいものである。

教師と学生との間のいきいきと伸びる生命を育くむ愛情の極致を物語る言葉として私はこの嗚啄同時を学生の指導教育の場にいつも忘れないように心掛けている。

去 来 す る 感 慨

高 井 敏 治

昭和58年3月、創立20周年記念式典にクラブ副会長として高い所に坐るはめになった。20年前を思うと多くの感慨が去来する。

西クラブが創立されたときチャーターメンバーとしてお招きを受けながらお断りしたこと、入会后山形屋で開催された加盟認証状伝達式に参加できた事など。当時のメンバーはまだ若かった。そして人数が少なくてクラブの運営に苦労した。だが出席率はよくて、出席委員が本日の出席率100%と報告すると拍手がわき上るのが常であった。

昨年11月柴山さんが突然なくなられ、そのあとをお引受けした。超大のロタキチであった先生のあとだけに困っているのである。もう少しでクラブ会長になるが、会長は皆さんのお世話役と割切ってやらせていただきたい。

「記念美術展」によせて

永 松 実 夫

書道、色紙、七宝焼、紙人形、絵画、フラワー、織、写真など八つの部門を限られた空間の中にどうやって展示したらよいか、不安と自信のなさで落ち着けませんでした。とにかく当日になり夫々の会員が持ち込んで下さった作品はどれもこれも精一杯の努力で出来上がったことが一目で解るすばらしいものばかりで、今までの心配など一時に吹きとんでしまいました。良いものは何処に置いても合うもので、全般的には非常に並べ易いものでありました。今回の鹿児島西ロータリークラブ創立20周年記念美術展は3月26日(土)から31日(木)まで加根又ギャラリー(2F)で開催されました。

すこし裏話をしますと、この記念展開催まで何事もなく進んだわけではなく、例えば書道の新福先生の作品と題名が私の不注意で林さんのものと間違っって進行し途中でそれが解ったりで何かと御迷惑おかけしました。しかし何といてもそこはロータリー友愛の精神で明るく楽しい展覧会として無事終了致しましたことは皆様の御協力のお蔭でした。また本記念美術展に全面的なお力添えを下さいました加根又管社長には改めて本文をもって御礼申し上げます。

亡 く な ら れ た 会 員

田 平 礼 章

入会したのは、昭和39年9月、例会場は今と同じだが、席の配置は異り、入口より入ってすぐ左に壁を背にして、会長、幹事が坐り、会員の席は、それに対し、直角に入口より窓側に並んで作られていた。

毎日、患者さんだけを相手とする狭い世界に住んでいると週1回とは云え、広く御交誼をいただく事は、この上もなく有難い。

入会当時の土橋英夫会長、昭和46年、幹事の時、行った慈善音楽会ですべて御世話いただいた林幸光さん、何につけ親しく御指導をいただいた柴山一雄さん等亡くなられた方も多い。

皆さんの御健康をお祈りし、今後の御指導をお願いする。

雑 感

太 原 春 雄

入会して5年目になって、最近初めて前原勝樹氏の「ロータリー入門書」をじっくり読んでみた。読んでみると、更にロータリーの定款細則が気になってこれも通読した。全く恥しい次第と申さねばならない。

入会の時、情報委員の先輩からロータリーとは何かとか、例会出席の重要性について等々レクチャーを受け、又時々クラブフォーラム等でもロータリー精神についての話を聞くが、分ったような分らないような事で何時も「奉仕とは哲学さ」とお茶を濁して来た自分が恥しい。

その気になって入門書を読んでみると、一業種一人という制度が、競合する事なく会員相互が自分の悩みを打明け、各界のエキスパートから貴重なアドバイスを受けることが可能であること、役員の任期1年の制度も、ロータリーが資金を伴う継続的な奉仕活動を目的としていないことからだということも理解した。

次年度の理事、社会奉仕委員長を指命され、事の重大さに大慌で後れ馳せながらの勉強を始めたが、1年交替の役員制度が、学習のチャンスを与える為の深淵な意味をもつものであることに気付いた次第である。

大学の研究室から出る

大 庭 昇

正直なところ、忙がしいさ中、仕事を中断し

て例会に出かけるのは、私にとって苦痛であり、いらだちである。まして、例会の終了が何かの都合で遅れたりするとバスに乗り遅れ、その結果、なんと午後3時過ぎに研究室に辿り着くということになる。たちまち夕方である。これでは仕事にならない。

それでも私は頑張って例会に出席しようとする。なぜか。大学の研究室にばかり閉じ込められているということは、私を井の中のかわずにしまい、視野を狭くさせる。こうなることを避けるには、あえて趣味・性格・職業の異なる多くの方々の集まりの中に私を押し込むことである。

そこでは確かに異和感があるが、目まぐるしく変化する外界の活きいきとした新鮮な空気に直接触れることができる。ロータリーは「社会の窓」であり、とかく研究室に閉じ込めりがちな私にとって貴重な機会と言える。

会員である悦び

川 上 鐵太郎

ロータリークラブのお仲間に入れて頂いてから早や14年半の年月がたちました。何の奉仕活動も満足にできない、いつまでたっても成長しないロータリアンですが、自分自身としては、会員にご推せん頂いてとても任せ代ったと感謝しております。

何もできなくとも、私の心には、ロータリアンであるからには後指を差されるような行動はできないし、相手に接するには、その人の立場になって暖かい心を持っていなくては、地域も世界も明るく平和になれないという自覚も生まれました。自分を省みる心も育ちました。また、私利私欲で充満した汚泥の中とも思われることのある社会にも、美しい心根の人々が大勢あることも知りました。

もし私が、小さな限られた業界の中だけの日常であったなら、今のように、いろんな社会の方々との親交はなかったわけで、また、広い知識も得られなかったことでしょう。これほど有

難く、しかも人生を豊かにする集りはありません。毎週々々の例会は、生きる喜びと心を洗える唯一の楽しい場となりました。会員の皆様に心から感謝しております。

今後も命の続くかぎり、とは言っても、心身の確かな間は、ロータリークラブで一緒にさせて頂きたいと願っております。

今日より始まる

棕 鳩 十

北島親房の言葉に「あめつちの初は今日より始まる」というのがあります。この意味は決心したその時から、新しい人生が始まるという意味のようですが、私はこの言葉が好きで座右の銘としています。

親睦と奉仕こそ

藤 安 辰 造

私は昭和38年11月7日当クラブに入会しました。チャーターメンバーではありませんが創立の年に入会しましたので20年間のメンバーです。

故柴山一雄君に薦められてロータリークラブの「奉仕」の意味も分からず不安な気持ちで入会したわけです。「奉仕」とはどういう事か色々諸先輩の話の聞いたり、ロータリー関係の資料を読んだり、会員の人々とディスカッションしたりして分かって来た様な気もしますが完全には分かつて居ない様な気がします。もっと勉強せねばいけないと思っております。

今まで幹事、会長の大役をいたした事もありました。会員皆さんの御協力、御指導を得て私も全力をつくして自分の役を果たしたつもりであります。今になって思うと、あゝあの時は何んと「ヘマ」をやった事かと後悔される事もあります。

創立当時は我がクラブは出席率 100%が毎回の事であり、久しい間地区内の年次大会で出席率優秀クラブのベストテンに入って表彰された事も5、6回ありました。

又、各クラブには夫々の特色があります。我がクラブは学究的雰囲気のある格調高きものありと云われて居ります。これは創立当時のメンバーその後も学者、医師それに若い多士済々な学究肌の人々が居られ、それなりにロータリー精神を勉強されて居られるからと思います。

万物が年々歳々変わるは世の常であります。我々のクラブも年々変わるの当然であります。何は変わっても親睦を第一とし会員同志が融和を図り「奉仕」の理想に燃えて進み行くべき事だけは変らないで欲しいものです。

奉仕の道を進む

徳 澤 紀 生

西ロータリークラブに入会して早や12年、その間理事、国際奉仕委員長、情報委員長、会員増強委員長、広報委員長、ロータリー創立75周年記念委員長、幹事を順次勤めさせて戴き、先輩会員の御指導を受けロータリーの奉仕の道を勉強して参りましたが未だ本当にロータリーは分っていないような気が致します。

只、国際奉仕委員長の時、交換学生クレグスタイン君を預り私の子供達と仲良くなったこと、私の子供達も大学を卒業してそれぞれの職業に励んで居りますが弁護士志望だった彼は今どうしているだろうか。情報委員長の時、ロータリーを真剣に勉強したこと、ロータリー創立75周年記念委員長の時、西ロータリークラブ奨学金制度要項を作りインターアクトクラブのある鶴丸高校、鹿児島高校に「すくすく伸びよ」の記念樹、県立図書館に花水木を植樹したこともう大きく伸びたと思いますが見に行こうと思いつながら未だ行っていません。幹事として例会出席勧告に苦勞したことが特に印象に残っています。

今後も私の会社の社是「信用第一、誠意を以て人に対し事に当る」に基き「最も良く奉仕する者は最も多く報われる」ロータリーの奉仕の道を進み度いと考へて居ります。

ロータリーの奉仕哲学

池田 広

3カ月もつづくものかと思ひながら入会したロータリークラブでしたが、やがてもう15年になります。実はその前にも別の奉仕クラブに籍を置いた事がありました。面白くなく、すぐやめてしまったのでした。

一体何が私をこの様にロータリーに引きつけて来たのか考えて見ました。やはり職業奉仕を中心に形成されたロータリーの奉仕哲学こそが魅力の最たるものの様な気がします。

毎週の例会もまた大きな楽しみの一つです。2週に1回、4週に1回ではとても親睦の度は深まらないでしょう。コマはむちにひっぱたかれながら何時までも回転をつづけます。例会もこのむちの様なものだと私は思います。

よちよち歩きの1年

岩田 泰一

昨年7月に入会させていただき満1年を迎えようとしています。

この1年間は毎週の出席義務とメーキャップに追い回され、煩わしい、面倒くさいと思ひながら過ぎてしまいました。

とても奉仕こそロータリーという心境には程遠くよちよち歩きの1年でした。

この度の創立20周年の伝統に心より敬意を表わし、今後共、先輩ロータリアンのお人柄に触れさせていただき勉強していこうと思ひております。

まず出席すること

中村 俊雄

ロータリークラブに籍をおいて痛切に感じ反省もしたいのは出席ということです。

出席は会員としての最小限の奉仕であり出席なくしてはロータリーの目的を達成することは

出来ずロータリアンではないといわれております。

会員一人ひとりに主体性がおかれている同好者の集りであるロータリークラブには自分が出席を自覚する以外何物もないと思います。

ロータリーと出会い

土橋 滋

入会以来、例会に出席すると、今まで雲上人と新聞やテレビで尊敬していた人々が、何の屈託もなく話かけて下さったお蔭で、例会への緊張の連続が次第にほぐれてきたのです。入会時の会長であった岡元先生からロータリーの委員会活動は毎年変わるので、クラブフォーラムを利用するとうまく運営されるという暖かい言葉で、ほっとして、例会への出席が次第に自分の糧となり、最近ポールハリスの気持ちがようやくわかるような気がするこの頃です。

中村会長、徳沢幹事の年度では、旧海軍出身らしく、威厳と世の中の厳しさを教えられ、又例会では海老原会員の宗教の心なくして、工事の安全対策は考えられないことや、宗教界での池口恵観先生との出会いで「ほどこし」という言葉で感銘をうけました。多く奉仕するものほど多く報われると、真の、ロータリー精神を教えられたものです。新入会員のスピーチでは、大庭先生の地味な学問を、いとも簡単に、ユーモアを混じえ、再スピーチが望まれた会員も非常に珍しく、先生の卓話はさすがと学問の深さを教えられました。西ロータリーの顔となった感じの学習会を提唱された福田先生との出会いでは、多くの方々の職業上の難しさ、悩み等を聞く機会に恵まれたのです。今は亡き山下先生の「入りて学び、出でて奉仕せよ」の言葉もようやく我が身で理解することができるような気がしてなりません。

この外にもたくさんあるロータリーでの出会いを大切にしていきたいと思ひます。牧田先生の言われた「自分は西ロータリーが好きだ。

愛しているのだ。」という言葉に私自身も同調して、できる限り西ロータリーを愛していきたくなりつつある今日です。

私のロータリー歴

岡元 健一郎

私はクラブ創立の翌年の創立記念日に入会させて頂いたので今年で丁度19年になる。ロータリー歴は非常に覚えやすい。紹介して頂いたのは故人になられた同じ鹿大医学部に勤めておられた川路清高先生であった。その頃は医学部は山下町の旧鶴丸城跡にあったので会場の鶴鳴館までは5分位でゆけるので、その便利さにひかれた故もあった。近いにもかかわらず木曜の例会時間を始めの頃は屢々忘れていて、しばらく時間が過ぎてから、しまったと思い出して仕方なく欠席してメークアップをしたことがあった。忘れなくなったのは入会后4、5年たった頃からであろうか。それまではあまりロータリー精神に近づいていなかったというべきであろう。便利な山下町の勤務場所が9年前の49年から宇宿の亀ヶ原に移転して、その頃はもう例会日を忘れなくなっていたが可成り不便になった。バスで山形屋まで行ってそれから鶴鳴館まで歩くわけであるが片道50分はかかる。丁度のバス時間が無いので1時間以上前に医学部を出ることになる。帰りも同様である。大体3時間位を例会出席に要することになるが、いつも宇宿の山の上に住んでいるので時には山形屋を歩いたり見物したりの社会勉強にもなるということで、時間のやり繰りにもなれたので続けることができた。

今年4月1日で医学部を停年退官して今のところ時間が余り過ぎるので宇宿からの例会出席も街に出るのを兼ねてゆっくりと楽しみである。

随 想

市 村 博

鹿兒島西クラブの創立20周年の年に在席しえ

たことを感謝します。

私の人生にとって記念すべき一コマであり限らない誇りを感じます。

原点にかえる

原 三 郎

現時点こそロータリーの原点にかえるべき時であると思う。我が国の産業界は一次、二次、三次、四次産業とわかれるが、産業界に於いては合理化、機械化、先進技術を採用し、従業員の企業への参加と云う事で繁栄しています。だが、現況では部分的には保安、安全は確保されても進歩していない。片や先端産業、サービス業では、世界に冠たるものであるが、産業界としてはもっと平均的な進歩があつて欲しい。それによって、製品は或いはその産業は、地域に貢献し、世の中を豊にすることになるのでロータリーの原則、道徳、倫理に友情、信頼、公平が大切である。斯くあつて地域が必要な企業となる。

ロータリー・ソング

佐久間 佳 久

ロータリーはアメリカからの直輸入だけに気にすると馴染みにくいものがいくつかある。メークアップで他クラブの例会に出て紹介された時の返事…「ヤア」と云つて片手を挙げるのが良いと教わつたが、一寸照れくさい。「ハイ」と云つて頭を下げるよりハイカラで恰好が良いと思うのだが)

ロータリー・ソングもその一つ、ロータリー入会を勧められて「小学生じゃあるまいし、歌を唱つて昼飯が喰えるか」と云つたサムライが居たそうだがその気持わからないではない。集会の冒頭で歌を唱うと云うのは何となくキリスト教会の讃美歌を連想させる。

私も最初は若干抵抗感があつたが、慣れて来ると満更悪いものでもないと思う様になった。転勤の関係で習志野(千葉)高松南(香川)鹿

児島西（鹿児島）とロータリーを渡り歩いて来るとロータリー・ソングの歌い方も夫々特徴があって面白い。メイクアップで他クラブの例会に出てみると、カラオケよろしくテーブルでメロディーを流しこれに合せることが多いが、その点当クラブは前野さんのピアノの伴奏で唱えるのが素晴らしい。

考えてみれば若い綺麗な女の先生のピアノで歌を唱ってお弁当を喰べるといことは恐らく会員の大部分が小学校卒業以来のことではなからうか。出来ればどなたかソングリーダーになって頂いて前野嬢の伴奏で色々なロータリーの歌を指導して貰うというのは如何だろうか。いざれにしても私は毎週の例会を楽しみにしているのである。

私の修練はロータリー

牧 田 健 二

20年を過ぎたロータリアンといえば、大部古参に思われるが、西クラブで古いだけで鹿児島、川内、鹿屋、南、名瀬の県内クラブには、まだまだ古いロータリアンがおられるので中堅クラスとと思っている。年令的にも先輩がおられるので先ず頭を下げるほうが多いのである。何年経ってもロータリーの実践は難しいものであるが、地区大会、各種の大会とICGF並びにクラブのフォーラム、例会への出席によって漸次理解が深まってきたような気がする。ロータリーの会合はお祭りではない。修練の場であり、奉仕の理想をかきたててくれる。会員推薦、選考で入会できたのであるから、初めは戸惑うことであろうが、段々楽しくなり、好きになり、愛情が湧き、クラブの人々と心から親しくなり、自分の本業以外の社会的集団としてのロータリークラブへの出席が楽しくなり、今日は例会だとわくわくするようになると、心の健康は保持され、身体は健康まで好転してくるようである。私の修練はロータリーからと考えてもよさそうであるが、仲々難しいものである。ロータリー20年の中堅老人の或る日のメモである。

誕生の頃の思い出

川 村 洋

初代の幹事として、ロータリーの「口の字」もわからず、無我夢中で走り廻ってから20年になるとは感無量であります。

経験豊富な桜美初代会長の下で、その指図通り動けばよい、との事ではありましたが、日常の仕事になると逐一教示を仰ぐわけにもいかず、果して幹事役がつとまるものだろうかと不安が一杯でした。その中で、私にとっては天の助けと云ってよい程、素晴らしいガイドが得られたことは心強い限りでした。

それは長期間応援して頂いた親クラブの、鹿児島ロータリーの事務局の佐々木中吉さんと、我がクラブの初代事務局の島津重子さんの御二人でした。

各種の計画作成報告、週報の発行、チャーターナイトに至るまで、文字通り「おんぶにだっこ」の形でお世話になったことを、今更のように思い出し、感謝にたえない次第であります。

御二人の助けがなかったらどうなっただろう、と冷汗の出る思いです。

「量より質で」との桜美会長の御方針で、30人足らずで発足しましたが、小人数のおかげで誠に和やかなクラブだったことを懐しく思い出します。

昭和43年迄は、九州地区全体が370区となっており、年次大会は九州内を持ちまわりで、佐世保市での370区、373区の連合年次大会が最後になりましたが、その時の盛大な野外懇親会での「サヨナラロータリアン」の仕掛け火花が、今でもありありと眼に浮んできます。

ロータリーがより楽しいものになることを心から願っております。

交換留学生受け入れの思い出

海江田 卓

当方からアメリカへ留学させる場合の選考に

当たっては、先方へ赴いて早速朝夕の暮らしに困ることのないよう、一応の英語力を審査していただいています。授業を受けて消化して行かなければならないので、単なる日常の会話力だけでは不十分です。しかし、お蔭様で私どもの鹿児島高等学校からも何人かお世話になり、アメリカの高等学校の卒業証書を手にして帰国した例も幾つかあります。

しかし、先方から来る場合はこれが全く無い。日本語についてはほとんどの場合、知識はまず皆無に近い状態でした。したがって、留学生として受け入れると言いましても、当初はほとんど日本語教育に追われました。誰か専任で通して当たることができれば効果的なのですが、そういう余剰人員をかかえる事は出来ませんので多くの場合英語の教師や国語担当者が1時間ずつ交替で指導に当たりました。ところが留学生にとってはこれが苦痛で、一人ひとり指導する事が食い違ったり重なったりして、時に悲鳴をあげていました。日本語は複雑で表現の方法も幾通りかあるので、教える人によってニュアンスがどうしても違ってしまうのです。

本校では、茶道とか書道、剣道、柔道、珠算、食物実習など、なるべく日本の特色ある教科を学べるよう配慮しました。私も日本文化史をマン・ツー・マンで教授しました。相当学年のクラスに組み入れて、そのクラスの時間割に従って一般の授業も受けさせました。

喜んだのは修学旅行です。私どもの学校の場合、東京・大阪・京都・奈良に日光と、彼等が見たがる所はほとんど見学するスケジュールになっていました。短期間に幅広い研修が出来、24時間学友たちと生活を共に出来て、とても感激したと語っていました。

数多く迎え入れた留学生の諸君は、個性も人柄もさまざまで、「これがアメリカの高校生だ」と単純に類型化することはとても出来ないとつくづく悟られました。中でも話題になったのは、パメラ・スーザン・ロバーツでした。週3回の珠算の授業に、最初は「ソロバンより電卓の方が計算が早い」などとうそぶいて、あまり

乗り気でありませんでしたが、理解が進むにつれて練習にも力が入り、帰宅後も毎日30分は練習を続け、数か月後にはまず6級の検定にパスしました。一層興味がわいたのか、放課後の珠算部の部活動にも参加するようになり、帰国直前の検定では3級に挑戦して見事に合格しました。全国商工会議所主催の権威ある検定で、伝票計算や6けたの見取り算などもあり、平均して受験生の半分は落ちるといふ難関を堂々と突破したのです。商工会議所でも恐らく全国で始めてのケースだろうと大変喜んで下さいました。楽しい思い出の一つです。

バスの中で

福満武雄

ロータリーに入会して間もないころのことである。東京に出張したところ、旧友たちが横浜の南京街で一席もうけてくれた。ほどほどに酔い、横浜駅近くのホテルに投宿。翌日は日曜日で快晴。羽田発の飛行便は往過ぎであったので時間つぶしに外人墓地辺りに散策に出かけた。

横浜駅東口からバスに乗ったが、日曜日で、しかも朝が早かったので、バスはがら空き。前の方の座席をとっていると、すぐ後の席に坐った老紳士から声を掛けられた。「どこからおいでですか」「鹿児島から来ました」「それはそれは遠方から…」という会話を重ねながら、振り返ってみると、相手の胸にはロータリアンのバッジが輝いていた。老ロータリアンは、親しみをこめて名刺を下さった。病院の院長さんであった。老紳士はさらに、その後部に腰掛けている若い人にも話しかけていた。会話からすると、小田原から来たロータリアンらしかった。

そのうち、バスが停った。紳士は「ここですよ…」と私に下車を促した。あわてて「私はもう少し先きまで行きます」と答えた。老ロータリアンは不審な表情をしながら、例の若いロータリアンたちと下車していった。それは南京街に近い停留所であった。

健康と安全

海老原 利 則

やっと事情が分った。きょうはこの辺りでロータリー関係の大会かなんかがあり、私もてっきり、わざわざ鹿児島から駆けつけたと思ったのらしいことに気付いた。私の胸のロータリーのバッジを、目ざとく見つけたのであったろう。

老ロータリアンに釈明する暇もなく、別れたのが心に残った。しかしロータリアンは県を超え、国を超えて強く結ばれている。「どこで会っても、やあといおうよ…」のロータリーソングそのものの、ロータリー精神にしみじみと感銘したことであった。

その日・週間の歴史

福 川 敏 之

新福栄熊会長のあとをついで第13代会長に就任したのが昭和50年7月。ただ任期の後半、これで半年終ったとホッとしたところで眼を災って入院する破目になり、岡元健一郎次期会長に大変ご迷惑をおかけしてしまった。会員の皆さんにもご厄介をおかけして申し訳ない次第である。

いま、そのころをふりかえって思い出すことは、やはり毎週の例会のこと。例会における会長の役割りとして、会長はなにかひとこと話をして奉仕の心のこもった例会にするように心がけることとあったのには困った。仕事の途中から例会に出かける訳だから、そんなに器用に頭をきりかえて、ロータリー向きの話ができるはずはない。考えあぐねた末のお粗末が「その日の歴史」「週間の歴史」つまり、何年前の今日はこんなことがありました、という奴である。これなら仕事柄、情報はたくさん入っている。たしかになかには「あ、そうだったか」と思うことがある。毎週の例会で、これを披露して責をふさいだものだった。いま思えば汗顔のいたりである。

私は元来健康は 1. ①快食②快眼③快便 (そこに快動、快笑、快話がある。そしてムリは禁物、継続こそ肝要)。2. ①朝の日ざめが楽しいか②家族共々分相応の仕事をもっているか③会うだけでホッとするような何でも話せる友をもっているか。3. ①銀行の上役さんと会うのが楽しいか ②頼まれたら書くことも話すこともできるか ③ロータリーに出るのが楽しいか。を3の三原則として実行し「立腰道」の「身心一如」(体までの体育でなく体を通じて心をつくる体育)を念じてきた。これらはいずれも公私共に健康でありかつ、災害が無いことを条件とするからである。

終戦後は大した病気もせず、特に50才代ではかぜのためわずかに数日休んだだけの私も、60才代になって一昨年翼状片の目の手術で入院1週間、そして今回3月21日の一過性高血圧で臥床5日間と休んでしまった。そんなわけでたまたま我がクラブの20周年記念祝賀会に出席できずしかも鶴岡クラブの出迎えをもち得ず、我が家で床の中から珍しい程の西郷さん日和の好犬を横目に見ながら一。まさしく一期一会の機を失ってしまったことは誠に残念、健康の有難さをしみじみと考えさせられた。

さて梅雨と降灰の6月、街は選挙戦いま酷であるが、道路では交通事故が、建設現場では災害が何と多いことよと考えさせられる今日このごろである。交通事故も警察が緊急取締期間を何回かかけても既に本年67名(対前年20名増)の死者を出し、建設現場でも全国安全週間前の準備月間なのに既に13名(対前年4名増)の死者を出している。両者共昨年より増加したのに今年もまた一。

最近物は豊か過ぎる、従って感謝の念が足りない。核家族のせいかしつけが出来ていない、従ってルール厳守の精神に乏しい。本を読まな

い、従って知識が足りない。名言名句を知らない、体験に乏しい、従って知恵が足りない。加えて神や仏の加護も受けられぬ、そして法は過保護。しかも日本人は酌社会的なので観念的抽象的である。(欧米人はカクテル社会的)。俳優の森繁久弥は先輩藤原釜足から「芸の道はピンとキリさえ知っていたら真ん中はだれだってやれる」と教えられたとか。真ん中の「きまり」—(法や規則)は知っていても実行せず、況んや最初のピン、終りのキリを怠れば事故は発生することきめんである。これからも—。

考えてみると人間は病氣しない健康と、怪我しない安全こそ大事と思う。安全とは朝家を出かけた姿で夕方家に帰ることであるとよく言われる。そこで江戸時代中期の俳人蕪村の「いかのぼり きのうの空のありどころ」の句に、人間の帰基本能と家族ぐるみ、家庭共々の健康、安全への願いを託してみたいものである。

ロータリーソング

中村善治

入会を許されて、はじめてロータリーソングを聞いた時「これが歌か」「なんと音痴な歌か」としみじみ思ったことを記憶している。しかも唱う歌が毎回変るので、一体幾つあるのか、これを全部憶えないといけないのかとウンザリしたことも憶えている。「憶えられない」と言ったら早速会長、幹事さん(鮫島、柴山)は合議の上、有馬万里代先生を呼んで、毎例会後練習させられた。

新入会員を紹介する手段として3分間スピーチも始められたし、ロータリー教育も市内3クラブ(当時)合同で熱心に何回か行われた。2年後I・G・Fのリーダーをやった(指名の間違いだったのだが訂正はきかなかつた)程の基礎教育が出来上っていた。あれから15年、厳しい仕上げだったけれど、よく面倒を見てもらったと感謝しながら例会毎にソングを唱っています。

燃える人を

鮫島志芽太

自分も生きがいを感じ、人にも生きがいを感じさせる、そんな行為を、先ず職業を通して実現する…というのがロータリーの趣旨だろう。が、これは簡単ではない。一種の人間の理想運動といえる。理想を行うには、連続したエネルギーが要る。つまり、燃える人の継続が必要だ。クラブの存在意義の一つは、そんな人を、うみ出し、盛り立てることだろう。

故柴山・雄氏は、そんな燃える人だった。土橋さんと加治木R.C.の創立を助け、鶴丸高インターアクトや加世田、枕崎R.C.をつくり、地区大会の幹事を引受けた実績が、それを物語っている。積極性ゆえに誤解もされたようだが、とにかく、お利口さんの多い日本のロータリーの中では、貴重な人物だった。西R.C.の20年を顧みると、少数時代は、いろんなよさが生かされていて、燃える人も出やすかったように思う。発言権を失った故人のために一言、書留める次第……。

一期一会

中村・雄

「一期一会」と申しますが、西ロータリーに入会以来多くの方々に親しくさせていただき、何気ない対話の端々にも教えられることが屢々です。また個人的にもお世話になることが多く有難いことと感謝いたしております。

昨年は私を推せんして下さった岡山栄さんが急逝され、かえすがえすも残念であり、悲しいことでした。

20周年という節目を経て、心を新にして奉仕を心掛けねばと思うことです。

日に新なり

光吉正昭

10年史を見ると、我がクラブは地域社会の中にあつて何をなすべきかを考える必要があると書きましたが、あれから10年、全く早いものです。

これから後の新しいクラブの歴史の創造のため、「日に新なり」の気持で進んで行きたいと思ひます。

職業を通じ奉仕を

林 其 為

鹿児島西ロータリークラブに入会して5年有余、20周年記念の当クラブの4分の1の在籍ですが、諸先輩方に御指導賜りロータリーの本領も少々わかりかけて来たところです。

入会当時、福田正臣会員に親切、ていねいにロータリー入会について御教示賜りましたことが、つい昨日のこのように思い出されます。教養のない私ですが、調理技術については、一人前の仕事が出来ると思つて居ります。

自分の職業を通じて社会奉仕にはげみたいと思つて居ります。良きロータリアンに成ようがなばつて行きたいと思ひます。

クラブの名誉守る

下田平 哲 夫

ロータリークラブに入会して4年、自分ながら、よく続いたと感心して居りますが、それにしても連続出席10数年の先輩の皆様の多いのはただ驚くばかりです。私など、なにも出来るものではありませんが、ただ一つ西クラブの名誉を汚す事のないよう、そののみ当分心掛けていきたいと思ひます。

沢山の勉強を

山下皓三

入会して、あっという間に4年間がすぎました。何もわからない私がSAA、青少年奉仕委員長をさせていただき、他では決して学ぶことのできないようなことを沢山勉強させていただきました。

これからも、西ロータリーの為、自己研鑽の為頑張ります。

自己研鑽と奉仕を

徳 永 新一郎

未だ入会の日は浅い者ですが、西ロータリーの一員として自己の研鑽と、自己の生涯、出来る範囲で社会に奉仕を続ける心構えです。

クラブの雰囲気

渡 部 信

ロータリークラブとは何かと聞かれたら鹿児島西ロータリークラブが持つ雰囲気こそ私にとってのロータリークラブの定義となる事でしょう。

いつまでも青年で

瀬戸山 勝 資

鹿児島西RCに入会して10年、創立10周年記念式に参席して、枕崎、加世田、額娃3RCのチャーターナイトに出席、そして3RCの創立10周年記念式典に参加、我がクラブは20周年、各RCの成長の姿を眺め、不思議な感慨を覚えます。人間としても、クラブとしても、いつまでも青年でありたいものです。

またたく間に10年

宇治野 純 章

入会してまたたく間に10年が過ぎました。しかし、ロータリアンとしての精神面は勿論、外面もまだまだ目標には程遠い有様です。

入会半年目の「十年誌」寄稿で書きとどめたロータリーソングをうまく歌えるようになりたいことは、このごろどうにかなっているものの会員の方々の顔をしっかりと覚え、気軽に会話をかわせるようにしたいことは未だ不十分。あらためて今後大いに努めたいと思います。

積極的委員会活動を

水 瀧 清 治

ロータリー奉仕活動は、親睦を基礎に各委員会の積極的委員会活動こそ必要且つ大切な事ではないでしょうか。委員会内の各役割を各自が分担し活動する。其の活動の輪を個人から委員会グループへ、クラブ全体へと発展拡大して行く事が一つの方法で皆んなのロータリー奉仕活動ではないでしょうか。

増えるメーキャップ

三 角 桂次郎

西クラブが20周年を迎えたことを心から嬉しく思います。そしてこのメンバーがどのクラブより立派なロータリアンが多いことに誇りを覚えます。

私も今年県PTA会長に就任致し、更に公職が多くなりました。ホームクラブ出席に努力している心算であります。メーキャップが増えるのではと心配しています。成るべくホームクラブ出席を心掛け皆さん方の御指導を頂戴したいと願っています。

もうやめられないロータリークラブ

福 田 正 臣

人は顔を見合わせるだけよりも、語れば親しくなる。それも一緒に食べながらの語りだったら親しみは尚増す。その機会が度重なる程更に親しみは深まるものである。

これをたくみにとり入れたのがロータリークラブの「毎週の例会」である。「奉仕、それにはまず親睦」を基本精神とするロータリーにとってこれはまさに最良の策といえよう。

友人の池田君に「入れ入れ」としきりにすすめられて、ロータリーの何たるかを知らないままに入会した私だった。例会の意義もよく感得しないままただ黙々と出席を重ねて一年二年とたつうちに私は、ロータリアンになったことによっていくつかの大きな収穫を得たことに気づいた。

先づ第一に、それまで殆どおつき合いのなかった職業のちがう方々を沢山知ることが出来、親しい間柄になったということ。そしてその中に尊敬すべき立派な人を見出した喜び。いろいろな職業の人々の集まりである社会における医者としての自分の位置づけがよりはっきり確認出来たという喜び。大のおとな達が私欲をはなれ素直な心に返って“奉仕”ということを本気で話し合うという、まことにユニークな集まりの中に自分が居る、という喜び。日常生活の渦の中でややもすれば雑念にとらわれて奉仕の心がうすれそうになる丁度その頃に7日がまわって来て例会となり、ここで自覚を新たにし奉仕の心を更に深めて次の一週に向って歩むという喜び。一週のうちで一日だけ、絶対におくれない、一分の遅刻も許されないという緊張の日があるという喜び……などなど。

こうして例会のある木曜という日は私にとって週の中で「今日という一日」を一番強く意識する日になった。今や私の一週は木曜を中心としてまわるようになった。

5年前、ロータリー情報委員長になった時私は、ロータリーをもっと知らないと言委員長はつとまらないぞ、という自責の念にかられて、ロータリーを勉強する会を思いついた。学習会である。会員一同の熱意で学習会も6年目に入った。ざっくばらんに意見を述べ合って勉強するこの会は同時にお互いの親睦を深める大きな効果をも生んだ。その魅力にひかれて毎月1回の学習会も休むのが惜しくなった。

入会以来12年。ロータリアンであることの喜びにひたりながら“入りて学び出でて奉仕”を一步一步深めたいものである。

私にとっては、もうやめられないロータリークラブになった。

「無 題」

小 山 幸 義

先ず、私の立場から20年間を振り返ってみますと、冒頭に御礼を申し上げなければなりません。クラブ創立から一貫して、例会場として御利用を賜わり、又事務所も弊館内に置いていただいていると云う事は、弊社にとりましても、又私個人にとりましても、誠に光栄の至りで、常に感謝の気持で一杯でございます。あまつさえ、20周年記念式典の席上で、弊社に対して感謝状、記念品返頂戴致し、恐縮している次第です。改めて厚く御礼申し上げます。

偕、私の憶い出となりますと、矢張り新福会長のもとで幹事を仰せつかった(49年7月から50年6月迄)前後の事になるようです。新幹事直前の6月下旬、新旧各委員長の引継ぎ打合せを兼ねた懇親会(当時は毎年やっていました)の設営担当で、それまでの上品ではあるが今一つおとなし過ぎる雰囲気にも物足りなさを感じていた私は、楽団と、ホステスのサービスを取り入れてみました。夜の懇親会位、時には華やいだ気分だ、と思ってやった演出と自画自讃していましたが、その後の夜の会合でも、このスタイルは定着せず後にも先にもこれ1回きりでし

た。今にして思えばノーブルな我が西クラブの宴会パターンに、いささかの暇隙をのこしたのではないかと反省している次第です。

西クラブの今後の限りなき発展を願いつつ、筆を擱きます。

三木会の思い出

木治屋 克己

伝統ある西クラブに入会させていただき、あつという間に12年が過ぎたようです。

社会、親睦、副SAA、SAA、青少年、国際、出席、職業、会雑、親睦、副幹事の各委員会に所属させていただきました。

思えば支離滅裂、汗だくだくの新入会員卓話、SAA当時、手に手つないでの曲が、どうした事か全く別の曲が鳴り出し大慌てしたこと、サンタのおじさんを命ぜられ大汗かいたこと、等今たいへん懐かしく思い出されてなりません。ただひたすら『出席』だけは全会員に迷惑をかけぬよう努力しようと、自分自身に鞭打つことでした。

特に西駅周辺、会員諸兄発起による飲ん方会、三木会は私を元気づけ、ロータリアンとしての唯一のダレヤメ会となったのです。歌あり珍曲あり、特意の隠し芸では、太鼓や皿踊りまで飛び出し、それはもうお腹かかえて笑い転げることでした。文字通り先輩諸氏との裸の付き合いによって『出席とは、親睦とは』を身を持って知らされた気がします。遅ればせながら声をかけてくださった諸先輩に心からお礼申し上げます。

先日、久方振りに通い慣れた天文館に繰り出し、飲ん方会独特の雰囲気にも浸ることが出来ました。三木会即ち、飲ん方会、私にとっては出席率向上の為かけがえのない参木会なのです。

20周年記念を機に、先輩ロータリアンが築きあげられた伝統と、知性あふれる西クラブ独特の雰囲気を、出席と親睦を基本としてしっかり継承して参りたいと思うこの頃です。

亡き柴山君を憶う

石 神 兼 康

故柴山一雄会員は私の鹿児島一中時代の同級生である。十数年前から“ロータリーにはいれ”と何回となくすすめられたが、新聞社の仕事の中で毎週出席できる自信がなく断り続けてきた。それがやっと三年前に、川村山形屋社長の推薦で重い腰をあげた次第。

どうやらロータリーとはどんなものか分かりかけた矢先に、いろいろ西ロータリーの歴史など教えてもらおうと思っていた柴山君が突然あの世へと旅立ってしまった、全くがっくりときたというのがいつわらぬ気持。

柴山君が西ロータリーにいかにつくしてきたか、会員からいかに尊敬されていたか、いまさらながらわが友に頭の下がる思いである。

西ロータリーに入会したからには柴山君の心を引きついで奉仕の精神に生きてゆきたいと思うこの頃である。

○チャーターメンバー (アルファベット順)

安 楽 慶 一 郎	福 井 浩	船 木 潔	堀 俊 一
犬 伏 康 夫	岩 元 健 吉	岩 元 正 二	河 井 時 義
川 村 洋	小 山 幸 義	倉 園 清 市	黒 木 長 太 郎
牧 田 健 二	松 元 明 人	大 小 田 友 一	大 山 実
西 郷 隆 永	桜 美 四 郎	柴 山 一 雄	島 津 忠 丸
田 原 誠 助	塘 一 郎	土 橋 英 夫	米 倉 秀 雄
			計 24名

○ポールハリス・フェロー

故 (塘 一 郎)	池 田 広	柿 市 高 重	藤 安 辰 造
池 口 恵 観 故 (柴 山 一 雄)		牧 田 健 二	
			以上 7名

ポールハリス準フェロー

(桜 美 四 郎)	故 (岩 元 健 吉)	川 村 洋	河 井 時 義
(岩 元 正 二)	海 老 原 利 則	外 西 寿 彦 故 (岡 山 栄)	
中 村 洋 治	(池 田 穰)	(永 井 利 承)	川 上 鉄 太 郎
浜 田 馨	徳 沢 紀 生	土 橋 滋	
			以上 15名

20年のあゆみ

初 年 (1963)

昭和38年3月～38年6月



会 長
桜 美 四 郎

《RI会長ターゲット》
奉仕の力となるよう
内部に火を燃やせ



幹 事
川 村 洋

RI 会長 ニッチシC・ラハリー (インド)
ガバナー 進 藤 誠 一 (福岡西)

役員・理事

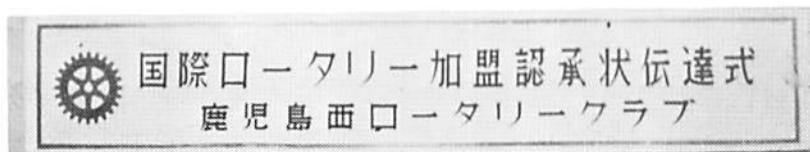
会 長	桜 美 四 郎	幹 事	川 村 洋
副会長	土 橋 英 夫		
理 事	黒 木 長 太 郎	SAA	小 山 幸 義
〃	船 木 潔	会 計	大 山 実
〃	岩 元 正 二		
〃	倉 園 清 市		
〃	米 倉 秀 雄		

委 員 会 (○印は委員長)

出 席	○安 楽 慶 一 郎	高 徳	
職 分	○岩 元 健 吉	河 井 時 義	犬 伏
会 選	○牧 田 健 二	松 元	島 津 忠 丸
プログラム	○大小田	久 保 政 次	
広 報	○福 井	福 田 敏 之	
親 睦	○柴 山	重 松	
ロータリー情報	○塘 一 郎		

主な出来事

- 3.23 創立総会開催（鶴鳴館）鹿児島西ロータリークラブ（仮）創立。参加会員24名（チャーター・メンバー）年会費24,000円、入会金10,000円、例会日本曜、例会会場鶴鳴館。
- 5.19 第1回家族会（桜島ハマチ養魚場）会員17名、家族40名参加
- 6.27 27日付国際ロータリーより加盟承認の通知受く



認承状伝達式、壇中央は桜美会長と福田特別代表

国際ロータリー加盟認承

1963年（昭和38年）

6月27日

認承状伝達式と祝典

1962年（昭和38年） 1963

11月20日・山形屋ホール



第 1 年 (1963~64)

昭和38年 7月~39年 6月

〈R I 会長ターゲット〉

個人対個人、クラブ対クラブ、
地区対地区の理解と友情を深
め、福祉と平和に寄与しよう。



会 長
桜 美 四 郎



幹 事
川 村 洋

R I 会 長 カールP・ミラー(米)
ガバナー 嘉村平八(戸畑)

役員・理事

会 長	桜 美 四 郎	幹 事	川 村 洋
副会長	土 橋 英 夫		
理 事	黒 木 長 太 郎 (会務担当)	S A A	小 山 幸 義
〃	船 木 潔	会 計	大 山 実
〃	岩 元 正 二		
〃	西 郷 隆 永		
〃	米 倉 秀 雄		

委 員 会 (○印は委員長)

出席 奨励	○安 楽	高 徳		
職業 分類	○岩 元 健 吉	河 井 時 義	犬 伏	堀 川
	町 田			
会員 選考	○牧 田	松 元	島 津 忠 丸	
プログラム	○大 小 田	久 保 政 次		
広 報	○福 井	福 田 稔	光 安	
親 睦	○柴 山	重 松	藤 安 辰 造	
ロータリー情報	○塘 一 郎	川 路 清 高	岡 元 栄	
会 報 奉 仕	○堀	鮫 島 志 芽 太	齊 藤	
職 業 奉 仕	○岩 元 正 二	柳 田		
社 会 奉 仕	○米 倉 秀 雄	望 月		
青 少 年 奉 仕	○西 郷 隆 永	堀之内		
国 際 奉 仕	○船 木	高 井		

主な出来事

- 7.4 国際ロータリー正式加盟承認祝賀会
- 7.27 第2回家族会(鶴鳴館)＝会員22名・家族18名参加
- 8.27 市内新聞配達少年野球大会に寄贈＝青少年奉仕委
- 9.15 事務所移転＝日本瓦斯(株)より鶴鳴館へ
- 11.1 第370区、年次大会(福岡市民会館)＝桜美・土橋・川村・岩元(正)・柴山・重松参加
- 11.20 当クラブチャーター伝達式(山形屋) 会員 219名・家族82名・来賓13名出席
- 12.26 クリスマス家族会(鶴鳴館)＝会員31名・家族68名参加
- 12.27 市社会福祉協議会へ歳末助け合い寄付＝社会奉仕委
- 1.26 インターシティーゼネラルフォーラム(川内市公民館)社会奉仕部門リーダーに米倉、桜美会長以下12名出席
- 1.30 週報第1号発行
炉辺会合(土橋宅ほか2ヶ所)
- 2.6 鯨島志芽太、米国ダベンポートRCなどのバナー持参、卓話
- 2.27 インターアクト創立準備委を設く。委員に重松、柴山、藤安
- 3.4 嘉村平八ガバナーを迎え、クラブアッセンブリー(鶴鳴館)
- 3.5 嘉村ガバナー公式訪問
- 3.5 勤労青少年ホームへ「四つのテスト」入り鏡寄贈＝青少年奉仕委
〃 職業安定所へ「四つのテスト」入り鏡を寄贈＝職業奉仕委
- 3.12 年次総会＝次年度理事決定
- 3.19 創立一周年記念日(23日)を祝い会長挨拶、一年連続出席優秀者表彰(13名)
- 4.19 久留米東RCチャーター伝達式に久保出席
- 4.25 地区協議会(久留米市石橋文化ホール)＝土橋・高德・牧田出席
- 5.7 「交通安全」ポスターを鹿児島・鹿屋・川内の3市の小学校より募集し、特賞のコバシユウイチ君の絵を印刷、鹿児島RC・南RC合同で県警・市警交通安全連絡協議会・市内小学校へ寄贈＝社会奉仕委
- 5.10 県下ロータリアン親善ソフトボール大会(中央公園)＝藤安監督以下12名参加
鹿児島クラブ優勝
- 6.3 十島村へ医療品 560点寄贈＝県下RC社会奉仕委合同
- 6.4 ロータリー賞設定を決む。
- 6.18 クラブアッセンブリー＝24名出席
- 6.25 国際ロータリー加盟承認一周年(27日)に当り家族会(鶴鳴館)＝会員30名・家族22名出席

第 2 年 (1964~65)

昭和39年7月~40年6月



会 長
土 橋 英 夫

《R I 会長ターゲット》

ロータリーに生きよう
ロータリーを分ち合う
ことにより



幹 事
高 徳 三 蔵

P I 会長 チャールズW・ベッテングル (米)
ガバナー 町 田 秀 実 (鹿児島)

役員・理事

会 長	土 橋 英 夫	幹 事	高 徳 三 蔵
副会長	塘 一 郎	副幹事	河 井 時 郎
理 事	川 村 洋 (会務担当)	S A A	小 山 幸 義
〃	大 小 田 友 一	会 計	飛 岡 俊 夫
〃	牧 田 健 二		大 山 実
〃	西 郷 隆 永		
〃	米 倉 秀 雄		

委 員 会 (○印は委員長)

山 席 奨 励	○柳 田	藤 安 辰 造	
職 業 分 類	○岩 元 健 吉	黒 木	町 田 秀 実
会 員 選 考	○桜 美 四 郎	松 元	名 越
プ ロ グ ラ ム	○安 楽 慶 一 郎	柴 山	高 田
広 報	○福 田 敏 之	島 津 忠 丸	
親 睦	○堀 之 内	高 井	堀 川 倉 園
	岩 田 太 一	岡 山	
ロータリー情報	○川 路 清 高	久 保 政 次	岡 元
会 報 雑 誌	○鮫 島 志 芽 太	齊 藤 善	
職 業 奉 仕	○大 小 田	堀	衛 藤 齊 藤
社 会 奉 仕	○牧 田	上 野	林 宏
青 少 年 奉 仕	○西 郷	岩 元 正 二	光 安
国 際 奉 仕	○米 倉	佐 伯	田 平 礼 章 春 山

主な出来事

- 7.10 鶴丸高校へ「四つのテスト」入り鏡を寄贈＝青少年奉仕委
- 7.22 町田ガバナーを迎え、クラブアッセンブリー（鶴鳴館）
- 7.23 町田ガバナー公式訪問
- 8.20 「ロータリー賞」推薦委員会結成委員 塘・鯨島・福田・牧田・岩元(正)・久保・小山
- 9.4 オリピック聖火リレー「花いっぱい運動」に寄付＝社会奉仕委
- 9.20 地区研究会（都城市大丸デパート）＝桜美・土橋・川路・鯨島・塘・川村・町田出席
- 10.1 「献血運動のポスター」作成、関係機関へ配布＝市内3クラブ社会奉仕委合同
- 10.3 都城RC創立10周年記念式に土橋会長出席
- 10.8 鶴丸高校インターアクトクラブ結成式（鶴鳴館）＝久保校長・小倉教頭・生徒29名出席、土橋・柴山ら出席
- 10.31 鶴丸高校インターアクトクラブ初会合＝西郷・西元(正)・柴山出席
- 11.11 十島村へ医薬品、特殊学級へ援助金、全会員350円負担贈呈
- ＊ 第370区年次大会（大分市並びに別府市）昨年度出席優秀第9位として表彰を受く、土橋・塘・河井・川路・川村・岩元(正)・片平IC会長出席
 - ＊ ロータリーの友誌370地区編集委員に鯨島君
 - ＊ 桜美シニア・アクチブ会員
- 12.11 炉辺会合（鶴鳴館）
- 12.23 市内3クラブ合同クリスマス家族会（山形屋）＝会員37名・家族66名出席
- 12.28 市社会福祉協議会へ歳末助け合い寄付＝社会奉仕委
- 1.16 川内の特殊学級（8校）へ子供自転車各一台ずつ寄贈＝県下クラブ合同
- 1.24 インターシティ・ゼネラル・フォーラムA班（山形屋）＝ホスト鹿児島RC、土橋会長以下17名出席
- 2.7 鶴岡RC三浦・今間・三井君米鹿、兄弟RC盟約を打合せる。メッセージ交換、土橋・鯨島・西郷・高德出席
- 2.20 第1回街頭交通指導土橋・塘・高德・牧田・大小田参加
- ＊ RI60周年記念行事として
 - (1)ロータリー座談会（町田ガバナー、市内3クラブ会長）をMBCテレビ放送
 - (2)植樹（市内3クラブにてカイコウズ50本）中央公園に植える
- 3.1 郡元大火に見舞金を贈る＝社会奉仕委
- 3.11 年次総会＝次年度理事決定
- ＊ 寺山公園の清掃作業＝鶴丸高校インターアクトクラブ会員27名・ロータリー会員4名（塘・安楽・柴山・春山）参加
- 3.18 世界理解週間にちなみ、留学生(18名)を例会に招待＝国際奉仕委
- 3.20 第2回街頭交通指導＝河井・岩元(正)・上野参加
- 4.19 交通安全県民会議へ交通安全旗（200本）寄贈＝青少年奉仕委
- 4.20 第3回街頭交通指導＝西郷・米倉参加
- 4.21 「四つのテスト」入り額を市内6高校へ寄贈＝職業奉仕
- 5.5 優良従業員表彰・記念品贈呈、被表彰者＝久永角磨氏（日本瓦斯）坂元鉄雄氏（柴山歯科）城山忠朗氏（安楽酒造）里園桂子さん（山形屋産業）清藤洋子さん（新鹿児島いすずモーター）
- 5.8 第370区インターアクト連絡協協会（別府市花菱ホテル）柴山出席
- 5.9 鶴岡クラブと兄弟クラブ盟約締結式並びに交歓会（重富荘）鶴岡クラブ齊藤会長外4名・家族2名、当クラブ会員

- 33名・家族34名出席
- 5.9 第3回県下RC親善ソフトボール大会
に優勝(名山小学校)＝堀之内・塘・
高井・河井・藤安・上野・小山・久保
・安楽・岡山参加
- 6.8 土橋会長鶴岡クラブを訪問
- 6.13 鶴丸高校インターアクト承認状授与式
(鶴鳴館)＝片平会長外23名出席
- 6.21 十島村へ医薬品寄贈＝県下RC社会奉
仕委合同
- 6.24 「四つのテスト」入り額を市内4高校
へ寄贈



鶴岡ロータリークラブと兄弟盟約結成式と交歓会(於富富荘)



参加の会員、家族たち

第 3 年 (1965~66)

昭和40年7月~41年6月

〈R I 会長ターゲット〉

- ① 理論より活動を
- ② 行動強化そして継続性を
- ③ もっと国際性を



会 長
塘 一 郎



幹 事
河 井 時 義

R I 会長 C・P・H・ティーンストラ (オランダ)
 ガバナー 島津久厚 (都城)
 分区代理 鷹野孝徳 (鹿児島)

役員・理事

会 長	塘 一 郎	幹 事	河 井 時 義
副会長	米 倉 秀 雄	副幹事	藤 安 辰 造
理 事	岩 元 健 吉	S A A	高 井 敏 治
〃	高 徳 三 蔵 (会務担当)	会 計	飛 岡 俊 夫
〃	岩 元 正 二		
〃	安 楽 慶 一 郎		
〃	柴 山 一 雄		
〃	島 津 忠 丸		

委 員 会 (〇印は委員長)

出席奨励	〇川 村 一 洋	牧 田 健 二	町 田 秀 実	徳 田 基
職業分類	〇大小田 友 一	黒 木 長 太 郎	柳 田	
会員選考	〇桜 美 四 郎	林	倉 園	
プログラム	〇西 郷 隆 永	高 田 光 義	名 越 時 秀	
広 報	〇鮫 島 志 芽 太	田 平 礼 章	岡 山 栄	
親 睦	〇土 橋 英 夫	小 山 幸 義	堀 川	岩 田 太 一
ロータリー情報	〇川 路 清 高	久 保 政 次	岡 元 健 一 郎	栗 川
会報雑誌	〇福 田 敏 之	斉 藤 善	鮫 島 志 芽 太 (兼)	
インタビュー ゲスト質問委	〇柴 山 一 雄	高 井 敏 治	光 安 正 昭	春山ジャスティン
職業奉仕	〇岩 元 正 二	衛 藤	斉 藤 一	

主な出来事

- 7.7 第10回ワンダーフォーゲル(7～8月)
当クラブ当番, 参加高校=鹿中央10名・鹿児島21名・指宿12名・計3校43名, 受入=西本願寺 182名・高千穂館82名・計 264名
- 7.27 町田ガバナー慰労会(山形屋)=当クラブより13名出席
- 7.28 第370区インターアクト連絡協議会(大分青年の家)=柴山出席
- 9.9 家族会(城山滝の茶屋)=会員39名・家族52名参加
- 9.21 炉辺会合(鶴鳴館24日まで)
- 9.30 ワンダーフォーゲル10周年に当り10年連続参加の鹿児島高校新原慶輝教諭を3クラブで表彰
- 10.7 第1回ロータリー賞贈呈式=おぎやー献金提唱者遠矢善栄氏(大口市医師会長)へ
- 10.20 姉妹クラブの鶴岡クラブを訪問=塘・藤安・柴山・河井夫妻の5名
- 10.23 西日本連合地区大会(京都市)=昨年度出席優秀第9位として表彰を受く。塘・土橋夫妻・藤安・柴山・島津・河井参加
- 10.28 島津久厚ガバナーを迎え, クラブアッセンブリー
- 10.29 島津ガバナー公式訪問
ク ピアノ開き=玉竜高校鎌田先生独奏
- 11.18 交通関係功労警察官10名表彰, 記念品贈呈
- 11.18 ロータリー財団週間にちなみロータリー財団へ寄付=国際奉仕委
- 12.16 年末助け合い行事として乳児院(3)・養護施設(3)に衣類・玩具を贈る=市内3クラブ合同
- 12.28 クリスマス家族会(鶴鳴館)=会員40名・家族78名インターアクト会員29名出席
- 1.6 週報 100号特集を出す
- 1.30 インターシティ・ゼネラル・フォーラムA班(山形屋)=ホスト西クラブ, 塘会長以下37名出席, 一般討議リーダー川路。
- 2.28 クラブアッセンブリー(鶴家)=29名出席
- 3.3 高校生の交通道德指導用のスライド作成, 教委指導課へ寄付(市内3クラブ社会奉仕委合同)
- 3.31 年次総会=次年度理事選出
- 4.3 鶴丸インターアクト寺山公園を清掃, 柴山会員ら参加。
- 6.16 第370区インターアクト担当教師連絡協議会(別府・ホテルきじま)=鶴丸高校有馬先生出席
- 6.16 串木野羽島の大火に義援金を贈る
- 6.26 地区協議会(熊本商科大学)=安楽・藤安・岡元・高德出席



塘会長一行鶴岡クラブ訪問

第 4 年 (1966~67)

昭和41年7月~42年6月

〈RI会長ターゲット〉

ロータリーで、よりよい世界
を、新会員、新クラブをふや
してロータリーを分ち合おう



会 長
米 倉 秀 雄



幹 事
藤 安 辰 造

RI 会長 リチャードL・エバンス (米)
ガバナー 吉 村 常 助 (熊本)
分区代理 有 馬 純 次 (鹿児島)

役員・理事

会 長	米 倉 秀 雄	幹 事	藤 安 辰 造
副会長	島 津 忠 丸	副幹事	安 楽 慶一郎
理 事	飛 岡 俊 夫	S A A	田 平 礼 章
〃	河 井 時 義 (会務担当)	副SAA	光 安 善 雄 [兼]
〃	小 山 幸 義	会 計	名 越 時 秀
〃	高 井 敏 治		
〃	柴 山 一 雄		
〃	川 路 清 高		

委 員 会 (〇印は委員長)

出席奨励	〇高 田 光 義	岡 山 洋 栄	桜 美 四 郎	
職業分類	〇岩 元 正 二	柳 田	黒 木 長 太 郎	
会員選考	〇川 村 洋	塘 一 郎		
プログラム	〇鮫 島 志 芽 太	町 田 秀 実	土 橋 英 夫	
広 報	〇佐 伯 延 次 郎	岩 田 太 一	西 郷 隆 永	
親 睦	〇牧 田 健 二	齊 藤 善	林	幸 泉
	光 吉 正 昭	浜 田 馨		
ロータリー情報	〇岡 元 健 一 郎	久 保 政 次	衛 藤	栗 川
会報雑誌	〇高 徳 三 蔵	齊 藤 一	久 保 田 彦 穂	神 山 福 均
職業奉仕	〇小 山 幸 義	堀之内	岩 元 健 吉	新 福
社会奉仕	〇高 井 敏 次	光 安 正 昭	倉 園 清 市	
青少年奉仕	〇柴 山 一 雄	堀 川	伊 東 基	
国際奉仕	〇川 路 清 高	福 田 敏 之	徳 田	

主な出来事

- 7.12 姉妹クラブ鶴岡RCより青少年交換使節第1号として、斉藤元会長の長男寿一君（新潟大学生）が自動車班4名と来鹿、会長よりのメッセージ及び書籍「臥牛菅実秀」10冊の寄贈。当日鶴丸インターアクト会員OBと懇談会
- 7.21 第11回ワンダーフォーゲル＝参加高校商業15名・中央9名・鹿児島14名、計38名、受人西本願寺 157名・高千穂館25名、計 182名
- 7.24 指宿RCチャーター伝達式（指宿観光ホテル）＝18名出席
- 7.27 鮫島志芽太君、鶴岡RC訪問、会長のメッセージ、屋久杉額土産品を贈る。
- 8.14 第370区インターアクト連絡協議会（別府ホテルきじま）
- 9.13 クラブアッセンブリー（愛丸）役員・理事・委員長
- 9.26 宮古島の災害に寄付＝社会奉仕委
- 9.29 家族会（重富荘）＝93名参加
- 10.13 街頭交通指導＝島津・幸泉・藤安参加巡回視察に米倉会長参加
- 10.21 炉辺会合（鶴鳴館）（28日の間）
- 10.22 西クラブ第1回ゴルフ大会（吉野）＝10名参加、鮫島優勝
- 11.12 宮崎年次大会（宮崎市民会館）＝米倉・川村・岩元（正）・柴山・伊東・島津・塘・河井・藤安出席、昨年度出席率第8位の表彰を受く
- 11.20 串木野RCチャーター伝達式（市民会館）＝16名参加
P.R.R.M奨金（フィリップス農村奨助金を贈る）
- 12.26 クリスマス家族会（鶴鳴館）＝会員44名・家族87名インターアクト16名出席
＊歳末助け合いに寄付＝社会奉仕委
- 1.15 韓国インターアクト張团长（ロータリアン）外8名来鹿。市内3クラブ会長・諮問委員・3インターアクト会員で交歓会（春日寮）
- 1.26 鹿児島海上保安部及び鹿児島航空基地職員の優良者表彰＝職業奉仕委
- 2.1 吉村常助ガバナーを迎えクラブアッセンブリー（鶴鳴館）
- 2.2 吉村ガバナー公式訪問
- 3.2 年次総会＝次年度理事決定
- 3.9 リチャード・エヴァンスRI会長夫妻歓迎会（福岡明治生命）＝米倉会長・藤安幹事・柴山出席
- 3.16 世界理解週間の例会に中華民国の留学生8名を招待
- 4.2 インターシティ・ゼネラル・フォーラム（川内市民会館）＝18名出席、青少年奉仕リーダーに柴山
- 5.4 交換学生受人懇談会（鹿クラブ）＝市内3クラブ新旧会長・幹事・次期国際委員長出席
- 5.27 ジョージア州親善使節団歓迎レセプション（城山観光ホテル）＝米倉会長・鮫島会員出席
- 6.11 地区協議会（大分文化会館）＝桜美・土橋・島津・安楽・久保田出席
- 6.24 加治木（仮）RC結成式（鹿銀加治木支店）スポンサー西クラブ、特別代表土橋英夫、拡大委員柴山・川路・高井

第 5 年 (1967~68)

昭和42年7月~43年6月

〈RI会長ターゲット〉

ロータリアンとしての資格を
効果あらしめるよう……やる
気になって



会 長
島 津 忠 丸



幹 事
安 楽 慶 一 郎

RI 会長 ルーサーH・ホッジス (米)
ガバナー 向 笠 広 次 (中津)
分区代理 桜 美 四 郎 (鹿児島西)

役員・理事

会 長	島 津 忠 丸	幹 事	安 楽 慶 一 郎
副会長	鮫 島 志 芽 太	副幹事	柴 山 一 雄
理 事	藤 安 辰 造 (会務担当)	SAA	高 田 光 義
〃	久 保 政 次	副SAA	伊 藤 則 生
〃	佐 伯 延 次 郎	会 計	西 郷 隆 永
〃	高 井 敏 治		
〃	福 田 敏 之		

委 員 会 (○印は委員長)

出席奨励	○岡 山 栄	川 路 清 高	河 井 時 義
職業分類	○光 吉 正 昭	桜 美 四 郎	服 部 英 夫
会員選考	○塘 一 郎	岡 元 健 一 郎	土 橋 英 夫
プログラム	○町 田	新 福 栄 熊	飛 岡 増 竹
広 報	○岩 田 太 一	牧 田 健 二	光 安 雄
親 睦	○岩 元 正 二	小 山 幸 義	米 倉 秀 雄
ロータリー情報	○栗 川	衛 藤	倉 園 清 市
会報雑誌	○久保田 彦 穂	川 村 洋	林 基 岩 元 健 吉
職業奉仕	○久 保 政 次	田 平 礼 章	德 田 基 岩 元 健 吉
社会奉仕	○佐 伯 延 次 郎	名 越	黒 木 長 太 郎
青少年奉仕	○高 井 敏 治	幸 泉	高 德 三 蔵
	高 綱		
国際奉仕	○福 田 敏 之	浜 田 馨	春山ジャستن
ロータリー 賞選考委	○鮫 島 志 芽 田	米 倉 秀 雄	岩 田 太 一 久保田 彦 穂
	佐 伯 延 次 郎	福 田 敏 之	

主な出来事

- 7.1 桜美四部分区代理就任
- 7.21 第12回ワンダーフォーゲル＝参加高校
ラサール6名・中央10名・鹿児島14名
・計30名、受入れ、西本願寺13校 172
名
- 7.23 第1回鹿児島県インターアクト連合(鶴
丸高校＝ホスト西クラブ・鶴丸高校イ
ンターアクトクラブ)
- 7.27 佐賀・長崎の水害にお見舞金贈る＝社
会奉仕委
- 8.4 第370区韓国親善訪問学生旅行団の一
員として鶴丸高校IC村岡俊久参加
- 8.18 第370区第3回インターアクト連絡協
議会(鶴丸高校体育館)＝インターア
クト会員39校 184名、教師・校長40校
46名(未結成校2校2名を含む)スポ
ンサーRC39クラブ58名参加19日は磯
集成館等見学
- ✧ 交換学生、クリスチン・イリー嬢来鹿
(1年間市内3RCで世話)
- 9.8 韓国のパストガバナー金永韶氏来鹿歓
迎会(玉村)
- 9.21 観月家族会(磯公園)＝ビジター2名
・会員39名家族53名参加
- ✧ 交換学生ダヴィット・クリストファー
君来鹿(市内3RCで世話)
- 9.23 加治木RC正式加盟承認
- 10.8 都城北RCチャーター伝達式(都城市
民会館)＝土橋・岡元・島津・藤安・
柴山・岩田出席
- 10.11 向笠広次ガバナーを迎えクラブアッセ
ンブリー(鶴鳴館)
- 10.12 向笠ガバナー公式訪問
- 11.11 西クラブ第3回ゴルフ大会(吉野)＝
8名参加、神山優勝
- ✧ 第370区年次大会(佐賀市)＝島津・
柴山・岡山・徳田出席
- 12.23 クリスマス家族会(鶴鳴館)＝会員36
名・家族72名・加治木クラブ会員1名・
家族2名・インターアクト16名出席
- 1.7 1月末でロータリー財団寄付100%段
階へ累積額788ドル。
- 3.7 年次総会＝次年度理事決定
- ✧ えびの地震災害に対し義援金を贈る＝
社会奉仕委
- 3.23 クラブ創立5周年記念祝典(鶴鳴館)
＝米資31名・ビジター1名・鶴丸高校
IC会員11名・会員39名家族36名出席
(来資のうち2名は鶴岡西IC安達会
長・熊川副会長、鶴岡RC斉藤会長か
らのメッセージを頂く)特別出演フラ
ンキー堺、感謝状を佐々木申吉氏・島
津事務局員へ。
- ✧ ロータリー賞＝平川小学校海の上部落
子供愛護会へ
 - ✧ 優良職業人表彰＝入米悼氏(仁風寮)・
橋口さつ子さん(仁風寮)・大迫静子
さん(玉里園)・竹ドキテさん(千歳
寮)・永吉満智さん(同胞保育園)
- 4.6 鹿児島県明治100年記念祝典(体育館)
会長ほか会員多数出席。
- 4.26 第6回県下RC親善ピンポン大会(旭
相互銀行ホール)＝高井・小山・幸泉・
光吉・岡元・春山参加、鹿児島クラブ
優勝
- 5.19 鹿児島県9RC新会員懇話会(鶴鳴館)
＝ホスト西クラブ
- 5.26 加治木RCチャーター伝達式(柅城小
学校)＝会員27名・家族5名出席
- 6.9 第373区地区協議会(鶴鳴館)＝ホス
ト鹿児島クラブ、鯨島・柴山・川村出
席
- 6.13 クラブアッセンブリー(鶴鳴館)
- ✧ 鹿市内11校の特殊学級に打込組木及び
水槽を贈る＝県下RC社会奉仕委合同

第 6 年 (1968~69)

昭和43年7月~44年6月

〈R I 会長ターゲット〉

参加し・敢行しよう



会 長
鯨 島 志芽太



幹 事
柴 山 一 雄

R I 会長 東ヶ崎 潔 (日本)
ガバナー 大津 篤造 (鹿児島)
分区代理 吉田 勇藏 (鹿児島西)

役員・理事

会 長 鯨 島 志芽太
副会長 佐 伯 延次郎
理 事 安 楽 慶一郎
〃 高 田 光 義
〃 岡 元 健一郎
〃 田 平 礼 章
〃 久保田 彦 穂

幹 事 柴 山 一 雄
副幹事 高 井 敏 治
S A A 幸 泉 良
副SAA 光 吉 正 昭
会 計 岡 山 栄

委 員 会 (○印は委員長)

出席奨励	○川 路 清 高	神 山	黒 木 長太郎	池 田 広
職業分類	○林	河 井 時 義	高 綱	森 川
会員推選	○飛 岡	小 山	高 名 越	林
会員選考	○名 越	土 橋 英 夫	島 津 忠 丸	
プログラム	○新 副 栄 熊	福 田 敏 之 郎	小 山 幸 義	池 田 稔
広 報	○牧 田 健 二	塘 一 郎	桜 山 美 四 郎	池 田 鉄太郎
親 睦	○浜 田 馨	藤 安 辰 造	久 保 政 次	小 増 竹 成 紀
	外 西	福 田		
ロータリー情報	○衛 藤	倉 園 清 市	西 郷 隆 永	川 上 鉄太郎
会報雑誌	○川 村 洋	徳 田 基 雄	飛 岡 川 俊 夫	高 野 隆 三
職業奉仕	○高 田 光 義	米 倉 秀 吉	栗 川 原 木	下 野 隆 三
社会奉仕	○岡 元 健一郎	岩 元 健 吉	若 松 元 田	桜 中 川
青少年奉仕	○田 平 礼 章	春山ジャステン	若 松 元 田	中 川
インターアクト	○久保田 彦 穂	岩 田 太 一 丸	若 松 元 田	村 村
国際奉仕	○佐 伯 延次郎	島 津 忠 丸	牧	
ロータリー賞	岡 元 健一郎	福 田		

主な出来事

- 7.1 今年度より 370区（九州全域）から熊本、大分、宮崎、鹿児島四県が分離、373区として独立。初代ガバナー大津篤造君。
- ✧ 第 370地区のロータリー財団委員に佐伯延次郎、インターアクト諮問委員に柴山一雄、ロータリーの友編集委員に鮫島志芽太就任。
- 7.21 第13回九州・山口ワンダーフォーゲル当番（田平青少年奉仕委員長ら奉仕）
- 7.25 県下合同社会奉仕実施…特殊学級11小学校へ、熱帯魚入り水槽、鳥かご（紅雀）などを贈る。
- ✧ 交換学生ビバリー嬢、安楽慶一郎宅で受人決定。
 - ✧ 交換学生クリストファー君、イリー嬢、お別れのあいさつ。
- 7.31 ロータリー財団寄付金 808ドル、100%段階を越す。
- 8.16 第二回鹿県インターアクト大会、第四回インターアクト連協、エビノで開く。田平青少年委員長、柴山地区委員長、鶴丸I C会員7名が参加。
- 8.23 地区リーダーシップ・フォーラム開く（熊本市）柴山（青少年部会リーダー）鮫島（会長部会…リーダー）高井副幹事、田平青少年奉仕委員長、高田職業奉仕委員らが出席。モデレーター平沢興（もと京大学長）
- 10.5 家族観月会（城山）会員38名、家族53名。家族のコーラス、演芸、福引など大盛会。
- 10.19 第370区・373区合同年次大会、佐世保市で2日間。出席者5名、鮫島志芽太（ロータリーの友誌懇談会リーダー）柴山一雄（青少年奉仕部会リーダー）高井敏治（青少年奉仕副リーダー）川村洋会報雑誌委員長、新福栄熊プログラム委員長。
- この年から第 373地区（大分、熊本、宮崎、鹿児島四県）が 370地区から分れて独立。最後の九州地区全体の年次大会。
- ✧ 年間出席優秀ベストテンの第9位(9.979%)で表彰さる（年次大会席上）
- 11.7 この日3名入会。会員数53名となる。会員増強に力を入れ、6年目によりやく会員50名の台を越えた。
- 12.1 鶴丸インターアクト会員12名と柴山一雄会員ら、吉野・寺山公園を清掃奉仕。
- 12.5 水俣病患者援助、歳末たすけあい運動、交通安全の日等に協力、義援金。
- 12.11 大津ガバナー公式訪問前夜協議会。35名出席。
- 12.12 大津ガバナー公式訪問。
- 12.19 知覧・川辺地区の新設クラブ結成についてスポンサー・クラブを引受けることに決定。特別代表・柴山一雄（理事会一総会）
- 12.26 クリスマス家族会（鶴鳴館、例会に引続き）会員53名、家族72名。招待者16名（うちインターアクト12名）計 141名。
- 1.9 ロータリー財団寄付 200%段階に達し R I 本部より通知。
- 1.30 職場訪問（職業奉仕）カクイわた工場を見学、懇談。
- 2.1 武町町内会へ、防犯灯建設のため3万円寄贈。鮫島会長、岡元社会奉仕委員長ら市長室で贈呈。（後日、市長より感謝状を受く）
- 3.19 東ヶ崎 R I 会長夫妻歓迎・九州地区懇談会。鮫島会長、柴山幹事出席（福岡）
- 3.23 クラブ六周年記念式。
- ✧ 第三回ロータリー賞贈呈式。表彰者…ひかり学園・富迫ミツエ、羽島フミ、上柳田礼子、丸野静江さんらの永年の旨啞者への奉仕に感謝。

- 3.23 職場優良従業員を表彰…◇南九州三菱自動車・黒木重雄◇南日本新聞社・竹下吉之助◇カクイわた・竹之内新一郎◇安楽酒造・有田貞雄◇神田商店・溝上寿一◇山形屋・山原ひめ◇日本生命支社・上元瞭子◇土橋病院・小田チエさんら。
- ♪ こどもを交通事故から守る運動に協力。
- 5.1 会員の三分間スピーチをはじめ。
- 5.5 県下RC親善ソフトボール大会で、40年に次いで第二回目の優勝。出場選手…若松、藤安、木原、光吉、幸泉、下野、小山、春山、河井、浜田、柴山。
- 5.10 地区交換学生の地区旅行について協力歓迎レセプション。
- 5.11 えびのRCチャーターナイト。鮫島、土橋、徳田出席。
- 5.31 兄弟クラブ鶴岡RCより海東与蔵君夫妻米鹿。歓迎会…記念品・メッセージを贈る。鮫島、柴山、土橋、河井ら出席。
- 6.7~8 第373地区協議会・次年度役員研修(宮崎市)出席者…鮫島(会報編集部会リーダー)柴山、佐伯(延)、高井、栗川、岩田、新福、池田(広)、米倉。
- 6.29 鶴岡RCから10周年記念品を贈られる。
♪ 本クラブ推せんの大団純也南日本新聞記者、国際交換研究グループに合格、派米を決定(ロータリー財団基金)
- 6.23 ミーンズRI事務総長夫妻を囲む九州懇談会(西鉄グランドホテル)出席者…鮫島、柴山。

西クラブ創立5周年記念式典



第 7 年 (1969~70)

昭和44年 7月~45年 6月

〈R I 会長ターゲット〉

検討し、更新しよう



会 長
佐 伯 延次郎



幹 事
高 井 敏 治

R I 会長 ジェームスF・コンウエイ (米国)
ガバナー 日 高 安 壮 (宮崎)
分区代理 平 国 端 (鹿屋)

役員・理事

会 長 佐 伯 延次郎
副会長 久保田 彦 穂
理 事 柴 山 一 雄
 〃 栗 川 久 雄
 〃 岩 田 太 一
 〃 岡 山 栄

幹 事 高 井 敏 治
副幹事 小 山 幸 義
理 事 新 福 栄 熊 昭
S A A 光 吉 正 昭
副SAA 外 西 寿 彦
会 計 徳 田 基

委 員 会 (◎委員長 ○副委員長)

出席奨励	◎西 郷 隆 永	○浜 田 馨	鯨 島 志芽太	林 幸 光
職業分類	◎春山ジャستن	○牧 田 健二	小 池 鉄太郎	
会員選考	◎島 津 忠 丸	○増 竹 成 紀	岩 元 健 吉	
会員推薦	◎岩 元 正 二	○木 原 良	高 田 光 義	
プログラム	◎福 田 敏 之	○久 保 政 次	川 路 清 高	竹之内 安 己
広 報	◎河 井 時 義	○川 上 鉄太郎	塘 一 郎	
親 睦	◎中 村 善 浩	○若 松 新 一	池 田 稔	高 綱 博 明
	渡 辺 匡			
ロータリー情報	◎倉 園 清 市	○幸 泉 芳 良	川 村 洋	
会報雑誌	◎米 倉 秀 雄	○福 田 稔	下 野 隆 三	有 蘭 敷 男
	鯨 島 志芽太〔兼〕			
職業奉仕	◎栗 川 久 雄	○土 橋 英 夫	岡 元 栄	土 谷 久 雄
社会奉仕	◎岩 田 太 一	○森 川 盛 満	桜 美 四 郎	藤 安 辰 造
青少年奉仕	◎岡 山 栄	○桜 美 義 明	高 義 朗	
インターアクト ロータリーアクト	中 山 和 春	平 原 定 一 郎	柴 山 一 雄	
国際奉仕	◎新 福 栄 熊	○池 田 広	安 楽 慶 一 郎	田 平 礼 章
ロータリー 賞 推 薦	◎久保田 彦 穂	○鯨 島 志芽太	河 井 時 義	米 倉 秀 雄
	岩 田 太 一	福 田 敏 之		

主な出来事

- 7.10 インド救済事業に協力。
 ♪ 鶴岡、徳島、水俣、名瀬、指宿各RCより水害見舞をいただく鶴岡RCからは見舞送金あり。
 ♪ 水害被災の福田(敏)、島津両会員へ見舞。
- 7.24 交換学生新年度受入家庭に藤安、池田広両君宅に決定。
- 7.31 鶴岡RCの張紹淵会員から名物・ナメコをもらう(河井君宛)昼食に全員いただく。
- 8.9 鹿児島3RC合同ロータリーアクト準備委員会。岡山、桜美(義)柴山出席。
- 8.10 インターアクト第五回年次大会(阿蘇青年の家)佐伯会長、岡山諮問委員長、柴山地区委員、鶴丸高校インターアクト会員、有馬指導教官以下8名出席。
- 8.13 鶴丸高校インターアクト会員3名、鶴岡RC、鶴岡西高校、鶴岡高専両インターアクトを訪問、親善交歓。本RCよりメッセージをおくる。
 ♪ 川内RCへ水害見舞金をおくり、横山川内市長より礼状。
- 8.20 日高ガバナー訪問、前夜協議会。35名出席。
- 8.21 日高ガバナー公式訪問、45名出席。
 ♪ 鶴岡RCへ水害見舞、礼状届く。
- 8.28 交換学生ロドニー・ジョリー君、マーク・エマーリング君米鹿。あいさつ。エマーリング君は本RC会員池田広君宅に、ジョリー君は藤安君宅に民泊。
- 9.4 日高ガバナーより本RCを、加世田、知覧、川辺地域新クラブ設立のスポンサークラブに、柴山一雄君を特別代表に委嘱。
- 9.11 当クラブ推薦のロータリー財団奨学生に片平研二君(前鶴丸インターアクト会長)が決定、アメリカ Duke 大学に留学。
- 9.25 観月家族会、会員48名、家族45名、ゲスト4名。
- 10.11 鹿児島ローターアクト・クラブ結成式(山形屋)当RCより7名推薦。
 ♪ 鶴岡高専インターアクト会員2名来鹿、鶴丸高校インターアクトと交歓、城山の滑拵に合同参加。柴山宅に民泊。
- 11.7 鹿児島市と鶴岡市の兄弟都市盟約式参列のため、当RCと兄弟クラブ鶴岡RCの安藤定助君米鹿、メッセージ、記念品届く。歓迎交換会出席者…鯨島、柴山、土橋、河井ら。
- 11.8.9 第373地区年次大会(鹿児島市・ホスト鹿児島RC、コホスト鹿児島南、同西RC)113クラブ、1830名出席。西RCから会員・家族66名出席。大会役員として鯨島志芽太(選挙管理委員長)桜美四郎(立法委員)柴山一雄(青少年奉仕部会リーダー)らが参加。
 ♪ 出席優秀クラブ第4位の表彰を受く(年次大会席上)
- 12.4 派米交換グループスタディ研究団員大園純也君(西RCの推薦)帰国、卓話報告。
- 12.6 第6回西RC親善ゴルフ大会、優勝外西君。
 ♪ 歳末助け合い運動に協力。
- 1.8 新年家族会をクリスマス家族会にかえて開く。出席会員46名、夫人11名、ゲスト・ロータリーアクト6名。鶴家
- 2.21 ロータリー創立65周年記念市内3RC共同行事としてMBC放送座談会(元交換学生丸川、武林君出席)
- 3.8 串良RCチャーターナイト、出席…会員7名、家族1名、佐迫、土橋夫妻、鯨島、柴山、桜美義明、平原、高井。
- 3.15 インターシティー・ゼネラル・フォーラム(山形屋)県下13RC 170名参加。西RCから8名…佐迫、高井、西郷、

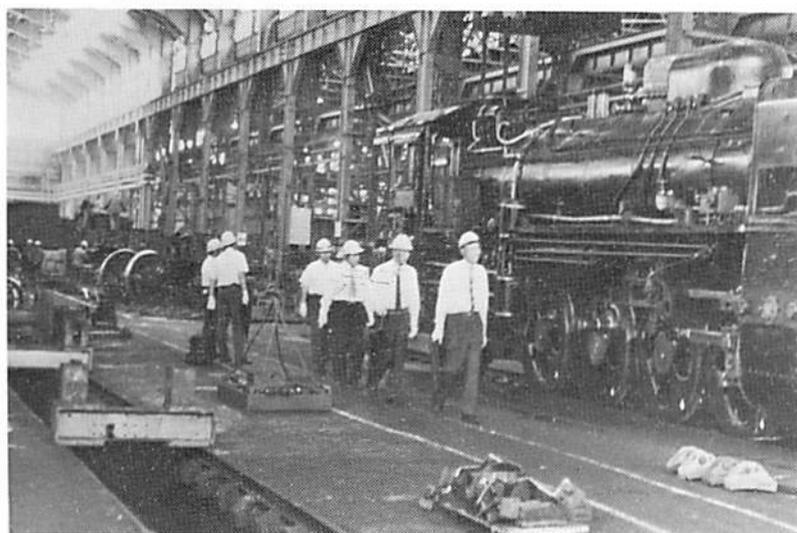
川村，中村，中山，永田，瀬上。

- 3 . 26 西RC 7周年式。
* 第4回西ロータリー賞を川辺町・諏訪下スポーツ少年団の環境美化運動に贈る。
4 . 12 出水RC 認承状伝達式。
5 . 24 伊集院RC 認承状伝達式。
6 . 18 職場例会。国鉄西鹿兒島工場に例会場をうつし，優良職業人を表彰し，同工

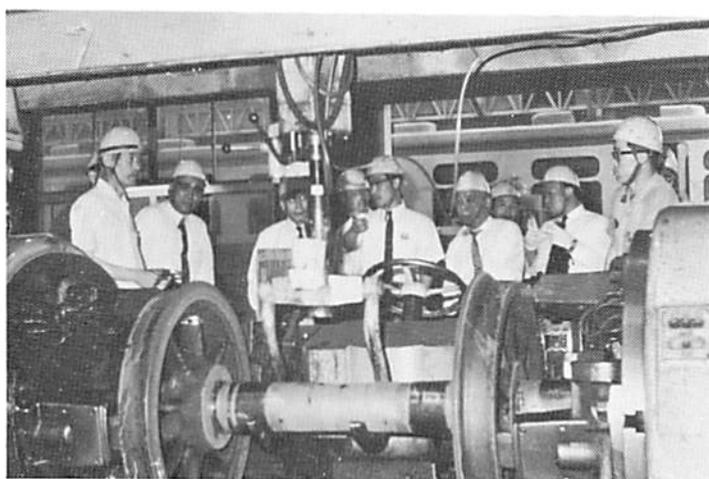
場を見学，親睦を深める。

職業奉仕委員会の苦心により地域にとけこむ目的で開かけたもの。優良職業人表彰者…吉岡清，篠原虎信，田丸三知康（いづれも国鉄工場）

- 6 . 21 第373地区協議会（別府出席者…川村（幹事部会リーダー）浜田，田平，川上，柴山，岡元，西郷，久保。



職場例会—国鉄西鹿兒島工場見学



第 8 年 (1970~71)

昭和45年7月~46年6月

《R I 会長ターゲット》

隔りをとり除こう



会 長
久保田 彦 穂



幹 事
久 保 政 次

R I 会長 ウイリアムE・ウオーク (米国)
ガバナー 八 田 秋 (別府)
分区代理 鮫 島 志芽太 (鹿児島西)

役員・理事

会 長	久保田 彦 穂	幹 事	久 保 政 次
副会長	西 郷 隆 永	副幹事	田 平 礼 章
あ と	岩 元 正 二	S A A	外 西 寿 彦
理 事	林 幸 光	副SAA	桜 美 義 明
〃	浜 田 馨	会 計	倉 園 清 市
〃	光 吉 正 昭		
〃	春山ジャスティン		

委 員 会 (◎委員長 ○副委員長)

出席 奨励	◎鮫島志芽太	○高井 敏治	高綱 博明	木原 良	平原定一郎
職業分類	◎牧田 健二	○小池鉄太郎	佐伯延次郎	有園 敷男	
会員選考	◎増竹 成紀	○河井 時義	森川 盛満	土谷 久男	
会員推薦	◎高田 光義	○若松 新一	岩田 太一	堀井 秀志	萩野 貞三
プログラム	◎藤安 辰造	○小山 幸義	岩元 健吉	永田 良司	山口 清次
広 報	◎川上鉄太郎	○安楽慶一郎	米倉 秀雄		
親 睦	◎島津 忠丸	○岩元 基	片平 敦	中山 和春	三角桂次郎
	新福 均	下野 隆三	小園 正人		
ロータリー情報	◎川村 洋	○福田 敏之	池田 広	徳田 基	
会報雑誌	◎柴山 一雄	○岩元 正二	池田 稔	新福 栄熊	
職業奉仕	◎林 幸光	○川路 清高	塘 一郎	瀬上 一郎	
社会奉仕	◎浜田 馨	○岡山 栄	土橋 英夫	若松宇治彦	
青少年奉仕	◎光吉 正和	○高 義朗	中村 善治	渡辺 匡	
国際奉仕	◎春山ジャスティン	△○岡元健一郎	桜美四郎	竹之内安巳	
ロータリー賞推薦	◎西郷 隆永	○福田 敏之	川上鉄太郎	柴山 一雄	浜田 馨
	藤安 辰造				

主な出来事

- 7.4 交換学生、マーク・エマーリング君、ロドニー・ジョリー君の三RC合同送別会（鶴鳴館）出席…久保田、久保、春山ジャستن君、受入家庭池田広、藤安君ら。
- 8.13 ローターアクト会員・町上司郎君（山形屋商事）交通事故人命救助をし、国分警察署長表彰をうく。
- 8.23 第373区第6回インターアクト年次大会（阿蘇青年の家）県下インターアクト64名参加、柴山、光吉出席。
- 9.3 ベルー大地震災害に義援金。
- 9.7 観月家族会（城山観光ホテル）会員、家族102名、ゲスト交換学生クリスチン・ロッシ嬢ら。
- 9.26 ローター財団・国際交換研究グループ（G・S・E…優秀な青年実業人の交換研究により国際理解をはかる目的の教育寄与）チーム、トーレ・ダンダールP・G（米）以下5名来鹿。鹿児島4RC合同例会ゲストとして懇談、世話。西RC出席者46名。
- 10.7 八田ガバナーを囲むクラブ協議会。
- 10.8 八田ガバナー公式訪問、44名。
- 11.1 谷山RC認承状伝達式（経済大学講堂）当RC20名出席。
- 11.7 第373地区年次大会（熊本）久保田、久保、外西、浜田、田平、岩元（基）、西郷、川路ら会員14名、家族4名出席
- 12.3 鯨島志芽太君、吹米・ソ連・メキシコ博物館視察より帰国、報告卓話。
- 12.10 歳末たすけあい運動に義援金。鯨島志芽太君著書「日本で一番好かれた男—西郷隆盛評伝」10冊を、兄弟RC鶴岡へ贈呈。
- 12.23 加治木RCと合同クリスマス家族会、170名参加。
- 1.7 鹿児島RCと合同新年例会、ゲスト金丸三郎知事。（山形屋）
- 1.15 鶴岡高インターアクト会員15名、有馬教諭とともに磯天神を清掃、進学祈願。柴山、光吉、中村善治君参加。
- 2.7 第373区インター・シティ・ゼネラル・フォーラム（山形屋）出席165名、西RC18名、主題「拡大と奉仕…隔たりを取り除こうを中心に…」リーダー鯨島志芽太分区代理、荒木重雄分区代理。
- 3.18 名瀬RC10周年記念式に鯨島志芽太君出席（分区代理としてガバナー代理兼クラブ代表）
- 3.25 創立8周年記念式、第5回西ローター賞に肝付郡根占町登尾小学校辺田分校の大脇利隆先生夫妻の辺地教育の功勞に対し表彰状と記念品を贈る。
- 4.11 第9回西RC親睦ゴルフ大会、加治木RCを招く。優勝瀬上一郎君。
- 4.27 鯨島志芽太君、鶴岡RCを訪問、久保田会長のクラブメッセージ、みやげ品などを届ける。松ヶ岡開墾場百年維新式典に参加。
- 6.10 新会員と語る夕べ、友愛懇親会（愛丸）19名。
- 6.12 第373地区協議会（熊本）

第 9 年 (1971~72)

昭和46年7月~47年6月

〈R I 会長ターゲット〉

善意は先ずあなたから



会 長
岩 元 正 二



幹 事
田 平 礼 章

R I 会長 アンストG・ブライツホルツ (スエーデン)
 ガバナー 小 田 一 昭 (熊本南)
 分区代理 杉 原 頼 三 (鹿児島南)

役員・理事

会 長	岩 元 正 二	幹 事	田 平 礼 章
副会長	牧 田 健 二	副幹事	浜 田 馨
理 事	下 野 隆 三	S A A	桜 美 義 明
〃	外 西 寿 彦	副SAA	渡 辺 匡
〃	中 村 善 治	会 計	川上鉄太郎
〃	池 田 広		

委 員 会 (◎委員長 ○副委員長)

出席 奨励	◎高井 敏治	○久保 政次	岡元健一郎	岩元 健吉	原田 隆造
職業分類	◎小池鉄太郎	○新福 栄熊	川村 洋	久保田彦穂	
会員選考	◎森川 盛満	○米倉 秀雄	岡山 栄	平原定一郎	
会員増強	◎岩田 太一	○西郷 隆永	桜美 四郎	若松 新一	
プログラム	◎小山 幸義	○塘 一郎	川路 清高	島津 忠丸	光吉 正昭
広 報	◎安楽慶一郎	○小園 正人	土橋 英夫	有園 敷男	
親睦活動	◎中山 和春	○古木 圭介	若松宇治彦	山口 清次	鍋島 宏
	中村 俊雄	坂口 洋右	池口 恵観		
ロータリー情報	◎福田 敏之	○岩元 基	河井 時義	佐伯延次郎	
会報雑誌	◎新福 均	○柴山 一雄	竹之内安己	山本 友博	
職業奉仕	◎下野 隆三	○高田 光義	藤安 辰造	春山ジャستن	
社会奉仕	◎外西 寿彦	○徳田 基	林 幸光	徳沢 紀生	風間 悌次
青少年奉仕	◎中村 善治	○三角桂次郎	土谷 久雄	川田 恵一	原 三郎
インターネット ロータリーネット					
国際奉仕	◎池田 広	○高 義朗	鯨島志芽太	瀬上 一郎	平田 武雄
	池田 稔				
ロータリー 賞 推 薦	◎牧田 健二	○安楽慶一郎	新福 均	外西 寿彦	小山 幸義

主な出来事

- 7.1 ローターリー財団奨学生(西RC推せん)片平研二君アメリカ留学より帰国あいさつ。
- ◇ 柴山一雄君, 加世田, 川辺, 知覧地域及び国分地域・拡大特別代表に再度, 指名さる。地区インターアクト委員兼務。
- 7.8 交換学生クリスチン・ロッシ嬢帰国あいさつ。
- 8.17 373区第7回インターアクト大会(県立青少年研修センター)28インターアクトクラブ, 508名が参加。西RCは輸送交通委員会, 衛生委員会を担当。出席者, 柴山地区委員, 田平幹事, 中村善, 三角, 川田青少年奉仕委員ら。
- 9.10 鶴岡市で開かれた鹿児島・鶴岡兄弟都市盟約2周年に, 西RCを代表して西郷隆永君出席。
- 9.30 観月家族会(城山観光ホテル)会員55名, 家族38名, ゲスト・交換学生ゲラルド・ブッシュ君ら。
- 10.16 声楽家・奥田良三チャリティー音楽会ひらく(県医師会館)。板橋勝鹿児島短期大学助教授(声楽)賛助出演, ピアノ伴奏・鎌田範政玉竜高校教諭。全会員及び家族らの協力で大成功。林, 福田君ら直接担当者の功勞に感謝。
- 10.20 小田ガバナー公式訪問前夜協議会(鶴鳴館)38名出席。
- 10.21 小田ガバナー公式訪問。53名出席。池田広君, 砂絵で創作した西RCガバナー額絵をクラブに寄贈。
- 11.11 当RCのロータリー財団寄付金300%クラブとなる。
寄付額累計 1861.38ドル。
- 11.13~14第373地区年次大会(別府)
- 11.15 チャリティー音楽会益金16万円を市立乳児院に寄贈。
カラーテレビ, カーペット, プレーヤ
- 一, レコードなど, めぐまれない幼児のためプレゼント。
- 11.27 西RCゴルフ大会(吉野)木治屋克己君優勝
- 12.1 「ロータリーの友」誌12月号トップ記事に, 当RC鮫島志芽太君の論文「農村小都市クラブの問題点」が掲載さる。
- 12.17 鹿児島ロータリーアクト第二回チャリティー・ダンス・パーティーに協力。
- 12.23 加治木RCと合同でクリスマス家族会(昨年同様)会員, 家族170名。
- 2.13 当RCホストでインター・シティー・ゼネラル・フォーラム開く(鶴鳴館)県下13RC, 182名出席。
- 2.24 次年分区代理として塘一郎を推薦を(理事会)
- 3.1 交換学生ゲラルト・ブッシュ君小園正人君宅へ民泊。
- 3.23 クラブ創立9周年, 第6回西ロータリー賞を助産婦功勞者・中池知之さん(78才)へ贈呈。
- 4.24 ローターリー財団。1973~74年度大学院課程留学生に当RC推薦の池之上克君(鹿医大卒, 市立病院)が合格, 決定。
- 4.27 職場例会を, 沖縄復帰を記念して, 沖縄航路船「とうきょう丸」船上でひらき, 優良職業人として, 嘉川同船々長具志堅司厨長, 板間甲板長らに表彰状と記念品, 前森事務長に「四つのテスト」を贈る。
- 5.14 県下RC親睦ボウリング大会(国際ボウル)三角君ら10名参加。団体10位。
- 5.20 社会奉仕活動として精神薄弱者更生施設・榎山学園にスポーツ器具購入代金として三万円を寄贈。
- 6.17 鹿児島高校インターアクト結成式・会員27名。柴山, 岩元, 田平, 中村ら出席。

第 10 年 (1972~73)

昭和47年7月~48年6月



会 長
牧 田 健 二

〈会長ターゲット〉

もう一度見なおそう。
各人がその立場において
自問しよう。



幹 事
浜 田 馨

R I 会長 ロイロ・ヒックマン (米国)
ガバナー 東 博 仁 (熊本東)
分区代理 塘 一 郎 (鹿児島西)

役員・理事

会 長 牧 田 健 二
副会長 川 村 洋
理 事 若 松 宇治彦
 〃 三 角 桂次郎
 〃 高 義 明
 〃 小 園 正 人
会 計 有 園 敷 男

幹 事 浜 田 馨
副幹事 外 西 寿 彦
S A A 新 福 均 介
副SAA 古 木 圭 介

委 員 会 (◎委員長 ○副委員長)

出席奨励	◎久保 政次	○田平 礼章	中村 俊雄	竹野 良季	川路 清高
職業分類	◎新福 栄熊	○山口 清次	塘 一 郎	岩田 太一	山本 友博
会員選考	◎米倉 秀雄	○藤安 辰造	岩元 正二	徳田 基	徳留 栄次
会員増強	◎西郷 隆永	○林 幸光	土橋 英夫	池田 広	水淵 清治
プログラム	◎岡元健一郎	○河井 時義	高井 敏治	下野 隆三	原田 隆造
広 報	◎若松 新一	○岡山 栄	岩元 健吉	桜美 義明	
親睦活動	◎池田 稔	○徳沢 紀生	原 三 郎	木治屋克己	平田 武雄
	内山 光男	和田 吉人	新原 剛		
ロータリー情報	◎岩元 基	○光吉 正昭	福田 正臣	桜美 四郎	
会報雑誌	◎鮫島志芽太	○久保田彦穂	柴山 一雄	佐伯 寿郎	大森 道信
職業奉仕	◎若松宇治彦	○渡辺 匡	安楽慶一郎	中村 善治	小池鉄太郎
社会奉仕	◎三角桂次郎	○鍋島 宏	島津 忠丸	福田 敏之	川上鉄太郎
青少年奉仕	◎高 義朗	○川田 恵一	坂口 洋右	永井 利承	有田 郁男
	(ローターアクト インターアクト)				
国際奉仕	◎小園 正人△	○池口 恵観	佐伯延次郎	風間 悌次	小山 幸義
ロータリー賞推薦	◎川村 洋	○若松 新一	鮫島志芽太	三角桂次郎	岡元健一郎

主な出来事

- 7.13 市内3クラブ合同ローターアクト委員会出席＝高、川田
- 7.20 県下ワンダーフォーゲル（7月28日～30日）に協力。
- 8.5 インターアクト年次大会（国立阿蘇青年の家）参加者＝柴山一雄君、高義朗君、鶴丸高校－12名、鹿児島高校－13名。
- 8.22 本年度鹿児島市受入交換学生2名、キース・デーガア君（中央高校）とイヴォンヌ・デヴィス嬢（純心高校）来鹿。キース・デーガア君は小園会員宅で世話。
- 9.14 財団奨学生（大学院）西クラブ推薦、市立病院・池上克医師、南カリフォルニア大学に留学決定。
- 9.16 鹿児島高校インターアクトクラブ認承状伝達式、場所・レストランわたなべ
- 9.21 家族観月会（城山観光ホテル）交換学生・キース君、イボンヌ嬢、新クラブ設立準備中の加世田地区より椎原、平林夫妻出席。
- 9.21 創立10周年記念式典準備委員会発足。
◇委員長・牧田健二、副委員長・川村洋、浜田馨
①総務委員会◎浜田馨○外西寿彦
有園敦男、川上鉄太郎、小園正人、高義朗、若松新一、福田敏之、岩元正二
②記念行事委員会◎川村洋○三角桂次郎
久保政次、岡元健一郎、若松宇治彦
③記念誌委員会◎鮫島志芽太○柴山一雄
久保田彦穂、佐伯寿郎、大森道信、岩元基、光吉正昭
④式典委員会◎池田稔○新福均
徳沢紀生、原三郎、木治屋克己、平田武雄、内山光男、和田吉人、新原剛、古木圭介、小山幸義、林幸光（◎委員
長○副委員長）
- 9.23 第1回 373区ローターアクト地区大会（延岡・旭化成体育館）出席＝高義朗（地区委員）各RCのRAC委員、RAC会員 195名。
- 9.28 職業奉仕部門の一つとしてNHK鹿児島支局の職場を見学慰問、表彰者＝浜田啓二NHK技術職員、今別府ミユキ電話交換職、稲積一夫営業外勤職。
- 10.10 バングラデシュの子供救済募金に協力。交通安全市民運動に協力。フィリピン水害救済募金に協力。
◇次年度渡米学生決定＝伊東真理（中央高校）森屋昇子（鹿屋女子高）久保俊一（鹿児島高校）
- 10.18 加世田仮ロータリークラブ創立総会（当RCスポンサー）例会日・水曜日、場所・加世田市地頭所日新旅館、出席＝柴山特別代表・牧田・鮫島・池田広藤安。
- 10.21 老人医療施設ひまわり寮護園慰問。
- 10.26 炉辺会合、十周年記念行事について。
- 11.2 クラブ協議会、公式訪問を控えて各委員長報告。
- 11.9 第373地区大会・クラブ代表選挙人に塘鮫島、牧田3君を決定。
- 11.15 東ガバナー公式訪問前夜協議会。
- 11.16 東ガバナー公式訪問。
- 11.25 第373区 地区大会（宮崎）1,900名参加。当クラブ参加者13名＝◇クラブ運営部会＝鮫島（リーダー）柴山（副リーダー）牧田・浜田
◇職業奉仕部会＝外西、久保◇クラブ奉仕部会＝川村、塘◇社会奉仕部会＝三角、岡元◇青少年奉仕部会＝土橋◇国際奉仕部会＝小園◇新会員部会＝岩元（基）
- 12.4 枕崎RC（仮）創立総会（当RCスポンサー）＝例会日・月曜午後6時、会場

八潮旅館，当日出席者＝柴山特別代表，
鮫島，浜田，高，宮内

- 12 . 21 クリスマス家族会，130名参加。加世田，
枕崎RCから9名出席。
- 1 . 11 クラブ協議会，上期報告，下期計画を
協議。
- 1 . 25 年次総会，次年度役員決定。
- 2 . 25 鹿県南部インターシティー・ゼネラル
・フォーラム(当RCホスト・鶴鳴館)
◇主題「地域社会に密着した奉仕活動
を促すには」「奉仕活動に全員を参加さ
せるには」
- 3 . 22 クラブ創立10周年記念祝典をひらく。
午後6時，ホテル鶴鳴館。ゲスト・東
博仁ガバナー，杉原頼三ガバナーノミ
ニー，鷹野，北元スポンサーRC拡大
委員ら17名。
- ＊ 第7回西RCロータリー賞を，鹿児島
大学病院ハウスキーパー伊牟田ミツ子，

山下ユキ殿に，10周年記念社会奉仕事
業として市立平川動物公園緑化基金を
永福政治動物公園次長に贈る。連続10
年無欠席者，特別代表等を表彰。兄弟
RC鶴岡へ，記念品として薩摩焼花瓶
(9,000円)を贈る(後日礼状来信)

- 5 . 13 加世田・枕崎(当RCスポンサー) 穎
娃3RC合同チャーターナイト(枕崎
市民会館)当RC出席＝会員20名，家
族8名，登録料5,000円。柴山特別代
表感謝記念品を受く。日本本土最南端
の3RC合同チャーターナイトは珍ら
しく，三つ子RCと称せらる。
- 6 . 7 ファイヤー・サイド・ミーティング
鶴鳴館，各委員毎に。
- 6 . 7 桜美四郎君，勲四等瑞宝立，叙勲祝金
全額をクラブへ寄贈す。

西RC創立10周年記念祝典



第 11 年 (1973~74)

昭和48年7月~49年6月

《R I 会長ターゲット》

今こそ行動の時



会 長
川 村 洋



幹 事
外 西 寿 彦

R I 会長 ウィリアムC・カーター (米国)
ガバナー 杉原頼三 (鹿児島南)
分区代理 古賀 栄 (川内)

役員・理事

会 長	川 村 洋	幹 事	外 西 寿 彦
副会長	新 福 栄 熊 (クラブ奉仕)	副幹事	小 山 幸 義
理 事	山 口 清 次 (職業奉仕)	S A A	古 木 圭 介
々	中 村 俊 雄 (社会奉仕)	副SAA	木 治 屋 克 巳
々	川 田 恵 一 (青少年奉仕)		
徳	徳 沢 紀 生 (国際奉仕)		
会 計	山 本 友 博		

委 員 長 (◎委員長 ○副委員長 △ロータリー財団委員長)

出席奨励	◎田平 礼章	○下野 隆三	土橋 英夫	池田 稔	三角桂次郎
職業分類	◎岩田 太一	○安楽慶一郎	小園 正人	有園 敷男	新福 均
会員選考	◎藤安 辰造	○西郷 隆永	久保 政次	川路 清高	浜田 馨
会員増強	◎池田 広	○福田 敏之	岩元 健吉	若松宇治彦	徳留 栄次
	林 幸光				
プログラム	◎岩男 秀彦	○岡山 栄	米倉 秀男	小池鉄太郎	
広 報	◎桜美 義明	○徳田 基	久保田彦穂	原田 隆造	
親睦活動	◎平田 武雄	○水淵 清治	宮内 信義	瀬戸山克巳	柴山 一雄
	下曾山鉄雄	中尾 正昭			
ロータリー情報	◎光吉 正昭	○宇治野純章	井形 昭弘	桜美 四郎	
会報雑誌	◎佐伯 寿郎	○大森 道信	鍋島 宏	和田 吉人	有田 郁男
	坂口 洋右	牧田 健二			
職業奉仕	◎山口 清次	○福田 正臣	佐伯延次郎	川上鉄太郎	竹野 良季
	鮫島志芽太	有村 良男			

社会奉仕 ◎中村 俊雄 ○原 三郎 岩元 正二 河井 時義 塘 一郎
高 義朗 前田 好文

青少年奉仕 (ローターアクト・インターアクト)

◎川田 恵一 ○永井 利承 渡辺 匡 池口 恵観 新原 剛
岩元 基

国際奉仕 ◎徳沢 紀生△○内山 光男 島津 忠丸 岡元健一郎 中村 善治
高井 敏治

ロータリー賞推薦

◎新福 栄熊 ○中村 俊雄 桜美 義明 山口 清次 岩男 秀彦
佐伯 寿郎

主な出来事

- | | | | |
|-------|----------------------------------|-------|--------------------------------------|
| 7.5 | 海外旅行あれこれ (古木圭介会員) | 12.20 | クリスマス家族会 (ホテル鶴鳴館) |
| 7.12 | 「米国の大学と社会」72年度ロータリー財団奨学生中西賢二殿 | 1.10 | 「新春雑感」県知事金丸三郎殿 |
| 7.26 | 「スピーチについて」松下清子アナウンサー | 1.24 | クラブ協議会 (上期報告・下期計画発表) |
| 8.2 | ファイア・サイド・ミーティング | 1.31 | 年次総会 (次期役員選出) |
| 8.16 | クラブ協議会 | 2.7 | 苗字について=片岡八郎殿 |
| 8.23 | 地価公示について (川田恵一会員) | 2.21 | クラブフォーラム (青少年奉仕委員会) |
| 8.30 | 杉原頼三ガバナー公式訪問 | 3.7 | 職場訪問 (池田製パン工場=重富) 優良従業員表彰 |
| 9.6 | 「もう一つの公害」北原三男殿 | 3.14 | ロータリー賞贈呈式=米満静夫殿, 坂口愛次殿 |
| 9.20 | ヨーロッパ巡り20日間 (土橋英夫会員) | 4.11 | 「国際親善について」南日本新聞社福石論説委員 |
| 9.27 | 交換学生・山王千津子さん, 浜平三津子さん帰国あいさつ。 | 4.18 | クラブフォーラム (職業奉仕委員会) |
| 10.11 | 観月家族会 (城山観光ホテル) | 5.9 | 叙勲者に記念品贈呈=勲三等旭日賞新福栄熊副会長, 勲三等瑞宝賞徳田基会員 |
| 10.18 | スライド「ヨーロッパ・アフリカの自然」県教育センター九万田哲哉殿 | 5.11 | 西RC婦人の集い (第1回) 鮫島志芽太君の卓話, 28名出席。 |
| 10.25 | 「ソ連の旅から」長野祐也殿 | 5.16 | 「学生はなまけものか」山下静雄会員 |
| 11.8 | 「勝海舟と鹿児島」薩摩士風興友会長野津親男殿 | 5.23 | 「老人はマイペース」城哲男会員 |
| 11.15 | クラブ協議会 (地区大会出席報告) | 6.20 | ロータリー財団奨学生野間明博君出発あいさつ |
| 11.22 | 「母親のみたヨーロッパ」石崎逸子殿 | 6.27 | クラブ協議会 (委員会報告と反省) |
| 11.29 | クラブフォーラム (社会奉仕委員会) | | |
| 12.1 | KRCゴルフコンペ (吉野CC) | | |
| 12.13 | 「昭和一ケタ生れの感懐」木治屋克己会員 | | |

第 12 年 (1974~75)

昭和49年7月~50年6月

《会長ターゲット》

ロータリー精神を振るい
起こせ



会 長
新 福 栄 熊



幹 事
小 山 幸 義

R I 会長 ウィリアムR・ロビンズ (米国)
ガバナー 竹野 融 (宮崎)
分区代理

役員・理事

会 長	新 福 栄 熊	幹 事	小 山 幸 義
副会長	福 田 敏 之 (クラブ奉仕)	副幹事	池 田 広
理 事	福 田 正 臣 (職業奉仕)	S A A	木 治 屋 克 己
〃	原 三 郎 (社会奉仕)	会 計	池 田 稔
〃	永 井 利 承 (青少年奉仕)		
〃	古 木 圭 介 (国際奉仕)		

委 員 会 (◎は委員長 ○は副委員長)

出席 奨励	◎下野 隆三	○坂口 洋右	山下 静雄	城 哲男		
職業 分類	◎安楽慶一郎	○池口 恵観	岩元 健吉	徳田 基	川村 洋	
会員 選考	◎久保 政次	○浜田 馨	岡元健一郎	久保田彦穂	前田 好文	
会員 増強	◎若松宇治彦	○高井 敏治	塘 一郎	佐伯延次郎	内山 光男	桜美 義明
プログラム	◎岡山 栄	○島津 忠丸	田平 礼章	林 幸光	高 義朗	徳家 孝
広 報	◎岩元 基	○中村 善治	河井 時義	外西 寿彦	直居 栄一	
親 睦	◎水淵 清治	○瀬戸山克己	渡辺 匡	小園 正人	川田 恵一	有村 良男
	川畑 正美	三原 一馬				
ロータリー情報	◎宇治野純章	○土橋 英夫	徳沢 紀生	岩男 秀彦	小池鉄太郎	
会報 雑誌	◎鍋島 宏	○藤安 辰造	三角桂次郎	久我 康博		
職業 奉仕	◎福田 正臣	○徳留 栄次	桜美 四郎	岩田 太一	山本 友博	
社会 奉仕	◎原 三郎	○有田 郁男	岩元 正二	鮫島志芽太	川上鉄太郎	海老原利則
青少年奉仕 (インターアクト・ローターアクト)						
	◎永井 利承	○新原 剛	柴山 一雄	光吉 正昭	佐伯 寿郎	岩元 紀彦
国際 奉仕	◎古木 圭介	○和田 吉人	中村 俊雄	ジョーンズ・ミッチェル	平岡 禎吉	

ロータリー
賞 推薦

◎福川 敏之 ○原 三郎 岩元 基 福田 正臣 岡山 栄

ロータリー
財団委員長

鍋島 宏
牧田 健 :

主な出来事

7. 4 クラブ協議会(新委員会活動方針発表)
7. 11 決算報告と予算審議
7. 25 「ハース市を訪ねて」市商工水産課長 松下 一男殿
8. 1 ファイア・サイド・ミーティング(委員会別)
8. 3 第373区 第10回インターアクト年次大会(大分県高田市)
8. 12 ローターアクト、インターアクトの近況報告(青少年奉仕委員会)
8. 22 「桜島火山について」スライド、木下正時地方気象台観測課長
8. 29 「東南アジアの旅」土橋英夫会員
9. 12 世界理解週間について(国際奉仕委員会)
9. 18 竹野ガバナーを迎えてクラブ協議会
9. 19 竹野融ガバナー公式訪問
10. 3 観月家族会(城山観光ホテル)
10. 24 「セールスマン心理」徳家孝会員
10. 31 「鹿児島市の経済展望」赤木三郎市経済局長
11. 7 クラブフォーラム(社会奉仕委員会)
11. 14 「ロータリー財団について」柴山一男会員
- ク 南日本文化賞受賞の佐伯延次郎会員に記念品贈呈
11. 23~24 第370、第373地区連合年次大会(熊本市)373地区参加者は1689名、うち西ロータリー参加者10名
11. 28 クラブ協議会(地区大会出席報告)
12. 5 東ヨーロッパひとり歩き(福田正臣会員)
12. 12 クラブフォーラム(国際奉仕委員会)
12. 19 「産業安全について」海老原利則会員
12. 26 クリスマス家族会(ホテル鶴鳴館)
1. 9 「住宅の倫理化について」塘一郎会員
1. 23 クラブ協議会(上期報告、下期計画発表)
1. 30 年次総会(次期役員選出一会長・福田敏之、副会長・岡元健一郎、幹事・池田広)
2. 9 県北分区インターシティ・ゼネラル・フォーラム(ホテル鶴鳴館)ホストクラブ西クラブ、9RC、110名参加
2. 14 市内4RC合同例会(サン・ロイヤルホテル)RI創立70周年記念行事
2. 20 クラブフォーラム(青少年奉仕委員会)「少年自然の家」スライド
3. 6 「民主社会の将来」平岡禎吉会員
3. 20 ロータリー賞贈呈式=児玉フヂさん、東文子さん
4. 3 米国第642地区 研究グループ、チーム例会訪問
4. 10 「遺産相続と遺言について」鹿児島家庭裁判所・堂園守正殿
4. 17 クラブフォーラム(職業奉仕委員会)
4. 24 「国際婦人年に因んで」婦人少年室長 細野カツ子殿
5. 1 「開発と環境保全」県環境局長内山裕殿
5. 8 「健康生活をめざして」県総会体育センター 稲田敏文所長
5. 15 「市交通局の現況と展望」隅田一郎鹿児島市交通局長
5. 22 「1970年代後半の成長産業」近藤典文会員
5. 29 職場訪問、小正醸造鹿児島工場一清涼飲料部、優良従業員表彰
6. 12 歌曲鑑賞=オペラ二重唱、一鹿児島短期大学小笠原克美先生、嘉子先生
6. 26 クラブ協議会=委員会報告、反省会

第 13 年 (1975~76)

昭和50年7月~51年6月

《会長ターゲット》

人間に威信を



会 長
福 田 敏 之



幹 事
池 田 広

R I 会長 エレネスト・インパッサイ・デ・メロ (ブラジル)
 ガバナー 後 藤 基 影 (竹田)
 分区代理 桑 原 生 男 (指宿)

役員・理事

会 長	福 田 敏 之	幹 事	池 田 広
副会長	岡 元 健一郎	副幹事	中 村 善 治
理 事	池 口 恵 観	S A A	中 尾 正 昭
〃	佐 伯 寿 郎	副SAA	内 山 光 男
〃	新 原 剛		
〃	和 田 吉 人		
会 計	徳 留 栄 次		

委 員 会 (◎は委員長 ○は副委員長)

出席奨励	◎光吉 正昭	○川田 恵一	福田 正臣	松田 徳平	
職業分類	◎徳田 基	○岩元 正二	岡山 栄	久保田彦穂	
会員選考	◎浜田 馨	○外西 寿彦	安楽慶一郎	新福 栄熊	鯨島志芽太
会員増強	◎高井 敏治	○田平 礼章	岩元 紀彦	柴山 一雄	
プログラム	◎城 哲男	○川村 洋	桜美 四郎	土橋 英夫	
広 報	◎前田 好文	○林 幸光	小山 幸義	藤安 辰造	
親 睦	◎渡辺 匡	○海老原利則	桜美義明	永井 利承	徳家 孝
	高妻 俊則	鍋島 宏	橋口 十蔵		
ロータリー情報	◎徳沢 紀生	○小池鉄太郎	高 義朗	下野 隆三	
会報雑誌	◎三角桂次郎	○川上鉄太郎	水淵 清治	久保 政次	原 三郎
職業奉仕	◎池口 恵観	○宇給野純章	佐伯延次郎	小園 正人	山本 友博
社会奉仕	◎佐伯 寿郎	○有村 良男	岩元 健吉	塘 一郎	池田 稔
	久我 康博				

青少年奉仕 (インターアクト・ローターアクト)

◎新原 剛 ○瀬戸山勝資 岩元 基 若松宇治彦 古木 圭介
 岩男 秀彦 木治屋克己 近藤 典文 川畑 正美 田原迫卓視
 吉田 憲一

国際奉仕 ◎和田 吉人 ○ジョーンズ・ミツチエール 岩田 太一 牧田 健二
 ロータリー財団 ◎河井 時義 ○三原 一馬 平岡 頼吉

ロータリー賞推薦

◎岡元健一郎 ○佐伯 寿郎 前田 好文 池口 恵観 城 哲男
 三角桂次郎

主 な 出 来 事

- 7. 3 クラブ協議会で新年度各委員会活動方針を発表
- 7. 10 クラブ総会一前年度決算報告と新年度の予算審議
- 7. 17 74年度 R財団奨学生野間明博君の帰国あいさつ。あわせてスライド供覧
- 7. 31 後藤基彰第 373地区ガバナー公式訪問
- 8. 4 第373地区 第11回インターアクト年次大会が8月4日～5日牧園町霧島ホテルで開かる。鶴丸、中央、商業、鹿児島各高校インターアクトクラブ及び鹿児島ロータリークラブ、参加約530名。青少年奉仕委員長新原剛、副委員長瀬戸山勝資出席。
- 8. 7 資生堂美容主任・吉川とし子、小島とし子さんより「男性のみだしなみ」の話と実演。
- 8. 12 「脳神経外科の現状について、鹿大医学部教授朝倉哲彦氏の話。
- 9. 4 ファイア・サイド・ミーティング、ホテル鶴鳴館。「クラブ活動をいかに活発にするか」で協議。
- 9. 11 「世界における軍事力のバランス」の題で自衛隊西部方面總監近藤清氏
- 9. 14 第373地区 第4回ローターアクト年次大会、宮崎青島グランドホテルで14日15日ひらかる。青少年奉仕委員長新福副委員長瀬戸山出席。
- 9. 18 世界理解週間の行事として鹿児島大学留学生グエン・ロン・ディン君(ベトナム)張君(中国)オエヤント・グナワン君(インドネシア)アレヤ・ハミッド嬢(バングラデシュ)を例会に招待。
- 10. 2 観月家族会、城山観光ホテルで。
- 10. 7 市内RCローターアクト合同委員会、ホテル鶴鳴館で。
- 10. 9 「糖尿病の予防について」鹿児島大学医学部第一内科河野泰子さん
- 10. 23 クラブ協議会、R情報研究会出席報告
- 11. 6 クラブフォーラム(社会奉仕委員会)
- 11. 21 県下ロータリークラブ親善ゴルフ大会(吉野ゴルフ場)16ロータリークラブ参加。
- 12. 4 クラブフォーラム(国際奉仕委員会)
- 12. 18 年次総会で、次期役員を選出。会長・岡元、副会長・河井、幹事・中村(善治)
- 12. 26 忘年家族会(ホテル鶴鳴館)加世田RC坂下会長、長瀬幹事ほかローターアクト、インターアクト、交換学生、留学生等24名のゲストを含め165名が出席。会の席で青少年活動の論文の最優秀者として山下節子さん、下荒磯みどりさん表彰。
- 1. 8 新年例会、MBC学園橋口歌裕さんなどによる琴演奏(六段の調べ他4曲)
- 1. 22 クラブ協議会一上期報告と下期計画

- 1 . 29 ファイヤ・サイド・ミーティング、(ホテル鶴鳴館) 参加46名。
- 2 . 26 「ロータリーあれこれ」鹿児島女子短
大学長有馬純次氏
- 3 . 4 クラブフォーラム (青少年奉仕委員
会)
①インターアクトクラブ活動報告②ロ
ーターアクトクラブ活動報告③野外活
動と青少年
- 3 . 25 第10回ロータリー賞授賞式、坂口田鶴
殿 (66歳) = 人権擁護委員、新保一郎
殿 (26歳) = B・B・S会員、西多喜
男殿 (28歳) = B・B・S会員、瀬之
口しずえ殿 (37歳) = 中央警察署婦人
補導員の4名を表彰。
- 4 . 22 職場訪問—卸商団地の(株)たかしの大島
紬工場見学。
- 4 . 29 国分RC認証状伝達式
- 5 . 6 「スリランカ旅行」のスライド—川上
鉄太郎君による。
- 5 . 15 県下RC会長、幹事会 (ホテル鶴鳴館)
当番は西RC
- 5 . 20 クラブフォーラム (職業奉仕委員会)
- 6 . 3 ローターアクト、クラブ活動報告。
- 6 . 24 クラブ協議会
- 6 . 24 西ローターアクト発会式 (ホテル鶴鳴
館)
- 6.26~27第373地区協議会 (指宿観光ホテル)
開催



インターシティゼネラルフォーラム鶴鳴館で開かる



第 14 年 (1976~77)

昭和51年7月~52年6月



会 長
岡 元 健一郎

《会長ターゲット》

奉仕ロータリーを私は
信奉する



幹 事
中 村 善 治

I R 会長 ロバートA・マンチェスターⅡ(米)
ガバナー 塘 一 郎 (鹿児島西)
分区代理 岩 沢 光 男 (加治木)

役員・理事

会 長	岡 元 健一郎	幹 事	中 村 善 治
副会長	河 井 時 義 (クラブ奉仕)	副幹事	小 園 正 人
理 事	宇治野 純 章 (職業奉仕)	S A A	内 山 光 男
〃	水 渕 清 治 (社会奉仕)	副SAA	川 畑 正 美
〃	瀬戸山 勝 資 (青少年奉仕)		
〃	岩 男 秀 彦 (国際奉仕)		
会 計	有 村 良 男		

委 員 会 (◎は委員長 ○は副委員長)

出席奨励	◎川田 恵一 ○池田 広	田原迫卓視	二階堂正明	徳留 栄次
職業分類	◎岩元 正二 ○岡山 栄	若松宇治彦	中村 俊雄	
会員選考	◎外西 寿彦 ○桜美 義明	福田 敏之	山本 友博	藤安 辰造
会員増強	◎田平 礼章 ○徳沢 紀生	鮫島志芽太	徳田 基	新原 剛
プログラム	◎岩元 基 ○原 三郎	牧田 健二	川村 洋	佐伯延次郎
広 報	◎林 幸光 ○小山 幸義	新福 栄熊	光吉 正昭	
親睦活動	◎海老原利則 ○徳家 孝	高妻 俊則	橋口 十蔵	篤 辰雄
	高橋 司 吉田 憲一	土橋 滋	尾辻 省悟	後藤 泰久
ロータリー情報	◎小池鉄太郎 ○下野 隆三	福田 正臣		
会報雑誌	◎川上鉄太郎 ○高井 敏治	岩元 健吉	岩田 太一	岩元 紀彦
	池田 稯			
職業奉仕	◎宇治野純章 ○山下 静雄	古木 圭介	鍋島 宏	前田 好文
社会奉仕	◎水渕 清治 ○城 哲男	桜美 四郎	久保田彦穂	久保 政次
	永井 利承			

青少年奉仕	◎瀬戸山勝資	○安楽慶一郎	中尾 正昭	三角桂次郎	鮎川 六男
	近藤 典文	浜田 馨	和田 吉人	佐伯 寿郎	柿市 高重
	肥後 克郎	吉留 益	鹿海 武	柴山 一雄	
国際奉仕	◎岩男 秀彦	○ジョーンズ・ミッチェル		渡辺 匡	池口 恵観
	木治屋克己				
ロータリー財団	◎平岡 禎吉	○塘 一郎	松田 徳平		
ロータリー	◎河井 時義	○水渕 清治	林 幸光	宇治野純章	岩元 基
賞 推 薦	川上鉄太郎				

主 な 出 来 事

- | | | | |
|---------|---------------------------------------|-----------|---|
| 7 . 1 | クラブ協議会 (地区協議会報告と委員会活動方針発表) | 1 . 13 | クラブ協議会 (上期報告, 下期計画) |
| 7 . 8 | 総会 (決算報告, 予算審議) | 1 . 20 | 世界雑誌週間に因んで (公報, 雑誌委員会) |
| 7 . 22 | 「五つ子誕生の余徳」外西寿彦会員の卓話。 | 1 . 27 | クラブフォーラム (社会奉仕委員会) |
| 7 . 26 | 東南アジア留学生九州地区訪問団来鹿 | 1 . 30 | 市内 R A C 合同チャーター・ナイト (城山観光ホテル) |
| 7 . 29 | ファイヤ・サイド・ミーティング (テーマ・青少年奉仕の件) | 2 . 10 | ファイヤ・サイド・ミーティング (ホテル鶴鳴館) |
| 8 . 21 | 交換学生ハリス・ローリー・ベス嬢来日, 木治屋会員宅で世話。 | 2 . 24 | 「ロータリー創立記念日に因んで」(ガバナー塘一郎君) |
| 8 . 26 | ファイヤ・サイド・ミーティング (テーマ・情報活動, 職業奉仕) | 3 . 3 | クラブ協議会 (ロータリー情報研究会報告) |
| 9 . 2 | 「交換学生を訪ねて」第373地区 青少年交換委員長島名隆次氏の卓話。 | 3 . 10 | 鶴岡 R C 一行12名表敬訪問 |
| 9 . 16 | クラブフォーラム (国際奉仕委員会) | 3 . 24 | 第11回ロータリー表彰式—愛のコンパニオン奉仕団, 吉井カツ子殿 |
| 10 . 7 | 観月家族会 (城山観光ホテル) ゲスト西 R C 会員など 170名出席。 | 4 . 7 | ファイヤ・サイド・ミーティング |
| 10 . 14 | クラブフォーラム (青少年奉仕委員会) | 4 . 23~24 | 地区年次大会 (都城市で) |
| 11 . 4 | クラブ協議会 | 4 . 28 | クラブ協議会 (地区大会出席報告) |
| 11 . 11 | 「ロータリー財団に因んで」ロータリー財団委員会 | 5 . 19 | 加治木 R C 10周年記念式典 |
| 11 . 24 | 塘ガバナーを迎えて, クラブ協議会 | 5 . 26 | 県下青少年野外活動推進委員会 (鶴鳴館) |
| 11 . 25 | 塘ガバナー公式訪問 | 6 . 9 | 職場訪問, (株)カンダアルミニウム工場 |
| 12 . 2 | 年次総会 (次期役員選出) | 6 . 19 | 鹿児島中央 R C の国際ロータリー加盟認証状伝達式 (サン・ロイヤルホテル) |
| 12 . 23 | 忘年家族会 (ホテル鶴鳴館) 出席者 200名 | 6 . 23 | クラブ協議会 (委員会報告) |
| 1 . 10 | 鹿児島中央 R C 発会式 | 6 . 30 | クラブ協議会 (地区協議会出席報告) |

第 15 年 (1977~78)

昭和52年 7月~53年 6月

《会長ターゲット》

全人類を結びつけるために
奉仕せよ



会 長
河 井 時 義



幹 事
小 園 正 人

R I 会長 W・ジャック・デビス(パーミュエダ)
ガバナー 西田武雄(八代)
分区代理 川崎 志(鹿児島東南)

役員・理事

会 長	河 井 時 義	幹 事	小 園 正 人
副会長	藤 安 辰 造	副幹事	三 角 桂 次 郎
会 計	前 田 好 文	S A A	川 畑 正 美
		副SAA	原 三 郎

委 員 会 (◎は委員長 ○は副委員長)

出席奨励	◎池田 広	○新原 剛	新福 栄熊	中村 善治	高妻 俊則
職業分類	◎岡山 栄	○若松宇治彦	中村 俊雄	佐伯 寿郎	鮫島志芽太
会員選考	◎桜美 義明	○池口 恵観	田平 礼章	永井 利承	岩田 太一
会員増強	◎徳沢 紀生	○牧田 健二	宇治野純章	久保田彦穂	吉留 益
プログラム	◎浜田 馨	○二階堂正明	外西 寿彦	和田 吉人	松田 徳平
広 報	◎光吉 正昭	○岡元健一郎	岩元 正二	水湊 清治	
親 睦	◎近藤 典文	○土橋 滋	川上鉄太郎	鮎川 六男	肥後 克郎
	田原迫卓視	鹿海 武	藤 都喜七	安田 正治	
ローター情報	◎下野 隆三	○福田 正臣	塘 一郎		
会報・雑誌	◎川田 恵一	○高井 敏治	佐伯延次郎	岩元 基	
職業奉仕	◎山下 静雄	○平岡 禎吉	福田 敏之	岩男 秀彦	川村 洋
社会奉仕	◎城 哲男	○中尾 正昭	渡辺 匡	山本 友博	内山 光男
	海老原利則				
青少年奉仕	◎柿市 高重	(一般)	岩元 紀彦	古木 圭介	有村 良男
(インターアクト)	◎久保 政次	尾辻 省悟	柴山 一雄	徳田 基	吉田 憲一
(ローターアクト)	◎高橋 司	篤 辰雄	米倉 清嘉	後藤 泰久	林 幸光
国際奉仕	◎木治屋克己	○橋口 十蔵	岩元 健吉	小山 幸義	瀬戸山勝資
ローター財団	◎池田 稔	○徳留 栄次	桜美 四郎	小池鉄太郎	
ローターリー	◎藤安 辰造	城 哲男	光吉 正昭	山下 静雄	浜田 馨
賞 推 薦	川田 恵一				

主な出来事

- | | | | |
|---------|-----------------------------|---------|--|
| 7.7 | クラブ協議会（委員会活動方針発表） | 1.5 | 年頭所感（鎌田要人知事） |
| 7.14 | 総会（決算報告、予算審議） | 1.12 | クラブ協議会（上期報告、下期計画発表） |
| 7.21 | ファイア・サイド・ミーティング（ローターアクトと合同） | 1.26 | ファイヤ・サイド・ミーティング（鶴鳴館） |
| 7.28 | 焼酎ブームを斬る（福満武雄氏） | 2.5 | 県下R・C、I・C・G・F（城山観光ホテル） |
| 8.11 | 西郷南州の人間性（鮫島志芽太会員） | 2.23 | クラブ協議会（年次大会準備） |
| 8.18 | 鹿児島島の柔道（林岩三県柔道会会長） | 3.2 | クラブフォーラム（職業奉仕委員会） |
| 8.21 | 県内RAC連絡協議会（鹿屋市） | 3.9 | 全員協議会（大会準備） |
| 8.25 | ファイヤースサイド・ミーティング | 3.23 | ロータリー賞表彰式…有馬良一殿（愛光園勤務）渡辺米子殿（市福祉事務所在勤） |
| 9.1 | クラブ協議会（公式訪問を控えて） | 4.6 | ファイヤ・サイド・ミーティング（ホテル鶴鳴館）会員77名、夫人39名、ローターアクト30名。 |
| 9.15 | クラブ協議会（西田武雄ガバナーを迎えて） | 4.13 | 全員協議会 |
| 9.16 | 西田ガバナーの公式訪問 | 4.20 | 全員協議会 |
| 9.29 | 観月家族会（城山観光ホテル） | 4.22～23 | 第273地区年次大会（於県文化センター……ホスト鹿児島西RC） |
| 10.9～10 | RAC年次大会（八代市で） | 5.4 | 大島紬今昔物語（藤都喜七会員） |
| 10.22 | 県下RC親善ゴルフ大会（霧島ゴルフ） | 5.18 | 職場訪問「奄美の里」 |
| 10.27 | 南州翁と西南戦争（女子短大村野守次殿） | 5.14.18 | 東京国際大会 |
| 11.10 | クラブフォーラム（国際奉仕委員会） | 5.25 | 明治7年大久保甲東（川村純二殿） |
| 11.17 | ロータリー財団週間に因んで（ロータリー財団委員会） | 6.3.4 | 地区協議会（延岡） |
| 11.24 | 鹿児島空港の将来（日航支店長橋高勇一郎殿） | 6.8 | クラブ協議会 |
| 12.8 | 年次総会（次年度役員選出） | 6.22 | 山人放認（平瀬実武殿） |
| 12.10 | 地区情報研究会（別府市） | 6.29 | クラブ協議会（委員会報告と反省） |
| 12.22 | 忘年家族会（ホテル鶴鳴館）180名参加 | | |
| 12.27 | クラブ協議会（各委員会） | | |
| 1.4 | 塘一郎直前ガバナー急逝 | | |



1978第273地区年次大会
（於 鹿児島市）

第 16 年 (1978~79)

昭和53年 7月~ 54年6月

〈R I 会長ターゲット〉

手をさし伸べよう



会 長
藤 安 辰 造



幹 事
三 角 桂 次 郎

R I 会 長 クレム・レスフ(オーストラリア)
ガバナー 吉 村 武 文(延岡)
分区代理 岡 元 健一郎(鹿児島西)

役員・理事

会 長	藤 安 辰 造	幹 事	三 角 桂 次 郎
副会長	川 上 鉄 太 郎	副幹事	川 田 恵 一
会 計	岩 元 紀 彦	S A A	原 三 郎
		副SAA	吉 留 益

委 員 会 (◎は委員長 ○は副委員長)

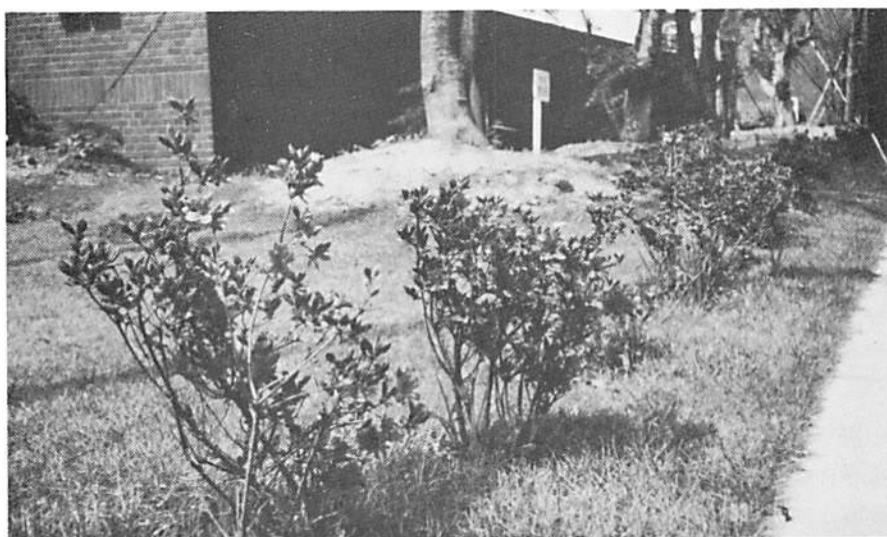
出席 奨励	◎新原 剛	○渡辺 匡	木治屋克巳	前田 好文	佐伯延次郎
	後藤 泰久				
職業分類	◎若松宇治彦	○佐伯 寿郎	桜美 四郎		
会員選考	◎宇治野純章	○城 哲男	岩元 健吉	牧田 健二	新福 栄熊
会員増強	◎永井 利承	○中村 善治	山田 裕三	岡元健一郎	橋口 十蔵
プログラム	◎二階堂正明	○岩元 正二	池口 恵観	古木 圭介	柴山 一雄
広 報	◎水淵 清治	○徳沢 紀生	川村 洋	久保 政次	近藤 典文
親 睦	◎鹿海 武	○米倉 清嘉	松田 徳平	柿市 高重	小正 芳史
	太原 春雄	谷山 寛	幸泉 芳良	中沢 省三	軸屋 昭二
ローター情報	◎福田 正臣	○瀬戸山勝資	山下 静雄		
会報・雑誌	◎和田 吉人	○中尾 正昭	池田 広	林 幸光	浜田 馨
	尾辻 省悟				
職業奉仕	◎平岡 禎吉	○岩元 基	高井 敏治	外西 寿彦	池田 稔
社会奉仕	◎海老原利則	○田原迫卓視	福田 敏之	鮫島志芽太	田平 礼章
	桜美 義明				
青少年奉仕	◎高橋 司	(一般)	内山 光男	下野 隆三	小園 正人
(インターアクト)	◎土橋 滋	○中村 俊雄	久保田彦穂	中村 一雄	藤 都喜七

(ローターアクト)	◎薦 辰雄	岩田 太一	河井 時義	林 其為	安田 正治
	小山 幸義	澤田貫太郎			
国際奉仕	◎川畑 正美	○鮎川 六男	徳田 基	光吉 正昭	岡山 栄
ロータリー財団	◎徳留 栄次	○肥後 克郎	山本 友博	岩男 秀彦	
ロータリー賞 推薦	◎川上鉄太郎	○海老原利則	水淵 清治	平岡 禎吉	二階堂正明
	和田 吉人				

主な出来事

- | | | | |
|-------|---|---------|---|
| 7.6 | クラブ協議会(各委員会) | 10.26 | ファイヤ・サイド・ミーティング(ホテル鶴鳴館) |
| 7.13 | 陶工の話(有山長太郎殿) | 11.2 | 地方紙と地方文化(南日本新聞社日高旺編集局長) |
| 7.20 | クラブ協議会(運動方針発表) | 11.9 | ロータリーとインターアクト(柴山一雄会員) |
| 7.27 | クラブ総会(決算報告, 予算審議) | 11.16 | ロータリー財団週間に因んで(ロータリー財団委員会徳留栄次君) |
| 8.3 | ブラジルの近況(林其為会員) | 11.21 | 第4回学習会 |
| 8.10 | ファイヤ・サイド・ミーティング(鶴鳴館) | 11.30 | 映画「鎮魂の歌」「屋久島とつばし」(県小型映画協会事務局長小山義允殿) |
| 8.17 | 錦江短歌17年(南州神社宮司鶴田正義殿) | 12.7 | 「四つ子誕生」(10月2日)の報告卓話(土橋滋会員) |
| 8.24 | 第1回西RC学習会一情報委員会(鶴鳴館) | 〃 | 社会奉仕委員会より誕生お祝金5万円を贈る。 |
| 8.31 | クラブ協議会(公式訪問を控えて) | 12.14 | 年次総会一次期役員理事選出 |
| 9.13 | クラブ協議会(ガバナーを迎えて) | 12.21 | 忘年家族会—ローターアクトクラブとの合同, 出席者・会員69名, 家族76名, アクト20名, ゲスト19名の計184名。 |
| 9.14 | 吉村武文ガバナー公式訪問 | 1.4 | 鯛のいる海(久保田彦穂会員) |
| 9.21 | クラブフォーラム(52年度派米学生桜井絹恵さん) | 1.11 | クラブ協議会(上期報告, 下期計画) |
| 9.23 | 地区RAC第7回年次大会(城山観光ホテル) | 1.18 | ファイヤ・サイド・ミーティング(鶴鳴館) |
| 9.28 | 観月家族会(城山観光ホテル)会員69名, 家族67名, ゲスト31名, ローターアクト32名参加。 | 1.21 | I・C・G・F県大会(城山観光ホテル) |
| 9.26 | 第2回ロータリー学習会(鶴鳴館) | 2.1 | 東南アジア地質かけめぐり(大庭昇会員) |
| 10.5 | かごしまわが心の町(市制作映画—鹿児島市観光課長豊増哲雄殿) | 2.8 | 医療費をめぐって(太原春雄会員) |
| 10.12 | クラブフォーラム(青少年奉仕委員会—青少年の実態と今後の期待—県教育委員会社会教育課後田逸馬殿) | 2.10 | 西ローターアクト会員より, 四つ子誕生祝いにおむつ107枚寄贈。 |
| 10.17 | 臨時市内会長・幹事会(卸商団地組合会館) | 2.11~12 | 高千穂清掃登山(県下青少年野外活動推進協議会, インターアクト, ロータ |
| 〃 | 第3回ロータリー学習会(ホテル鶴鳴館) | | |
| 10.19 | 海外旅行便乗あれこれ(古木圭介君) | | |

- ーアクト連絡協議会共催)
- 2 . 15 クラブフォーラム (社会奉仕委員会)
- 2 . 21 ロータリー学習会 (第7回)
- 2 . 23 鹿児島西RC「友愛文庫」を発足 (鯨島志芽太会員の寄付金10万円を基金としてニコニコ箱寄金の一割で運営する)
- ✧ 第1回寄贈学校・下甕村青瀬小学校, 馬毛島中学校, 桜ヶ丘西小学校
- 2 . 25 西RACと唐津東RACと姉妹盟約, 篤, 下野会員出席。
- 3 . 1 情報について (瀬戸山勝資君)
- 3 . 8 鹿児島と俳句 (辺見京子殿)
- ✧ 鹿児島市ロータリークラブ四つ子養育助成金発足
- 3 . 22 ロータリー賞表彰式一整肢園総看護婦長・藤園マリ子さん, ひかり学園主査福田登志江さん, 市福祉事務所・和田幸栄さん。
- 3 . 29 職場訪問一市立病院学術ホールで例会
- 後優良従業員表彰
- 4 . 5 青少年問題について (県警本部保安部長高野良治殿)
- 4 . 12 法医鑑定を通して見た最近の世相 (城哲男会員)
- 4 . 19 異常気象について (鹿児島地方気象台長山本常男殿)
- 4 . 22 姉妹クラブ鶴岡RC創立20周年記念式典, 西RCより15名参加。
- 4 . 26 四つ子育成基金贈呈式, 会員卓話・中村一雄君
- 5 . 15 ロータリー学習会
- 5 . 17 ファイヤ・サイド・ミーティング
- 5 . 24 クラブフォーラム (職業奉仕委員会)
- 5 . 27 出水RC創立10周年記念式典
- 6 . 7 クラブフォーラム (国際奉仕委員会)
- 6 . 16 西RC親善ゴルフ大会 (島津CC)
- 6 . 20 ロータリー学習会 (第11回)
- 6 . 23 地区協議会 (大分市文化会館)
- 6 . 28 クラブ協議会 (地区協議会報告)



西クラブから贈った鶴岡市公園内の「友愛のつつじ」。

第 17 年 (1979~80)

昭和54年 7月~55年 6月

〈R I 会長ターゲット〉

奉仕の灯で道を照らそう



会 長
川 上 鐵太郎



幹 事
川 田 恵 一

R I 会長 ジェームス・L・ボーマー・Jr. (米)
ガバナー 井 上 和 人 (出 水)
分区代理 仙 田 太 藏 (出 水)

役員・理事

会 長	川 上 鐵太郎	幹 事	川 田 恵 一
副会長	柴 山 一 雄	副幹事	光 吉 正 昭
理 事	高 井 敏 治	S A A	吉 留 益
々	田原迫 卓 視	副SAA	小 正 芳 史
々	林 其 為		
々	池 田 広		
々	中 村 一 雄		

委 員 長 (◎は委員長 ○は副委員長)

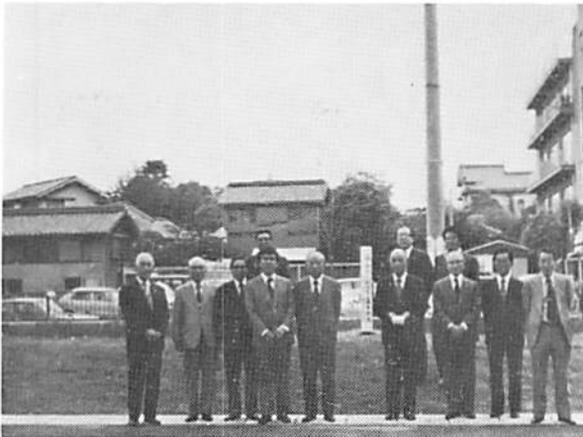
出席 奨励	◎渡辺 匡	○岩男 秀彦	岩田 太一	池口 恵観	原 三郎
	水淵 清治	中島修之輔			
職業 分類	◎佐伯 寿郎	○田平 礼章	藤安 辰造	橋口 十蔵	
会員 選考	◎城 哲男	○福田 正臣	小園 正人	佐伯延次郎	
会員 増強	◎中村 善治	○浜田 馨	新福 栄熊	三角桂次郎	
プログラム	◎岩元 正二	○中村 俊雄	徳田 基	若松宇治彦	内山 光男
広 報	◎徳沢 紀生	○幸泉 芳良	池田 稔	和田 吉人	
親 睦	◎柿市 高重	○桜美 義明	古木 圭介	宇治野純章	安田 正治
	澤田貫太郎	山下 皓三	山口 祐司	下田平哲夫	
ローター情報	◎瀬戸山勝資	○山下 静雄	平岡 禎吉	鮫島志芽太	
会報・雑誌	◎中尾 正昭	○岡山 栄	河井 時義	桜美 四郎	谷山 寛
	松田 徳平				
職業 奉仕	◎高井 敏治	○二階堂正明	牧田 健二	久保田彦穂	木治屋克己
社会 奉仕	◎田原迫卓視	○肥後 克郎	小山 幸義	岩元 基	新原 剛

青少年奉仕	◎林 其為 篤 辰雄	○太原 春男	川畑 正美	高橋 司	福田 敏之
インターアクト	下野 隆三	谷口 行生	大庭 昇	岡元健一郎	軸屋 昭二
ローターアクト	土橋 滋 中沢 省三	米倉 清嘉	藤 都喜七	前田 好文	海老原利則
国際奉仕	◎池田 広	○尾辻 省悟	外西 寿彦	岩元 紀彦	
ローター財団	◎久保 政次	○川村 洋	岩元 健吉	山田 裕三	
ロータリー 賞 推 薦	◎柴山 一雄 中尾 正昭	田原迫卓視	高井 敏治	岩元 正二	徳沢 紀生
創立75周年 記念	◎徳沢 紀生 中尾 正昭	○柴山 一雄	田原迫卓視	高井 敏治	岩元 正二

主 な 出 来 事

- | | |
|---|---|
| 7 . 12 決算報告、予算審議 | 12 . 6 「小さな親切運動」平井政明殿 |
| 7 . 17 ロータリー学習会 (第12回) | 12 . 13 年次総会 (次期役員、理事選手) |
| 7 . 19 クラブ協議会 (委員会活動方針) | 12 . 18 西ロータリー学習会 (鶴鳴館) |
| 8 . 21 ロータリー学習会 (第13回) | 1 . 10 桜島の灰 (大庭昇会員) |
| 8 . 23 ファイヤ・サイド・ミーティング (鶴鳴館) | 1 . 17 クラブ協議会 (上期報告、下期計画) |
| 9 . 13 クラブフォーラム (青少年奉仕委員会)「若者に夢と希望を」前山下小学校長竹之下正幸 | 1 . 23 新年家族会 (鶴鳴館) 会員55名、家族40名、R A C 29名、ゲスト27名、計151名参加。 |
| 9.20~23 韓国ソウルでロータリーアジア地域大会 | 2 . 3 第273地区 鹿児島県北分区 I・G・F (阿久根国民宿舎) |
| 10 . 2 観月家族会、出席者・会員69名、家族70名、R A C 30名、ゲスト39名、計208名参加。(城山観光ホテル) | 2 . 7 周産期医療センター1年の歩み (外西寿彦会員) |
| 10 . 11 米山週間について (国際奉仕委員長池田広会員) | 2 . 20 ロータリー創立75周年記念、市内5 R C 合同例会 (サンロイヤルホテル) ホスト西クラブ |
| 10 . 16 ロータリー学習会 (第14回) | 2 . 25 国際ロータリー創立75周年記念日 |
| 10 . 18 クラブフォーラム (職業奉仕委員会) | 3 . 6 I・G・F 出席報告 (柴山一雄会員、池田広会員、山下皓三会員) |
| 10 . 21 鹿児島 R A C 創立10周年祝賀会 | 3 . 13 ロータリー賞贈呈式、石島平治さん (保護司・68歳) 福森千尋さん (県保健体育課指導主事、44歳) |
| 11 . 3 鶴岡 R C より20周年式典のお礼の便り | 3 . 22, 23 第273地区 年次大会 (別府) 西 R C は財団寄付 400%達成クラブとして表彰受く。 |
| 11 . 8 鹿児島市の都市計画 (市都市計画課長梶原実男殿) | 3 . 27 職場訪問 (城山観光ホテル) |
| 11 . 15 ロータリー財団週間に因んでスライド一鹿大工学部岡村俊一教授 | 4 . 15 ロータリー学習会 (美華園) |
| 11 . 29 3 H 運動について (徳沢紀生会員) | 4 . 17 西ロータリークラブ奨学金制度要綱決 |
| 々 県民表彰の若松宇治彦君にお祝い金贈呈。 | |

- 定、4月1日より実施。
- 4.24 県立図書館にアメリカ花木10本の植樹目録贈呈式。
 - 5.8 敬天愛人の原典（沢田鈴歳名与牧師）
 - 5.14 「兄弟都市鶴岡の桜」のスナップ展（鶴岡RC安藤定助会員より）
 - 5.15 ファイヤ・サイド・ミーティング
 - 5.20 西RC学習会
 - 5.22 父と子（徳田基会員）
 - 6.5 社会福祉について（野久尾徳美鹿経大 学学長）
 - 6.19 クラブ協議会（新年度委員会）
 〃 三木会（百合幸）
 - 6.25 クラブ協議会（活動報告、反省）
 - 6.28 鹿児島西南RCチャーターナイト



ロータリー創立75周年を記念してアメリカ花木水を
県立図書館に寄贈



81～82年度第273地区年次大会（指宿市で）

第 18 年 (1980~81)

昭和55年7月—56年6月



会 長
浜 田 馨

《R I 会長ターゲット》

時間を捧げよう

奉仕のために



幹 事
光 吉 正 昭

R I 会長 ロルク・J・クレリッヒ(フィンランド)
ガバナー 福 島 親比古(大分)
分区代理 有 馬 俊 郎(伊集院)

役員・理事

会 長	浜 田 馨	幹 事	光 吉 正 昭
副会長	柴 山 一 雄	副幹事	徳 沢 紀 生
理 事	二階堂 正 明	〃	土 橋 滋
〃	肥 後 克 郎	S A A	小 正 芳 史
〃	佐 伯 寿 郎	副SAA	山 下 皓 三
〃	高 橋 司		

委 員 会 (◎は委員長 ○は副委員長)

出席奨励	◎岩男 秀彦	○中尾 正昭	岩元 基	和田 吉人	外西 寿彦
職業分類	◎田平 礼章	○福田 敏之	中村 善治	岩元 紀彦	松田 徳平
	岡元健一郎				
会員選考	◎福田 正臣	○小山 幸義	下野 隆三	田原迫卓視	海老原利則
会員増強	◎岩田 太一	○河井 時義	久保 政次	藤安 辰造	池口 恵観
プログラム	◎中村 俊雄	○瀬戸山勝資	久保田彦穂	川上鉄太郎	前田 好文
	池田 広				
広 報	◎福満 武雄	若松宇治彦	川田 恵一	中村 一雄	
親 睦	◎桜美 義明	○軸屋 昭二	山田 裕三	新原 剛	三角桂次郎
	内山 光男	鍋島 宏	石神 兼康	永松 実夫	
ローター情報	◎鮫島志芽太	○小園 正人	牧田 健二	中尾 洋	
会報・雑誌	◎岡山 栄	○渡辺 匡	木治屋克己	古木 圭介	
職業奉仕	◎二階堂正明	○藤都喜エ門	橋口 十蔵	徳田 基	新福 栄熊
社会奉仕	◎肥後 克郎	○米倉 清嘉	柿市 高重	太原 春雄	林 其為
青少年奉仕	◎土橋 滋	○吉留 益	桜美 四郎	佐伯延次郎	川畑 正美

インターアクト	谷口 行生	中沢 省三	中島修之輔	下田平哲夫	玉川 哲生
ローターアクト	安田 正治	宇治野純章	前田 隆造	平岡 楨吉	
国際奉仕	◎佐伯 寿郎	○高井 敏治	岩元 正二	大庭 昇	原 三郎
ローター財団	◎川村 洋	○水濁 清治	岩元 健吉		

主 な 出 来 事

- | | | | |
|---------|--|---------|--|
| 7 . 3 | クラブ協議会 (地区協議会出席報告) | 11 . 6 | クラブフォーラム (ロータリーの倫理訓について) |
| 7 . 10 | クラブ協議会 (委員会別) | 11 . 13 | ロータリー財団週間に因んで (パストガバナー大津篤造殿) |
| 7 . 17 | クラブ協議会, 決算報告, 予算審議 (委員会活動方針発表) | 11 . 14 | 西ロータリークラブゴルフ大会 (吉野CC) |
| 7 . 23 | 西ロータリー学習会 | 11 . 20 | 「ライオンズクラブの奉仕の理念について」浜田真三殿 |
| 8 . 7 | 帰国派米学生藤武慶三君 (甲陵高校) の帰国あいさつ | 11 . 27 | ファイヤ・サイド・ミーティング (鶴鳴館) テーマ①ロータリー倫理訓②宮崎地区大会参加について |
| 8 . 13 | 中国を旅して (玉川哲生会員)
* 理事会で健康上の理由で柴山一雄会長の辞任届を承認, 浜田副会長を会長へ柴山会長を副会長へ変更。 | 12 . 4 | 「財政再建について」鹿児島財務部長北嵩義晴殿 |
| 8 . 20 | 西ロータリー学習会 | 12 . 10 | 西ロータリー学習会 |
| 8 . 21 | 西RA 100回記念パーティ (鶴鳴館) | 12 . 11 | 年次総会 (次期役員, 理事選出) 会長柴山一雄, 副会長・中村俊雄, のち会長中村(俊), 副会長久保(政)に変更 |
| 8 . 28 | 本県私学の立場 (若松宇治彦会員) | 12 . 18 | 浜田会長四つ子援助資金を竹田利隆, 綾子夫妻へ贈る。 |
| 9 . 4 | クラブ協議会 (ガバナー公式訪問を控えて) | 12 . 25 | 三悪の口 (福田正臣会員) |
| 9 . 10 | 西ロータリー学習会 | 1 . 8 | 欧米見聞記 (外西寿彦会員) |
| 9 . 14 | 岩元健吉会員逝去 | 1 . 22 | クラブ協議会 (上期活動報告, 下期計画発表) |
| 9 . 18 | 第273地区 福島親比古ガバナー, 有島俊郎分区分代理公式訪問, クラブ協議会 | 1 . 29 | 「新大隅開発について」県地域開発室長笹田昭人殿 |
| 9 . 25 | 観月家族会 (鶴鳴館) | 2 . 5 | 「薩摩単人はライスカレー」民俗学会会員片岡八郎殿 |
| 10 . 2 | 職場訪問「県立図書館」優良職業人表彰 | 2 . 8 | 第273地区 鹿児島 I・G・F (城山観光ホテル) |
| 10 . 8 | 西ロータリー学習会 | 2 . 12 | ファイヤ・サイド・ミーティング |
| 10 . 9 | 心筋梗塞を語る (福田正臣会員)
* 県下RCゴルフ大会 (吉野CC) | 2 . 19 | 「ホームステイあれこれ」浜田行一殿 |
| 10 . 16 | クラブフォーラム (職業奉仕委員会) | 2 . 26 | クラブフォーラム (国際奉仕委員会) |
| 10 . 23 | ファイヤ・サイド・ミーティング (テーマ①ロータリー学習会②ロータリー職業倫理訓) | 3 . 5 | 「ながびく不況」鹿児島女子短大永里絃二教授 |
| 10 . 25 | 市内RCゴルフ大会 (吉野CC) 西クラブ団体2位。 | | |
| 10 . 30 | 「最近の金融・経済」鹿銀頭取塚本相次良殿 | | |

- | | |
|---|--|
| <p>3 . 12 「昔の新聞、今の新聞」石神兼康会員
 〃 理事会で柴山会員次期会長を辞退。中
 村俊夫君を選任。</p> <p>3 . 14～15第273地区 年次大会(宮崎市)</p> <p>3 . 19 クラブ協議会(地区大会出席報告)</p> <p>3 . 26 ローターリ賞贈呈式(ホテル鶴鳴館)
 新聞少年民広和君、五百路照美さん、
 小斉平学君、山下親義君に贈る。</p> <p>4 . 2 「シドニー気質」二階堂正明会員</p> <p>4 . 9 「校内暴力問題について」平岡禎吉会
 員</p> <p>4 . 16 「省エネについて」南日本新聞堀之内
 久殿</p> | <p>4 . 18 西ロータリーゴルフ同好会(吉野CC)
 優勝玉川、2位鍋島</p> <p>4 . 30 ローターリ雑誌週間に因んで(岡山
 栄・古木圭介会員)</p> <p>5 . 10 志布志RCチャーターナイト</p> <p>5 . 14 ファイヤ・サイド・ミーティング(次
 年度委員会活動方針)</p> <p>5 . 28 「57年度全国高校総体について」同大
 会事務会長野村実殿</p> <p>6 . 11 「高齢者歯科医療について」山下皓三
 会員</p> <p>6 . 18 三木会(百合幸)</p> <p>6 . 25 クラブ協議会(活動報告、反省)</p> |
|---|--|



四ツ子育成資金を浜田会長から竹田夫妻へ贈る

第 19 年 (1981~82)

昭和56年 7月~57年 6月

〈R I 会長ターゲット〉

ロータリーを通じて世界
理解と平和を



会 長
中 村 俊 雄



幹 事
徳 沢 紀 生

R I 会 長 スタンレー E・マッキヤフリー (米国)
ガバナー 大久保 圭一郎 (熊本)
分 区 代 理 橋 口 透 (川内)

役員・理事

会 長	中 村 俊 雄	幹 事	徳 沢 紀 生
副会長	久 保 政 次	副幹事	水 渕 清 治
理 事	橋 口 十 蔵	理 事	松 田 徳 平
々	中 尾 正 昭	S A A	山 下 皓 三
々	内 山 光 男	副SAA	新 川 靖 博
々	吉 留 益		

委 員 会 (◎は委員長 ○は副委員長)

出席 奨励	◎岩元 基	○安田 正治	前田 隆造	河井 時義	安楽絃一郎
職業 分類	◎福田 敏之	○米倉 清嘉	和田 吉人	平岡 禎吉	
会員 選考	◎小山 幸義	○池口 恵観	原 三郎	鮫島志芽太	佐伯 寿郎
会員 増強	◎海老原利則	○外西 寿彦	下野 隆三	前田 好文	桜美 四郎
プログラム	◎瀬戸山勝資	○福満 武雄	佐伯延次郎	岩元 紀彦	高橋 司
	牧田 健二				
広 報	◎石神 兼康	○藤都喜エ門	二階堂正明	林 其為	
親 睦	◎木治屋克己	○池田 広	谷口 行生	瀬戸 勝彦	隈本 明
	古木 圭介	岡山 栄	徳永新一郎		
ロータリー情報	◎小園 正人	○中尾 洋	大庭 昇	高井 敏治	土橋 滋
会報・雑誌	◎渡辺 忠	○田原卓卓視	柿市 高重	太原 春雄	光吉 正昭
職業 奉仕	◎橋口 十蔵	○中村 善治	岡元健一郎	柴山 一雄	岩男 秀彦
	肥後 克郎				
社会 奉仕	◎中尾 正昭	○川田 恵一	宇治野純章	徳田 基	新福 栄熊
	川上鉄太郎				

青少年奉仕	◎吉留 益	○川畑 正美	鍋島 宏	久保田彦穂
インターアクト	◎下田平哲夫	○玉川 哲生	桜美 義明	浜田 馨
ローターアクト	◎永松 実夫	○中村 一雄	福田 正臣	田平 礼章 新原 剛
国際奉仕	◎内山 光男	○藤安 辰造	若松宇治彦	川村 洋
ローター財団	◎三角桂次郎	○岩田 太一	岩元 正二	

主 な 出 来 事

- | | |
|---|---|
| <p>7.2 クラブ協議会—6月20日の熊本での地区協議会の報告</p> <p>7.9 クラブフォーラム—マッキヤフリーR I会長のテーマについて</p> <p>7.16 クラブ協議会—決算報告, 予算審議ひき続き新年度活動方針発表</p> <p>7.22 ローターリー学習会, テーマ・情報委員について</p> <p>7.23 「外国人留学生の現況について」鹿児島大学水産学部長柿本大老氏の卓話</p> <p>8.12 学習会, テーマは公式訪問について</p> <p>8.20 「中国の旅」平岡楨吉会員</p> <p>8.26 大久保圭一ガバナーを迎えてクラブ協議会</p> <p>8.27 大久保ガバナー公式訪問</p> <p>9.3 「夏のヨーロッパ点描」福田正臣会員</p> <p>9.9 西ローターリー学習会(司会青少年奉仕委)</p> <p>9.10 「日本とオーストリアの教育について」鹿児島大学客員教授ヨハンナ・マティアゼク博士</p> <p>9.17 クラブフォーラム「青少年問題あれこれ」婦人少年室長西山ヨシ子殿</p> <p>9.24 観月家族会(ローターリークラブ, ローターアクト合同, ホテル鶴鳴館で)会員66名, 家族55名, ゲスト19名, RAC31名, 計171名参加</p> <p>10.1 「米山週間に因んで」パストガバナー杉原頼三殿</p> <p>10.8 「L S Iの世界」富士通鹿児島営業所長清沢雅行殿</p> <p>10.10~11第10回RAC年次大会(熊本県立図書館ホール)</p> | <p>10.14 ローターリー学習会(創立20周年記念行事の件)</p> <p>10.22 ファイヤ・サイド・ミーティング</p> <p>10.29 「人生あれこれ」昭和薬科大学理事長柴田はな殿</p> <p>11.5 「現代の中学教育と弁論大会」西紫原中学校長脇田閑殿</p> <p>〃 「身障者として訴えたいこと」西紫原中2年寺田美重さん</p> <p>11.11 西ローターリー学習会</p> <p>11.12 「玄米と食糧について」元千葉大園芸学部教授三原義秋</p> <p>11.19 「ローターリー財団週間に因んで」杉原頼三パストガバナー殿</p> <p>11.26 職場訪問(藤安醸造(株))優良従業員表彰</p> <p>12.3 「美しく老ゆる」鹿児島市勤労婦人センター坂根庸子殿</p> <p>12.5~6 第273地区ローターリークラブ年次大会(指宿市総合体育館, 指宿市市民会館)第1日48名, 第2日13名出席, 高齢ロータリアン(満80歳以上, ローターリー歴15年以上)として桜美四郎君, 新福栄熊君2名が表彰受く。</p> <p>12.10 地区大会報告(中村俊雄会長)</p> <p>12.17 年次総会(次期理事, 役員選出)</p> <p>12.24 「ニュー・メディアについて」南日本新聞社論説委員福石忍殿</p> <p>12.28 「最近のヨーロッパ見て歩き」古木圭介会員</p> <p>1.7 「神さまの話」久保田彦穂会員</p> <p>1.13 ローターリー学習会(42回)</p> <p>1.14 ファイヤ・サイド・ミーティング(鶴</p> |
|---|---|

- 鳴館) テーマ, 出席の意識, 例会を楽しくする方法
- 1 . 21 クラブ協議会 (上期報告, 下期計画発表)
- 1 . 28 「肩のこらない江戸川柳」民俗学会会員片岡八郎殿
- 2 . 4 「教育あれこれ」鹿児島女子大学学長今村武俊殿
 ♪ 桜美四郎会員は名誉会員となる。
- 2 . 7 県下 I G F (谷山市民会館)
- 2 . 10 ロータリー学習会 (43回)
- 2 . 18 「インドネシアの火山調査」大庭昇会員
- 2 . 25 クラブフォーラム (国際奉仕委員会) テーマ, R I 会長テーマについて
- 3 . 4 映画「命それは愛」聖パウロ女子修道会水元美代子さん
- 3 . 11 ファイヤ・サイド・ミーティング (I G F における各分科会の報告)
- 3 . 18 故山下静雄元会員を偲んで (職業奉仕論) 54年度 I G F 録音より
- 3 . 25 第16回ロータリー賞贈呈式岩下方成殿 島森あつ子殿, 福留幸子殿, 郷原トミ殿。
- 4 . 1 「鹿児島市の水問題」鹿児島市企画部 参事木藤文雄殿
- 4 . 8 「薩摩人とヨーロッパ」鹿児島純心短期大教授芳即正殿
- 4 . 10 R A C 県内合同研修会 (錦江高原ホテル)
- 4 . 14 ロータリー学習会
- 4 . 15 クラブフォーラム (社会奉仕委) 80年代の福祉について一県身体障害者団体連絡協議会会長近藤重和殿
 ♪ 三木会 (鶴家)
- 4 . 22 ロータリー雑誌週間に因んで (柴山一雄会員)
- 5 . 12 ロータリー学習会
- 5 . 13 ファイヤ・サイド・ミーティング (鶴鳴館) テーマ…西ロータリークラブを楽しくするために。
- 5 . 20 会員卓話 (徳永新一郎君)
- 5 . 27 新会員卓話 (安楽絏一郎君, 富田豊喜君)
- 6 . 3 新会員卓話 (富田豊喜君, 本武勝美君)
- 6 . 10 理事会で20周年記念委員会編成を決定
 ♪ 会員卓話 (岡山唯一君, 村田和雄君)
- 6 . 17 会員卓話 (島津忠丸君)
- 6 . 21 三木会 (つるや)
- 6 . 24 クラブ協議会 (活動報告, 反省)



三木会で親睦深まる



職 場 訪 問 (藤安酒造)

第 20 年 (1982~83)

昭和57年7月~58年6月



会 長
久 保 政 次

〈R I 会長ターゲット〉

人類はひとつ一世界に
友情の橋をかけよう



幹 事
水 洩 清 治

R I 会長 向 笠 広 次 (日 本)
ガバナー 杉 村 進 (大 分)
分区代理 川 上 鉄太郎 (鹿 児 島 西)

役員・理事

会 長	久 保 政 次	幹 事	水 洩 清 治
副会長	柴 山 一 雄	副幹事	木 治 屋 克 己
理 事	川 畑 正 美	会 計	谷 口 行 生
〃	柿 市 高 重	S A A	新 川 靖 博
〃	山 下 皓 三	副SAA	林 其 為
〃	田 原 迫 卓 視	〃	安 楽 紘 一 郎

委 員 会 (◎は委員長 ○は副委員長)

出席 奨励	◎鍋島 宏	○古木 圭介	内山 光男	瀬戸山勝資	平岡 禎吉
職業 分類	◎小山 幸義	○渡辺 忠	新福 栄熊	岡元健一郎	松田 徳平
会員 選考	◎池口 恵観	○和田 吉人	岩元 正二	久保田彦穂	川上鉄太郎
会員 増強	◎外西 寿彦	○原 三郎	川村 洋	岡山 栄	佐伯延次郎
プログラム	◎福満 武雄	○桜美 義明	三角桂次郎	中尾 正昭	海老原利則
広 報	◎大庭 昇	○佐伯 寿郎	高井 敏治	徳田 基	岩元 紀彦
視 睦	◎徳永 新一郎	○本武 勝美	肥後 克郎	永松 実夫	隈本 明
	岡山 唯一	吉留 益	富田 豊喜		
ローター情報	◎中尾 洋	○土橋 滋	二階堂正明	島津 忠丸	藤都喜エ門
会報・雑誌	◎光吉 正明	○高橋 司	田平 礼章	小園 正人	宇治野純章
職業 奉仕	◎川畑 正美	○米倉 清嘉	浜田 馨	川田 恵一	中村 俊雄
社会 奉仕	◎柿市 高重	○太原 春雄	中村 善治	福田 正臣	岩男 秀彦
	前田 好文				
青少年奉仕	◎山下 皓三	○下田平哲夫	牧田 健二	徳沢 紀生	瀬戸 勝彦
	石神 兼康				

インターアクト	◎玉川 哲生	○江夏 洋	岩元 基	林 宏	前田 隆造
ローターアクト	◎上原 満	○相良 達之	池田 広	市村 博	村田 和雄
国際奉仕	◎田原迫卓視	○安田 正治	河井 時義	鮫島志芽太	中村 一雄
ロータリー 賞 推 薦	◎藤安 辰造	○福田 敏之	橋口 十蔵		
	◎柴山 一雄	○柿市 高重	川畑 正美	福満 武雄	大庭 昇
		光吉 正昭			

主 な 出 来 事

- | | | | | | |
|----------------|-------------------------------------|------------|--|--|--------------------|
| 7 . 1 | クラブ協議会 (地区協議会出席報告) | | | | ーマ、創立20周年記念行事について) |
| 7 . 8 | クラブフォーラム (R I 会長テーマについて) | 11 . 16 | 柴山一雄会員急逝 | | |
| 7 . 15 | 「海の波・人生の波」鹿児島地方気象台長倉島厚殿 | 11 . 18 | ロータリー財団週間に因んで (1975年度R財団奨学生山崎美智子さん) | | |
| 7 . 22 | クラブ協議会 (決算報告、予算審議、活動方針発表) | 11 . 25 | 職場訪問(わたなべレスト・センター)優良従業員表彰 | | |
| 7 . 29 | 「全国高校総体を迎えて」総体事務局次長宝珠山忠久殿 | 11 . 27~28 | 第273地区 年次大会(熊本市市民会館) | | |
| 8 . 5 | 新入会員卓話(上原満君、岩田泰一君) | 12 . 1 | 新事務役員に前野嘉子さん勤務 | | |
| 8 . 12 | ファイヤ・サイド・ミーティング (テーマ創立20周年記事行事について) | 12 . 2 | クラブ協議会 (地区大会出席報告) | | |
| 8 . 19 | 「お盆について」池口恵観会員 | | 元交換学生ローリー・ハリス嬢5年ぶり里帰り例会であいさつ。 | | |
| 8 . 26 | クラブフォーラム(青少年奉仕委員会) | 12 . 8 | ロータリー学習会 | | |
| 9 . 2 | クラブ協議会 (ファイヤ・サイド・ミーティング報告) | 12 . 9 | 「卓話につい」海江田卓会員 | | |
| 9 . 4 | 西RCゴルフコンペ (吉野CC) | 12 . 16 | 年次総会 (次期役員選出) | | |
| 9 . 8 | ロータリー学習会 | 12 . 23 | クリスマス家族会 (鶴鳴館) 会員54名 家族49名、ゲスト27名、RAC8名、計138名参加。 | | |
| 9 . 16 | 観月家族会 (城山観光ホテル) 会員61名、外56名、計117名参加。 | 12 . 27 | 映画「流々生浄」小山義允殿 | | |
| 9 . 30 | クラブ協議会 (ガバナー公式訪問を控えて) 北分区代理川上鉄太郎君 | 1 . 6 | 「年頭所感」鹿児島市長山之口安秀殿 | | |
| 10 . 7 | 「相続と遺言」田原迫卓視会員 | 1 . 12 | ロータリー学習会 | | |
| 10 . 10
~11 | RAC第273地区 年次大会 (城山観光ホテル) ホスト鹿児島西RAC | 1 . 20 | クラブ協議会 (上期報告、下期計画発表) | | |
| 10 . 14 | 杉村進ガバナー公式訪問、クラブ協議会 | 1 . 27 | 「例会1000回を顧みて」名誉会員桜美四郎殿 | | |
| 10 . 21 | クラブフォーラム (職業奉仕委員会) | 2 . 3 | 「ロータリー20年の思い出」牧田健二会員 | | |
| 10 . 28 | 「これからの情報通信」富田豊喜君 | 2 . 6 | 県下RC青少年奉仕野外活動推進連絡協議会 (きしゃばビジネスホテル) | | |
| 11 . 4 | 「読書とマンガ」鹿児島女子短期大学教授たかしよいち殿 | 2 . 9 | ロータリー学習会 | | |
| 11 . 11 | ファイヤ・サイド・ミーティング (テ | 2 . 10 | クラブ協議会 (創立20周年行事について) | | |
| | | 2 . 17 | 「今年の経済展望」日本銀行鹿児島支 | | |

- 店長小島邦夫殿
- 2 . 24 クラブフォーラム (国際奉仕委員会)
最近の国際状況, 福石忍南日本新聞社
編集局長
- 2 . 26 鹿児島RC創立30周年記念式典並びに
祝賀パーティ (サンロイヤルホテル)
- 2 . 27 県下ロータリークラブ I・G・F (城
山観光ホテル)
- 3 . 3 クラブ協議会 (I G F 報告)
- 3 . 9 ロータリー学習会
- 3 . 10 ファイヤ・サイド・ミーティング (創
立20周年記念行事について)
- 3 . 17 「ケニアに旅して」小山幸義会員
- 3 . 24 鹿児島西RC創立20周年記念式典なら
びにパーティ (鶴鳴館), 県立図書館
に青少年文庫の贈呈, ロータリー賞の
贈呈, 参加者 160名
- 3.26~31 西RC創立20周年記念美術展 (加根又
画廊)
- 3 . 31 「退官に当って」岡元健一郎会員
- 4 . 14 クラブフォーラム (社会奉仕委員会)
鹿児島市の老人福祉の現況について一
市老人福祉課主査折田次男殿
- 4 . 21 「鹿児島民謡の特質」久保けんお殿
- 4 . 28 ロータリー雑誌週間に因んで (光吉正
昭君)
- 5 . 7 故林幸光先生追悼演奏会 (市民文化ホ
ール)
- 5 . 11 ロータリー学習会
- 5 . 12 「焼酎の話」山元政則殿
- 5 . 15 宮之城RC認証状伝達式 (祁答院広域
文化センター)
- 5 . 19 「偶然性の発見」渡辺信会員
- 5 . 22 加世田・穎娃・枕崎RC創立10周年合
同記念式典 (南薩地区地場産業振興セ
ンター)
- 5 . 26 ファイヤ・サイド・ミーティング (本
年度のクラブ活動の反省と次年度への
要望)
- 6 . 2 新入会員卓話 (馬場康二君, 佐久間佳
久君)
- 6 . 8 ロータリー学習会
- 6 . 9 「全国植樹祭について」県事務局施設
課長竹添重信殿
- 6 . 16 「日新公いろは歌の精神」郷土の偉人
顕彰会会長満江殿
- 6 . 23 「学校現場から見た教育雑感」伊敷中
学校校長中村利広殿
- 6 . 30 クラブ協議会 (活動報告)



県立図書館内の西ロータリークラブ文庫

第 21 年 (1983~84)

昭和58年7月~59年6月



会 長
高 井 敏 治

〈R I 会長ターゲット〉

みんなにロータリーを
みんなに奉仕を



幹 事
木 治 屋 克 己

R I 会長 ウイリアム・E・スケルトン (米国)
ガバナー 丸 田 美 徳 (都城)
分区代理 菊 地 和 則 (阿久根)

役員・理事

会 長	高 井 敏 治	幹 事	木 治 屋 克 己
副会長	池 田 広	副幹事	佐 伯 寿 郎
理 事	原 三 郎	会 計	宇 治 野 純 章
〃	太 原 春 雄	S A A	中 尾 洋
〃	安 田 正 治	副SAA	馬 場 康 二
〃	下 田 平 哲 夫	〃	神 野 靖 久

委 員 会 (◎は委員長 ○副委員長)

出席 奨励	◎瀬戸山勝資	○平岡 禎吉	外西 寿彦	藤安 辰造	海老原利則
職業 分類	◎新福 栄熊	○岡元健一郎	中村 俊雄	川田 恵一	内山 光男
会員 選考	◎河井 時義	○岩元 紀彦	石神 兼康		
会員 増強	◎田平 礼章	○川村 洋	柿市 高重	岩男 秀彦	吉留 益
プログラム	◎川上鉄太郎	○小園 正人	玉川 哲生	小山 幸義	藤都喜エ門
広 報	◎二階堂正明	○三角桂次郎	久保田彦穂	林 宏	
親 睦	◎本武 勝美	○徳沢 紀生	浜田 馨	渡辺 忠	安楽絃一郎
	中尾 正昭	光吉 正昭			
ロータリー情報	◎土橋 滋	○島津 忠丸	川畑 正美	福満 武雄	海江田 卓
会報・雑誌	◎高橋 司	○徳田 基	岩元 基	桜美 義明	
職業 奉仕	◎原 三郎	○中村 一男	鮫島志芽太	池口 恵観	市村 博
社会 奉仕	◎太原 春雄	○前田 好文	水淵 清治	永松 実夫	東郷 初夫
青少年奉仕	◎下田平哲夫	○上原 満	新川 靖博	田原迫卓視	大庭 昇
インターアクト	◎江夏 洋	○中村 善治	前田 隆造	岩田 泰一	佐久間佳久
ローターアクト	◎渡部 信	○富田 豊喜	林 其為	村田 和雄	徳永新一郎
国際 奉仕	◎安田 正治	○福田 正臣	山下 皓三	古木 圭介	田中 克佳
ローター財団	◎牧田 健二	○福田 敏之	岡山 唯一	久保 政次	

編集後記

20周年記念誌の編集を久保会長から頼まれて、いとも簡単に引受けてしまった。ところが、いざとりかかってみると、大変な仕事だと分かって後悔したが、あとのまつり。やむなくぼつりぼつり資料集めやら写真収集などはじめたが、何しろロータリアンとしてもまだかけ出しだけに、20年の歴史にはうとい。そこで中学時代の同窓生ではあるが、西ロータリー創設当時からの会員であり、文字通り西ロータリーの立役者でもある柴山一雄会員に協力と指導を求めた。ところが、頼りにした柴山会員が突然あの世へと旅立ってしまった。万事休すとはこのこと……またふり出しに戻って久保会長、水瀨幹事に相談しながら仕事を続行。ほんとに永いことお待たせしました。とにかく形だけの20年誌になってしまいました。どうか御容赦下さい。

今後、30年誌をつくるときには、もっと完備した編集体制で記念誌をつくる必要があることを痛感した次第です。しかしそれには毎年の記録、資料をきれいに整理して保存してゆくことが必要ですので、この仕事を広報委員会か会報、雑誌委員会あたりで受けもって、積み重ねてゆくことが大事だと思ったわけです。西ロータリーのためにぜひ、これは実行してもらいたいものです。

10年誌を作られた鯉島志芽太先輩も編集後記に書いて居られるように記念誌編集には想像以上の時間と手間がかかるし、一人の力ではとうていでき難いことだけに、なんらかの組織をつくる必要を重ねて提案して、いいわけにはなりますが、内容不備の記念誌しかできなかったことをお詫びいたします。なお事務局の前野嘉子さんには資料探しなどいろいろお世話になりました。 (石神兼康記)

会 員 名 簿

物 故 会 員 名 簿

物 故 会 員

死亡年月日	氏 名	職 業 (退会当時)
46. 4. 9	倉 園 清 市	鹿児島相互信用金庫専務理事
46. 11. 7	高 田 光 義	南国殖産(株)常務取締役
48. 11. 8	川 路 清 高	鹿児島大学医学部長
51. 3. 23	土 橋 英 夫	土 橋 病 院 院 長
53. 1. 4	塘 一 郎	鹿児島大学工学部教授
54. 8. 21	篤 辰 雄	(株)親和電機工業社代表取締役
55. 9. 14	岩 元 健 吉	カクイ(株)取締役会長
57. 11. 16	柴 山 一 雄	柴山齒科医院院長
57. 12. 5	岡 山 栄	岡山公認会計士事務所所長

都市ガス・各種ガス器具・配管工事設計・施工
暮らしのエネルギー・青い炎の



日本ガス

取締役社長 原 三郎

本社 〒890 鹿児島市中央町8-2 ☎ (0992) 55-1131



南日本放送

取締役社長 福田 敏之

本社 〒890 鹿児島市高麗町5番25号☎ (0992) 54-7111

—豊かな暮らしづくりにご奉仕する—
いつも親切



旭相互銀行

取締役社長 岩元 紀彦

本店 〒892 鹿児島市山下町1-1 ☎ (0992) 26-1111



南日本新聞社

取締役社長 永 山 東 雄

専務取締役 石 神 兼 康

鹿児島市易居町1-2 ☎ (0992) 26-4111



山形屋

取締役社長 川 村 洋

〒892 鹿児島市金生町3番1号 ☎ (0992) 24-6111



鹿児島新報社

取締役社長 羽 野 瑛

専務取締役 福 満 武 雄

本 社 〒890 鹿児島市城南町7-28 ☎ (0992) 26-2100



美しい日本の心を織る本場大島紬



藤絹織物株式会社

代表取締役 藤 都喜エ門

本社 鹿児島市宇宿町2丁目14-6 ☎ (0992) 51-4175

日本石油特約店



三角石油瓦斯株式会社

代表取締役 三角 桂次郎

本社 鹿児島市卸本町7番地20 ☎ (0992) 60-2200(代)

株式会社 島津興業

取締役社長 島津 忠丸

鹿児島市城西1-3-5 電話 (0992) 51-1111

ボンタン・兵六餅・妹っ子

セイカアイスクリーム

セイカ食品株式会社

取締役社長 玉川 哲生

本社 鹿児島市中央町15-17 電話 (0992) 54-6111

創業  明治3年

ヒシクみそしょうゆ

藤安醸造株式会社

代表取締役 藤安辰造

鹿児島市谷山港2丁目1番10号

☎ (0992) 61-5151(代)

(株) 富士銀行

鹿児島支店

支店長 林 宏

鹿児島市金生町7-3

☎ (0992) 26-0161

山形屋商事株式会社

取締役社長 岩元正二

鹿児島市卸本町5-5

☎ (0992) 60-2751

日本生命保険相互会社

鹿児島支社

支社長 市村 博

鹿児島市中央町11-5日生ビル

電話 (0992) 55-1101(代)

 **城山観光ホテル**

顧問 川上 鉄太郎

〒892 鹿児島市新照院町41-1

☎ (0992) 24-2211(代)

政府登録

心いれのホテル

 鹿児島ホテル **鶴鳴館**

取締役社長 小山 幸義

〒892 鹿児島市城山町5-30

☎ (0992) 23-2241(代)

建設大臣許可(特-54)第3149号

 **五十鈴建設工業株式会社**

代表取締役 木治屋 克己

本社 鹿児島市長田町1番16号

電話 (0992) 25-1511(代)

営業所 福岡・熊本

総合建設業

小牧建設株式会社

代表取締役会長 小牧 才二

代表取締役社長 小牧 勇蔵

専務取締役 光吉 正昭

〒892 鹿児島市西千石町2番35号

☎ 代表 (0992) 代表25-2611

支店/東京・福岡

営業所/大阪・諫早・熊本・大分・宮崎

出張所/ 関門・長崎・鹿屋・屋久島・大島・川内



株式会社 **カンタ**

専務取締役 中村善治

鹿児島市住吉町1番3号
電話 (0992) 24-5111(代)



セリカ・カロラ・カムリ
カロラII・タウンエース

トヨタ加コ鹿児島

会長 中村俊雄

本社 〒890 鹿児島市東郡元町15番18号
電話・大代表53-1000

いい1日運ぶ

 **鹿児島交通**

専務取締役 岡山唯一

本社 〒892 鹿児島市山下町9-5
☎ (0992) 23-0121

チェイサー・スプリンター・カリブ
スターレット・ライトエース



トヨタオート鹿児島株式会社

専務取締役 佐伯寿郎

〒890 鹿児島市城南町8-19
☎ (0992) 26-7000(代)

営業種目

土木・建築・舗装・造園・鉄道
水道施設工事・石油販売・不動産業

徳沢建設株式会社

取締役社長 徳澤紀生

本社 鹿児島市上之園町16-3
徳澤ビル601号 ☎53-3968
支店 曾於郡大崎町菱田2593
☎7-1121

事務用品・文具

有限会社 **文洋堂**

代表取締役 徳永新一郎

鹿児島市鴨池新町28-8-104
電話 (0992) 58-0221(代)



社会の心を公社に
公社の心を社会に

広くお客様の声を聴き事業活動に
生かして一層のサービス改善に
努力しています

日本電信電話公社
鹿児島電報電話局長

富田豊喜



鹿児島銀行

武町支店

支店長 東郷初夫

鹿児島市中央町11-1
電話 (0992) 56-1121

かたなべ

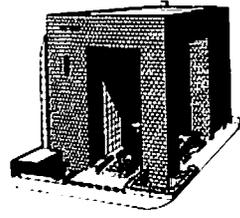
レストラン

代表取締役 渡辺 忠

鹿児島市城山町1

☎ (0992) 24-1200

支店長 田中克佳
頭取 新木文雄
会長 山下敏明



しまわせづくりの
お手伝い

明るい窓口  福岡銀行 身近なおつきあい

鹿児島市中央町15-23 ☎53-1991 (代)

安田生命保険相互会社

鹿児島支社長 神野靖久

鹿児島市山之口町12-6

お買物・海外旅行に便利な2つのカード

JCB三井カード UC三井カード

いつも新しい心で



三井銀行

鹿児島支店

支店長 佐久間 佳久

鹿児島市金生町5 ☎22-2111

永園設計 (株)

常務取締役 安楽 紘一郎

日の出証券

鹿児島支店

支店長 馬場 康二

(株)海老原利商店

会長 海老原 利則

(有)浜田酒店

社長 浜田 馨

(株)鈴香苑

社長 林 其為

(株)本武

代表取締役 本武 勝美

カクイわた基準寝具(株)

常務取締役 岩元基

池田放射線科

院長 池田広

最福寺

開教師 池口恵観

薩摩倉庫(株)

社長 岩男秀彦

(名)明石屋菓子店

社長 岩田泰一

河井外科

院長 河井時義

(株)久保利

社長 久保政次

(株)小園ガラス商会

社長 小園正人

グローバル
ユースビューロー

常務取締役 古木圭介

(株)川田不動産鑑定所

社長 川田恵一

旭設備工業(株)

社長 川畑正美

柿市薬局

店長 柿市高重

(株) ニ ッ ト ク

代表取締役 江 夏 洋

牧田・西園医院

会 長 牧 田 健 二

(株)水洩自動車電機
サービス

社 長 水 洩 清 治

三 和 興 業 (株)

取締役会長 前 田 好 文

(株)アオイ美建

社 長 前 田 隆 造

(株)ムラタ薬品

代表取締役 村 田 和 雄

(株)まからず屋造花店

社 長 中 尾 正 昭

龍 栄 建 設 (株)

専務取締役 鍋 島 宏

中 尾 物 産 (株)

代表取締役 中 尾 洋

桜 物 産

社 長 桜 美 義 明

瀬 戸 山 履 物 (株)

会 長 瀬 戸 山 勝 資

(有)富士水道建設

社 長 下 田 平 哲 夫

新 川 組 (株)

社 長 新 川 靖 博

(株) 高 井 商 店

社 長 高 井 敏 治

整形外科田平病院

副 院 長 田 平 礼 章

(株)佐藤組鹿児島支店

次 長 高 橋 司

土 橋 病 院

院 長 土 橋 滋

紫 原 病 院

院 長 太 原 春 雄

(株)ニューホワイト産業

社 長 内 山 光 男

(有)双建設計事務所

代 表 取 締 役 上 原 満

宇治野法律事務所

所 長 宇 治 野 純 章

吉留建設産業(株)

代 表 取 締 役 吉 留 益

(株) や す だ 衣 料

社 長 安 田 正 治

山 下 歯 科

院 長 山 下 皓 三

中村公認会計士事務所

所長 中村 一雄

鹿児島西ロータリークラブ

事務局 城山町5-30 ホテル鶴鳴館内3F
事務員 前野 嘉子
電話 (0992) 23-5902

市立病院循環器内科部長

福田 正 臣

市立病院副院長

外西 寿 彦

喜界育英会理事長

平岡 禎 吉

シニア・アクチブ (文芸)

久保田 彦 穂

鹿児島高校校長

海江田 卓

シニア・アクチブ (文学)

二階堂 正 明

鹿大教育学部教授

永松 実 夫

鹿大医学部名誉教授

岡 元 健一郎

鹿大理学部教授

大庭 昇

シニア・アクチブ (単科大学)

鮫島 志芽太

シニア・アクチブ (数学教育)

新福 栄 熊

シニア・アクチブ (弁護士)

徳田 基

シニア・アクチブ (公証人)

田原迫 卓 視

鹿児島キリスト教会牧師

渡部 卓 信